

令和7年度新宿御苑クビアカツヤカミキリ防除樹幹注入業務に係る仕様書

1. 件名

令和7年度新宿御苑クビアカツヤカミキリ防除樹幹注入業務

2. 業務の目的

東京都区部において、特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリによる被害が急速に拡大しており、新宿御苑でも食害を受ける可能性のあるバラ科の樹木が多数存在していることから、令和3年度から樹幹注入による防除業務を実施してきたところである。

このような状況を鑑み、本業務はクビアカツヤカミキリによる被害を防除するため、被害状況の調査、薬剤の樹幹注入を行うものである。

3. 業務の内容

以下の対象について、新宿御苑管理事務所（以下「管理事務所」という。）が用意する薬剤等を活用し、樹木調査及び樹幹注入作業を行うもの。

（1）対象エリア

新宿御苑内全区域（別紙1）

（2）対象樹木

①樹木調査

- ・対象木リスト（別紙2）にあるサクラ、モモ及びウメ合計1076本。
- ・対象樹木参考図は（別紙3）のとおり。

②樹幹注入

- ・対象木リスト（別紙2）のうち、施工欄に○がついているサクラ（ソメイヨシノ）及びモモ 合計316本。
- ・対象樹木参考図は（別紙3）のとおり。

（3）薬剤等

①管理事務所より以下を提供及び貸与

- ・注入器セット 5セット
{内訳：注入器本体、ノズル、吸入管、薬液チューブ、肩掛けストラップ、注入孔マーカー（竹串100×2）、注入補助器10本}
- ・注入補助器25本 × 4袋 × 2セット
- ・カットパスター500g × 31個

②請負者が購入する薬剤等

- ・ウッドスター（農林水産省登録第 23624 号）450ml × 90 本
 - ・注入器セット 5 セット
- ※なお、樹木の生長による薬剤等の不足分は設計変更で追加購入とし、余部が出た際は管理事務所へ納品すること。

4. 業務の実施方法

（1）工程関係

- ・本業務を遂行するに当たっては、業務の区切りにおいて 3 回程度の打合せを行うものとする。
- ・作業の実施時間は、月曜日から金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時までとすること。その他の時間の実施については、管理事務所に申し出て承認を得ること。
- ・休日（土曜、日曜及び祝祭日）の作業は認めないが、やむを得ない理由があるときは、管理事務所に休日作業願を提出し事前に承認を得ること。
- ・新宿御苑の休園日は毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日（特別開園日を除く）及び年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)である。ただし、特別開園期間（秋 11 月 1 日～15 日、春 3 月 25 日～4 月 24 日）を除く(期間中無休)。
- ・新宿御苑の開園時間及び閉園時間は次表のとおりである。※現時点での情報

期間	開園時間	閉園時間
10/1～3/14	9:00AM～4:00PM	4:30PM
3/15～6/30 8/21～9/30	9:00AM～5:30PM	6:00PM
7/1～8/20	9:00AM～6:30PM	7:00PM

- ・園内での作業にあたっては、「新宿御苑作業要領」を厳守し、作業責任者は作業員の規律保持に留意すること。
- ・作業に伴う軽微な枝払い及び除草については認めるが、予め作業場所毎の留意事項を環境省担当官に確認するとともに、公園利用者を園路外に誘引しないよう留意すること。

（2）作業関係

- ・樹幹注入作業は契約後可及的速やかに開始するとともに、7 月中までに完了することを基本に計画的に実施すること。
- ・樹木調査は、樹幹注入時（1 回目）及び樹幹注入後の計 2 回以上実施すること。樹幹注入後の調査は 8 月中に実施すること。
- ・樹木調査は、胸高幹周、地際幹周、株立ち・病虫害等の状況を調査し、必要な情報を作業台帳に記録すること。
- ・樹木調査及び樹幹注入作業について、それぞれの作業状況を撮影し、写真帳として整理すること。撮影時は、管理事務所が指定する樹木テープ等を付した樹木情報（樹木番号ラベル、樹名板）の写真を撮影し、データとの樹木情報の整合性について作業台帳に記録すること。
- ・降雨時、荒天時は樹幹注入作業を控えること。

- ・作業にあたっては別添の「クビアカツヤカミキリ防除の手引き（2024 年 3 月 東京都環境局）」を精読し、「ウッドスターの使い方（クビアカツヤカミキリ防除用）」及び「ウッドスター 桜 薬量早見表」に従い実施するとともに、「農薬取締法」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守すること。
- ・使用済の薬剤等の容器等については、環境省担当官に使用個数の確認を受け、写真撮影し写真帳として整理した後、適切に廃棄すること。
- ・貸与した注入器セット等は、使用後きれいに洗浄、乾燥させること。器具の不調等があった際は速やかに報告すること。
- ・クビアカツヤカミキリによる被害や、その他の病虫害、異常を確認した際は樹木医等の指示を仰ぐとともに、環境省担当官に報告し対応案を提示すること。
- ・作業日、樹木調査結果、その他の状況について作業台帳として一覧表にまとめ、電子メール等で随時環境省担当官に報告すること。

5. 業務履行期限

令和 7 年 10 月 31 日（金）まで

ただし、樹幹注入作業については 4.（2）のとおりとすること

6. 成果物

紙媒体：（A 4 判）1 部 及び 電子媒体：（CD 又は DVD）1 枚

提出場所：環境省新宿御苑管理事務所

7. 情報セキュリティの確保

請負者は、下記の点に留意して、情報セキュリティを確保するものとする。

- （1）請負者は、環境省担当官から要機密情報を提供された場合には、当該情報の機密性の格付けに応じて適切に取り扱うための措置を講ずること。

また、請負業務において請負者が作成する情報については、環境省担当官からの指示に応じて適切に取り扱うこと。

- （2）請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行が不十分と見なされるとき又は請負者において請負業務に係る情報セキュリティ事故が発生したときは、必要に応じて環境省担当官の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。

- （3）請負者は、環境省担当官から提供された要機密情報が業務終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。

また、請負業務において請負者が作成した情報についても、環境省担当官からの指示に応じて適切に廃棄すること。

（参考）環境省情報セキュリティポリシー

<http://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

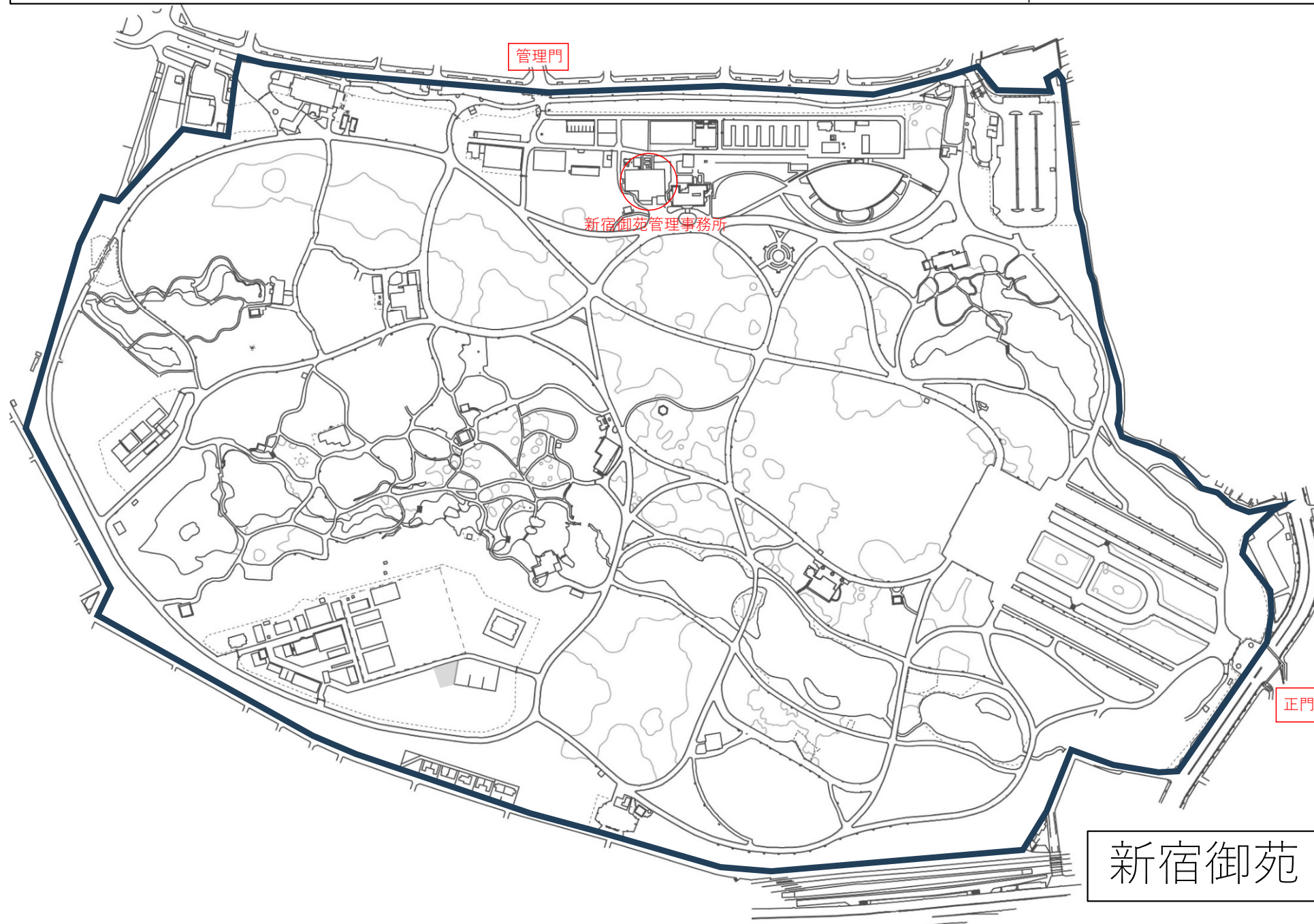
8. その他

- （1）請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難しい事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、環境省担当官と速やかに協議しその

指示に従うこと。

- (2) 本仕様書に記載がなくても、本作業を遂行するうえで当然必要な施工上の事項については請負者の負担とする。
- (3) 本業務を行うに当たって、必要に応じて「令和3年度新宿御苑毎木調査及びデータ整理業務成果物」の【樹木位置図】の閲覧・利用を可能とする。

令和7年度新宿御苑クビアカツヤカミキリ等病害虫防除業務 業務全体位置図



※他のソフト	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	初測定1	初測定2	初測定3	初測定4	初測定5	初測定6	幹周計	投入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
1	89			2	568	2-568	ウメ	5	4本立														
2	89			2	569	2-569	ウメ	3	3本立														
3	89			2	574	2-574	ウメ	6															
4	73			2	658	2-658	ウメ	6	2本立														
5	89			2	684	2-684	ウメ	6															
6	89			2	691	2-691	ウメ	6															
7	73			2	694	2-694	ウメ	5															
8	73			2	696	2-696	ウメ	5															
9	73			2	697	2-697	ウメ	5															
10	73			2	698	2-698	ウメ	6	2本立														
11	89			2	700	2-700	ウメ	5															
12	89			2	701	2-701	ウメ	3	2本立														
13	89			2	703	2-703	ウメ	5															
14	89			2	705	2-705	ウメ	6															
15	89			2	708	2-708	ウメ	5															
16	89			2	710	2-710	ウメ	6															
17	7			4	47	4-47	ウメ	5															
18	20			4	98	4-98	ウメ	4	2本立														
19	6			4	100	4-100	ウメ	6															
20	6			4	102	4-102	ウメ	4															
21	6			4	104	4-104	ウメ	5	4本立														
22	20			4	105	4-105	ウメ	5	2本立														
23	20			4	111	4-111	ウメ	5															
24	20			4	112	4-112	ウメ	4															
25	21			4	113	4-113	ウメ	5															
26	21			4	114	4-114	ウメ	5															
27	21			4	187	4-187	ウメ	4															
28	21			4	194	4-194	ウメ	4	2本立														
29	20			4	217	4-217	ウメ	7	3本立														
30	34			4	730	4-730	ウメ	4															
31	34			4	731	4-731	ウメ	4															
32	34			4	732	4-732	ウメ	5															

本数(ワゴン)	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	注液回数					幹周計	注入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
										注液回数1	注液回数2	注液回数3	注液回数4	注液回数5								
90	82			4	1097	4-1097	ウメ	4														
91	66			4	1098	4-1098	ウメ	5														
92	5			4	1270	4-1270	ウメ	5														
93	5			4	1271	4-1271	ウメ	5														
94	6			4	1272	4-1272	ウメ	5														
95	5			4	1281	4-1281	ウメ	5														
96	5			4	1282	4-1282	ウメ	5	3本立													
97	20			4	1412	4-1412	ウメ	4	3本立													
98	21			4	1413	4-1413	ウメ	5														
99	66			4	1449	4-1449	ウメ	5														
100	111			7	168	7-168	ウメ	4	2本立													
101	111			7	169	7-169	ウメ	4														
102	111			7	170	7-170	ウメ	4	2本立													
103	111			7	171	7-171	ウメ	4														
104	111			7	172	7-172	ウメ	3.8	2本立													
105	111			7	206	7-206	ウメ	4														
106	111			7	207	7-207	ウメ	4	2本立													
107	111			7	208	7-208	ウメ	4														
108	112			7	219	7-219	ウメ	3.6														
109	112			7	220	7-220	ウメ	4	2本立													
110	112			7	221	7-221	ウメ	4														
111	112			7	222	7-222	ウメ	4														
112	112			7	224	7-224	ウメ	4														
113	112			7	261	7-261	ウメ	6														
114	112			7	265	7-265	ウメ	4	2本立													
115	112			7	269	7-269	ウメ	5														
116	112			7	270	7-270	ウメ	5														
117	112			7	271	7-271	ウメ	4														
118	112			7	274	7-274	ウメ	4														
119	112			7	275	7-275	ウメ	5														
120	112			7	277	7-277	ウメ	6														
121	112			7	279	7-279	ウメ	4	3本立													
122	112			7	280	7-280	ウメ	4														
123	112			7	283	7-283	ウメ	4														
124	112			7	284	7-284	ウメ	4														
125	112			7	286	7-286	ウメ	4	2本立													
126	112			7	287	7-287	ウメ	5														
127	112			7	288	7-288	ウメ	5														
128	112			7	289	7-289	ウメ	5														
129	112			7	290	7-290	ウメ	5														
130	112			7	291	7-291	ウメ	5														
131	112			7	292	7-292	ウメ	5														
132	112			7	293	7-293	ウメ	4	3本立													
133	112			7	294	7-294	ウメ	4														
134	112			7	295	7-295	ウメ	4	2本立													
135	112			7	296	7-296	ウメ	4														
136	112			7	297	7-297	ウメ	5														
137	112			7	298	7-298	ウメ	4	2本立													
138	112			7	299	7-299	ウメ	5														
139	112			7	300	7-300	ウメ	4														
140	112			7	301	7-301	ウメ	5														
141	112			7	302	7-302	ウメ	5														
142	112			7	303	7-303	ウメ	5	2本立													
143	112			7	304	7-304	ウメ	5														
144	112			7	305	7-305	ウメ	5														
145	112			7	306	7-306	ウメ	5														
146	112			7	307	7-307	ウメ	4														
147	112			7	309	7-309	ウメ	5														
148	112			7	310	7-310	ウメ	5	6本立													
149	112			7	311	7-311	ウメ	5	3本立					39								
150	112			7	314	7-314	ウメ	4	3本立													
151	112			7	316	7-316	ウメ	3	3本立													
152	112			7	317	7-317	ウメ	4	3本立													
153	112			7	318	7-318	ウメ	4	3本立													
154	112			7	319	7-319	ウメ	4														
155	112			7	320	7-320	ウメ	4	2本立													
156	112			7	321	7-321	ウメ	4														
157	112			7	322	7-322	ウメ	2.4														
158	112			7	323	7-323	ウメ	4														
159	112			7	324	7-324	ウメ	6														
160	112			7	325	7-325	ウメ	3.5														
161	112			7	326	7-326	ウメ	4														
162	112			7	331	7-331	ウメ	2.6														
163	113			7	339	7-339	ウメ	8														
164	112			7	379	7-379	ウメ	4	2本立													
165	113			7	421	7-421	ウメ	5	2本立													
166	98			7	694	7-694	ウメ	5														
167	98			7	797	7-797	ウメ	8														
168	98			7	806	7-806	ウメ	6														
169	97			7	807	7-807	ウメ	6														
170	98			7	815	7-815	ウメ	5														
171	97			7	821	7-821	ウメ	5														
172	113			7	1007	7-1007	ウメ	6														
173	113			7	1009	7-1009	ウメ	6														
174	112			7	1595	7-1595	ウメ	4														
175	112			7	1597	7-1597	ウメ	4														
176	112			7	1757	7-1757	ウメ	2	2本立													
177	112			7	1759	7-1759	ウメ	3														
178	114			7	1823	7-1823	ウメ	1.6		35	0	0	0	0		35	40					ウメ

[illegible]

BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	初測定1	初測定2	初測定3	初測定4	初測定5	初測定6	幹周計	侵入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
267	105		2	1294	2-1294	サクラ類	8									210						ヤマザクラ
268	105		2	1311	2-1311	サクラ類	15									172						オオシマザクラ
269	90		2	1420	2-1420	サクラ類	9									156						タカトオコヒガン
270	72		2	1613	2-1613	サクラ類	0		0	0	0	0	0		24.5							ヨコハマヒザクラ
271	139		2	1829	2-1829	サクラ類	4									55						ゴショザクラ
272	139		2	1831	2-1831	サクラ類	5									63						ケンロウエンキクザクラ
273	122		2	1832	2-1832	サクラ類	7									88						シシンデンサコンノサクラ
274	139		2	1834	2-1834	サクラ類	6		21	0	0	0	0		21.0							ハイゴジジュズカ
275	27		2	1835	2-1835	サクラ類	9									112						ヒマラヤヒザクラ
276	139		2	1836	2-1836	サクラ類										44						マスマヤマ
277	88		2	1838	2-1838	サクラ類										46						チョウシュウヒザクラ
278	56		2	1841	2-1841	サクラ類	3		13	11	11	0	0		24.5							カンザン
279	56		2	1842	2-1842	サクラ類	6									57						チョウシュウヒザクラ
280	56		2	1843	2-1843	サクラ類	5		30	0	0	0	0		30.0							フクロクジュ
281	139		2			サクラ類																マスマヤマ
282	139		2			サクラ類																マスマヤマ
283	104	○	3	2	3-2	サクラ類	16									184	18	72				ソメイヨシノ
284	104	○	3	3	3-3	サクラ類	16									268	26	104				ソメイヨシノ
285	104	○	3	4	3-4	サクラ類	18									262	25	100				ソメイヨシノ
286	87		3	14	3-14	サクラ類	11									309						イチヨウ
287	87	○	3	15	3-15	サクラ類	8									280	27	108				ソメイヨシノ
288	87	○	3	16	3-16	サクラ類	12									390	38	152				ソメイヨシノ
289	87	○	3	17	3-17	サクラ類	8	2本立	138	105					243	246	24	96				ソメイヨシノ
290	87	○	3	19	3-19	サクラ類	13									360	35	140				ソメイヨシノ
291	87	○	3	20	3-20	サクラ類	10									321	31	124				ソメイヨシノ
292	87		3	22	3-22	サクラ類	10									230						イチヨウ
293	71		3	23	3-23	サクラ類	11									228						ヨウコウ
294	71		3	24	3-24	サクラ類	7									94						不明(天城森野・カンヒザクラ)
295	71		3	25	3-25	サクラ類	7									163						不明(天城森野・カンヒザクラ)

本数(ワゴン)	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	幹周計1	幹周計2	幹周計3	幹周計4	幹周計5	幹周計6	幹周計7	幹周計8	幹周計9	幹周計10	幹周計11	幹周計12	幹周計13	幹周計14	幹周計15	幹周計16	幹周計17	幹周計18	幹周計19	幹周計20	幹周計21	幹周計22	幹周計23	幹周計24	幹周計25	幹周計26	幹周計27	幹周計28	幹周計29	幹周計30	幹周計31	幹周計32	幹周計33	幹周計34	幹周計35	幹周計36	幹周計37	幹周計38	幹周計39	幹周計40	幹周計41	幹周計42	幹周計43	幹周計44	幹周計45	幹周計46	幹周計47	幹周計48	幹周計49	幹周計50	幹周計51	幹周計52	幹周計53	幹周計54	幹周計55	幹周計56	幹周計57	幹周計58	幹周計59	幹周計60	幹周計61	幹周計62	幹周計63	幹周計64	幹周計65	幹周計66	幹周計67	幹周計68	幹周計69	幹周計70	幹周計71	幹周計72	幹周計73	幹周計74	幹周計75	幹周計76	幹周計77	幹周計78	幹周計79	幹周計80	幹周計81	幹周計82	幹周計83	幹周計84	幹周計85	幹周計86	幹周計87	幹周計88	幹周計89	幹周計90	幹周計91	幹周計92	幹周計93	幹周計94	幹周計95	幹周計96	幹周計97	幹周計98	幹周計99	幹周計100	幹周計101	幹周計102	幹周計103	幹周計104	幹周計105	幹周計106	幹周計107	幹周計108	幹周計109	幹周計110	幹周計111	幹周計112	幹周計113	幹周計114	幹周計115	幹周計116	幹周計117	幹周計118	幹周計119	幹周計120	幹周計121	幹周計122	幹周計123	幹周計124	幹周計125	幹周計126	幹周計127	幹周計128	幹周計129	幹周計130	幹周計131	幹周計132	幹周計133	幹周計134	幹周計135	幹周計136	幹周計137	幹周計138	幹周計139	幹周計140	幹周計141	幹周計142	幹周計143	幹周計144	幹周計145	幹周計146	幹周計147	幹周計148	幹周計149	幹周計150	幹周計151	幹周計152	幹周計153	幹周計154	幹周計155	幹周計156	幹周計157	幹周計158	幹周計159	幹周計160	幹周計161	幹周計162	幹周計163	幹周計164	幹周計165	幹周計166	幹周計167	幹周計168	幹周計169	幹周計170	幹周計171	幹周計172	幹周計173	幹周計174	幹周計175	幹周計176	幹周計177	幹周計178	幹周計179	幹周計180	幹周計181	幹周計182	幹周計183	幹周計184	幹周計185	幹周計186	幹周計187	幹周計188	幹周計189	幹周計190	幹周計191	幹周計192	幹周計193	幹周計194	幹周計195	幹周計196	幹周計197	幹周計198	幹周計199	幹周計200	幹周計201	幹周計202	幹周計203	幹周計204	幹周計205	幹周計206	幹周計207	幹周計208	幹周計209	幹周計210	幹周計211	幹周計212	幹周計213	幹周計214	幹周計215	幹周計216	幹周計217	幹周計218	幹周計219	幹周計220	幹周計221	幹周計222	幹周計223	幹周計224	幹周計225	幹周計226	幹周計227	幹周計228	幹周計229	幹周計230	幹周計231	幹周計232	幹周計233	幹周計234	幹周計235	幹周計236	幹周計237	幹周計238	幹周計239	幹周計240	幹周計241	幹周計242	幹周計243	幹周計244	幹周計245	幹周計246	幹周計247	幹周計248	幹周計249	幹周計250	幹周計251	幹周計252	幹周計253	幹周計254	幹周計255	幹周計256	幹周計257	幹周計258	幹周計259	幹周計260	幹周計261	幹周計262	幹周計263	幹周計264	幹周計265	幹周計266	幹周計267	幹周計268	幹周計269	幹周計270	幹周計271	幹周計272	幹周計273	幹周計274	幹周計275	幹周計276	幹周計277	幹周計278	幹周計279	幹周計280	幹周計281	幹周計282	幹周計283	幹周計284	幹周計285	幹周計286	幹周計287	幹周計288	幹周計289	幹周計290	幹周計291	幹周計292	幹周計293	幹周計294	幹周計295	幹周計296	幹周計297	幹周計298	幹周計299	幹周計300	幹周計301	幹周計302	幹周計303	幹周計304	幹周計305	幹周計306	幹周計307	幹周計308	幹周計309	幹周計310	幹周計311	幹周計312	幹周計313	幹周計314	幹周計315	幹周計316	幹周計317	幹周計318	幹周計319	幹周計320	幹周計321	幹周計322	幹周計323	幹周計324	幹周計325	幹周計326	幹周計327	幹周計328	幹周計329	幹周計330	幹周計331	幹周計332	幹周計333	幹周計334	幹周計335	幹周計336	幹周計337	幹周計338	幹周計339	幹周計340	幹周計341	幹周計342	幹周計343	幹周計344	幹周計345	幹周計346	幹周計347	幹周計348	幹周計349	幹周計350	幹周計351	幹周計352	幹周計353	幹周計354	幹周計355	幹周計356	幹周計357	幹周計358	幹周計359	幹周計360	幹周計361	幹周計362	幹周計363	幹周計364	幹周計365	幹周計366	幹周計367	幹周計368	幹周計369	幹周計370	幹周計371	幹周計372	幹周計373	幹周計374	幹周計375	幹周計376	幹周計377	幹周計378	幹周計379	幹周計380	幹周計381	幹周計382	幹周計383	幹周計384	幹周計385	幹周計386	幹周計387	幹周計388	幹周計389	幹周計390	幹周計391	幹周計392	幹周計393	幹周計394	幹周計395	幹周計396	幹周計397	幹周計398	幹周計399	幹周計400	幹周計401	幹周計402	幹周計403	幹周計404	幹周計405	幹周計406	幹周計407	幹周計408	幹周計409	幹周計410	幹周計411	幹周計412	幹周計413	幹周計414	幹周計415	幹周計416	幹周計417	幹周計418	幹周計419	幹周計420	幹周計421	幹周計422	幹周計423	幹周計424	幹周計425	幹周計426	幹周計427	幹周計428	幹周計429	幹周計430	幹周計431	幹周計432	幹周計433	幹周計434	幹周計435	幹周計436	幹周計437	幹周計438	幹周計439	幹周計440	幹周計441	幹周計442	幹周計443	幹周計444	幹周計445	幹周計446	幹周計447	幹周計448	幹周計449	幹周計450	幹周計451	幹周計452	幹周計453	幹周計454	幹周計455	幹周計456	幹周計457	幹周計458	幹周計459	幹周計460	幹周計461	幹周計462	幹周計463	幹周計464	幹周計465	幹周計466	幹周計467	幹周計468	幹周計469	幹周計470	幹周計471	幹周計472	幹周計473	幹周計474	幹周計475	幹周計476	幹周計477	幹周計478	幹周計479	幹周計480	幹周計481	幹周計482	幹周計483	幹周計484	幹周計485	幹周計486	幹周計487	幹周計488	幹周計489	幹周計490	幹周計491	幹周計492	幹周計493	幹周計494	幹周計495	幹周計496	幹周計497	幹周計498	幹周計499	幹周計500	幹周計501	幹周計502	幹周計503	幹周計504	幹周計505	幹周計506	幹周計507	幹周計508	幹周計509	幹周計510	幹周計511	幹周計512	幹周計513	幹周計514	幹周計515	幹周計516	幹周計517	幹周計518	幹周計519	幹周計520	幹周計521	幹周計522	幹周計523	幹周計524	幹周計525	幹周計526	幹周計527	幹周計528	幹周計529	幹周計530	幹周計531	幹周計532	幹周計533	幹周計534	幹周計535	幹周計536	幹周計537	幹周計538	幹周計539	幹周計540	幹周計541	幹周計542	幹周計543	幹周計544	幹周計545	幹周計546	幹周計547	幹周計548	幹周計549	幹周計550	幹周計551	幹周計552	幹周計553	幹周計554	幹周計555	幹周計556	幹周計557	幹周計558	幹周計559	幹周計560	幹周計561	幹周計562	幹周計563	幹周計564	幹周計565	幹周計566	幹周計567	幹周計568	幹周計569	幹周計570	幹周計571	幹周計572	幹周計573	幹周計574	幹周計575	幹周計576	幹周計577	幹周計578	幹周計579	幹周計580	幹周計581	幹周計582	幹周計583	幹周計584	幹周計585	幹周計586	幹周計587	幹周計588	幹周計589	幹周計590	幹周計591	幹周計592	幹周計593	幹周計594	幹周計595	幹周計596	幹周計597	幹周計598	幹周計599	幹周計600	幹周計601	幹周計602	幹周計603	幹周計604	幹周計605	幹周計606	幹周計607	幹周計608	幹周計609	幹周計610	幹周計611	幹周計612	幹周計613	幹周計614	幹周計615	幹周計616	幹周計617	幹周計618	幹周計619	幹周計620	幹周計621	幹周計622	幹周計623	幹周計624	幹周計625	幹周計626	幹周計627	幹周計628	幹周計629	幹周計630	幹周計631	幹周計632	幹周計633	幹周計634	幹周計635	幹周計636	幹周計637	幹周計638	幹周計639	幹周計640	幹周計641	幹周計642	幹周計643	幹周計644	幹周計645	幹周計646	幹周計647	幹周計648	幹周計649	幹周計650	幹周計651	幹周計652	幹周計653	幹周計654	幹周計655	幹周計656	幹周計657	幹周計658	幹周計659	幹周計660	幹周計661	幹周計662	幹周計663	幹周計664	幹周計665	幹周計666	幹周計667	幹周計668	幹周計669	幹周計670	幹周計671	幹周計672	幹周計673	幹周計674	幹周計675	幹周計676	幹周計677	幹周計678	幹周計679	幹周計680	幹周計681	幹周計682	幹周計683	幹周計684	幹周計685	幹周計686	幹周計687	幹周計688	幹周計689	幹周計690	幹周計691	幹周計692	幹周計693	幹周計694	幹周計695	幹周計696	幹周計697	幹周計698	幹周計699	幹周計700	幹周計701	幹周計702	幹周計703	幹周計704	幹周計705	幹周計706	幹周計707	幹周計708	幹周計709	幹周計710	幹周計711	幹周計712	幹周計713	幹周計714	幹周計715	幹周計716	幹周計717	幹周計718	幹周計719	幹周計720	幹周計721	幹周計722	幹周計723	幹周計724	幹周計725	幹周計726	幹周計727	幹周計728	幹周計729	幹周計730	幹周計731	幹周計732	幹周計733	幹周計734	幹周計735	幹周計736	幹周計737	幹周計738	幹周計739	幹周計740	幹周計741	幹周計742	幹周計743	幹周計744	幹周計745	幹周計746	幹周計747	幹周計748	幹周計749	幹周計750	幹周計751	幹周計752	幹周計753	幹周計754	幹周計755	幹周計756	幹周計757	幹周計758	幹周計759	幹周計760	幹周計761	幹周計762	幹周計763	幹周計764	幹周計765	幹周計766	幹周計767	幹周計768	幹周計769	幹周計770	幹周計771	幹周計772	幹周計773	幹周計774	幹周計775	幹周計776	幹周計777	幹周計778	幹周計779	幹周計780	幹周計781	幹周計782	幹周計783	幹周計784	幹周計785	幹周計786	幹周計787	幹周計788	幹周計789	幹周計790	幹周計791	幹周計792	幹周計793	幹周計794	幹周計795	幹周計796	幹周計797	幹周計798	幹周計799	幹周計800	幹周計801	幹周計802	幹周計803	幹周計804	幹周計805	幹周計806	幹周計807	幹周計808	幹周計809	幹周計810	幹周計811	幹周計812	幹周計813	幹周計814	幹周計815	幹周計816	幹周計817	幹周計818	幹周計819	幹周計820	幹周計821	幹周計822	幹周計823	幹周計824	幹周計825	幹周計826	幹周計827	幹周計828	幹周計829	幹周計830	幹周計831	幹周計832	幹周計833	幹周計834	幹周計835	幹周計836	幹周計837	幹周計838	幹周計839	幹周計840	幹周計841	幹周計842	幹周計843	幹周計844	幹周計845	幹周計846	幹周計847	幹周計848	幹周計849	幹周計850	幹周計851	幹周計852	幹周計853	幹周計854	幹周計855	幹周計856	幹周計857	幹周計858	幹周計859	幹周計860	幹周計861	幹周計862	幹周計863	幹周計864	幹周計865	幹周計866	幹周計867	幹周計868	幹周計869	幹周計870	幹周計871	幹周計872	幹周計873	幹周計874	幹周計875	幹周計876	幹周計877	幹周計878	幹周計879	幹周計880	幹周計881	幹周計882	幹周計883	幹周計884	幹周計885	幹周計886	幹周計887	幹周計888	幹周計889	幹周計890	幹周計891	幹周計892	幹周計893	幹周計894	幹周計895	幹周計896	幹周計897	幹周計898	幹周計899	幹周計900	幹周計901	幹周計902	幹周計903	幹周計904	幹周計905	幹周計906	幹周計907	幹周計908	幹周計909	幹周計910	幹周計911	幹周計912	幹周計913	幹周計914	幹周計915	幹周計916	幹周計917	幹周計918	幹周計919	幹周計920	幹周計921	幹周計922	幹周計923	幹周計92
---------	----	----	----	----	----	--------	-----	----	----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------

木数カウンタ	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	注液量1	注液量2	注液量3	注液量4	注液量5	注液量6	幹周計	注入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名	
445	35	○			4	1684	4-1684	サクラ類	6		31	0	0	0	0		31.0	31	3	12				ソメイヨシノ
446	66				4	1734	4-1734	サクラ類	6									87						カワツザクラ
447	22				4	1735	4-1735	サクラ類	2		6	0	0	0	0		6.0							タマユメザクラ
448	22				4	1736	4-1736	サクラ類	2		6	0	0	0	0		6.0							タマユメザクラ
449	22				4	1737	4-1737	サクラ類	2		6	0	0	0	0		6.0							タマユメザクラ
450	19				4	1769	4-1769	サクラ類	4		26	0	0	0	0		26.0							ヒマラヤヒザクラ
451	17	○			5	6	5-6	サクラ類	13								274	27	108					ソメイヨシノ
452	16	○			5	21	5-21	サクラ類	21								284	27	108					ソメイヨシノ
453	31	○			5	26	5-26	サクラ類	23	2本立	160	168				328	328	32	128					ソメイヨシノ
454	45				5	43	5-43	サクラ類	8								76							ヤマザクラ
455	45				5	72	5-72	サクラ類	14								190							オオシマザクラ
456	18				5	144	5-144	サクラ類	6								124							カンザン
457	18	○			5	145	5-145	サクラ類	11								300	29	116					ソメイヨシノ
458	18				5	147	5-147	サクラ類	11								230							オオシマザクラ
459	17	○			5	165	5-165	サクラ類	16								240	23	92					ソメイヨシノ
460	32	○			5	168	5-168	サクラ類	11								350	34	136					ソメイヨシノ
461	46				5	178	5-178	サクラ類	10								158							カンザン
462	46				5	195	5-195	サクラ類	10	2本立	68	78				146	146							フゲンソウ
463	46				5	196	5-196	サクラ類	10								102							カンザン
464	46				5	202	5-202	サクラ類	10								136							カンザン
465	45	○			5	205	5-205	サクラ類	15								320	31	124					ソメイヨシノ
466	62	○			5	253	5-253	サクラ類	14								221	21	84					ソメイヨシノ
467	62	○			5	254	5-254	サクラ類	15								375	36	144					ソメイヨシノ
468	78	○			5	282	5-282	サクラ類	18								230	22	88					ソメイヨシノ
469	78	○			5	283	5-283	サクラ類	18								322	31	124					ソメイヨシノ
470	94	○			5	340	5-340	サクラ類	19								230	22	88					ソメイヨシノ
471	95	○			5	389	5-389	サクラ類	16								327	32	128					ソメイヨシノ
472	48	○			5	464	5-464	サクラ類	18								172	17	68					ソメイヨシノ
473	64	○			5	467	5-467	サクラ類	14								220	21	84					ソメイヨシノ
474	47	○			5	501	5-501	サクラ類	18								360	35	140					ソメイヨシノ
475	48				5	508	5-508	サクラ類	9								88							不明(天城吉野×カンヒザクラ)
476	47	○			5	513	5-513	サクラ類	26	2本立	170	120				290	290	28	112					ソメイヨシノ
477	47				5	544	5-544	サクラ類	9								254							カンザン
478	47				5	547	5-547	サクラ類	11								186							フゲンソウ
479	63				5	638	5-638	サクラ類	10	5本立	53	30	29	73	76		261	261						オオシマザクラ
480	77	○			5	675	5-675	サクラ類	18								200	19	76					ソメイヨシノ
481	78				5	702	5-702	サクラ類	9															ベニシダレ
482	63				5	873	5-873	サクラ類	8								85							オオシマザクラ
483	63				5	904	5-904	サクラ類	12								130							ヤマザクラ
484	17				5	1021	5-1021	サクラ類	4		13	0	0	0	0		13.0							アミノガワ
485	61				5	1023	5-1023	サクラ類	5		20	0	0	0	0		20.0							オオヤマザクラ
486	79				5	1024	5-1024	サクラ類	5		15	0	0	0	0		15.0							バイゴジジュスカ
487	95				5	1025	5-1025	サクラ類	5		24	0	0	0	0		24.0							コトヒラ
488	47	○			5	1162	5-1162	サクラ類	5	3本立	34	28	35				97	97	10	40				ソメイヨシノ
489	94				5	1175	5-1175	サクラ類	4		21	0	0	0	0		21.0							ベンドノ
490	95				5	1176	5-1176	サクラ類	4		17	0	0	0	0		17.0							ベンドノ
491	76				6	10	6-10	サクラ類	11								128							カンザン
492	76				6	32	6-32	サクラ類	14								156							イチヨウ
493	92	○			6	43	6-43	サクラ類	16								263	25	100					ソメイヨシノ
494	77				6	383	6-383	サクラ類	19								149							ヤマザクラ
495	77				6	387	6-387	サクラ類	19								146							ヤマザクラ
496	76	○			6	392	6-392	サクラ類	22	2本立	112	181				293	293	28	112					ソメイヨシノ
497	77	○			6	393	6-393	サクラ類	18	2本立	143	137				280	280	27	108					ソメイヨシノ
498	77	○			6	395	6-395	サクラ類	16								122	12	48					ソメイヨシノ
499	76	○			6	400	6-400	サクラ類	22	3本立	140	110	133			383	383	37	148					ソメイヨシノ
500	76	○			6	403	6-403	サクラ類	20	3本立	118	148	148			414	414	40	160					ソメイヨシノ
501	77				6	430	6-430	サクラ類	15	2本立	128	136				264	264							ヤマザクラ
502	77				6	433	6-433	サクラ類	14								140							ヤマザクラ
503	92	○			6	456	6-456	サクラ類	6								118	12	48					ソメイヨシノ
504	108	○			6	465	6-465	サクラ類	6	2本立	23	98				121	132	13	52					ソメイヨシノ
505	94				6	609	6-609	サクラ類	16								205							ヤマザクラ
506	94				6	617	6-617	サクラ類	15								152							ヤマザクラ
507	93				6	620	6-620	サクラ類	16								116							ヤマザクラ
508	93				6	630	6-630	サクラ類	18	3本立	122	124	36			282	282							ヤマザクラ
509	93				6	636	6-636	サクラ類	13								150							ヤマザクラ
510	93				6	647	6-647	サクラ類	17								122							ヤマザクラ
511	109				6	699	6-699	サクラ類	18								112							ヤマザクラ
512	109				6	707																		

本数(カブト)	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	幹周計1	幹周計2	幹周計3	幹周計4	幹周計5	幹周計6	幹周計	投入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
534	109			6	1356	6-1356	サクラ類	0		0	0	0	0	0	0	0.0							シロタエ
535	108			6	1357	6-1357	サクラ類	4		22	0	0	0	0	0	22.0							シバヤマ
536	108	○		6	1390	6-1390	サクラ類	7									44	4	16				ソメイヨシノ
537	96			7	125	7-125	サクラ類	13									152						カンザン
538	111	○		7	178	7-178	サクラ類	18									244	24	96				ソメイヨシノ
539	112	○		7	228	7-228	サクラ類	17									296	29	116				ソメイヨシノ
540	96	○		7	229	7-229	サクラ類	13									260	25	100				ソメイヨシノ
541	112	○		7	230	7-230	サクラ類	12									237	23	92				ソメイヨシノ
542	96			7	251	7-251	サクラ類	10	2本立	69	107					176	176						タイハク
543	96			7	252	7-252	サクラ類	8									72						カンザン
544	113			7	329	7-329	サクラ類	8									134						ヤエベニシダレ
545	113	○		7	351	7-351	サクラ類	12									203	20	80				ソメイヨシノ
546	113	○		7	354	7-354	サクラ類	15									235	23	92				ソメイヨシノ
547	113	○		7	357	7-357	サクラ類	16									298	29	116				ソメイヨシノ
548	130			7	371	7-371	サクラ類	7									122						サツマカンザクラ
549	113			7	425	7-425	サクラ類	7									139						アマヤドリ
550	130			7	430	7-430	サクラ類	7	2本立	72	88					160	160						イチヨウ
551	130			7	432	7-432	サクラ類	5	2本立	76	58					134	134						スルガダイニオイ
552	130			7	449	7-449	サクラ類	15									134						ヤマザクラ
553	147			7	480	7-480	サクラ類	7									268						イチヨウ
554	147	○		7	495	7-495	サクラ類	10									277	27	108				ソメイヨシノ
555	147			7	498	7-498	サクラ類	9									190						カンザクラ類
556	147			7	503	7-503	サクラ類	9	2本立	85	143					228	228						ヤエベニシダレ
557	147			7	504	7-504	サクラ類	6	2本立	102	128					230	230						イチヨウ
558	147			7	505	7-505	サクラ類	6	2本立	113	97					210	210						サツマカンザクラ
559	147			7	519	7-519	サクラ類	7	3本立	147	97	123				367	367						コンオヤマ
560	130			7	520	7-520	サクラ類	5	5本立	77	33	55	44	61		270	270						コトヒラ
561	130			7	525	7-525	サクラ類	6									206						イチヨウ
562	148	○		7	537	7-537	サクラ類	7									251	24	96				ソメイヨシノ
563	147			7	549	7-549	サクラ類	7									140						ジュウニガツザクラ
564	130	○		7	566	7-566	サクラ類	10									342	33	132				ソメイヨシノ
565	113	○		7	571	7-571	サクラ類	11									253	24	96				ソメイヨシノ
566	114	○		7	572	7-572	サクラ類	12									363	35	140				ソメイヨシノ
567	114			7	596	7-596	サクラ類	9									164						カンザン
568	114			7	633	7-633	サクラ類	6									163						カンザン
569	114	○		7	635	7-635	サクラ類	12									309	30	120				ソメイヨシノ
570	98	○		7	689	7-689	サクラ類	14									230	22	88				ソメイヨシノ
571	98	○		7	811	7-811	サクラ類	10									216	21	84				ソメイヨシノ
572	97			7	819	7-819	サクラ類	15	2本立	102	124					226	250						シラユキ
573	97			7	822	7-822	サクラ類	12									180						ヤマザクラ
574	97	○		7	826	7-826	サクラ類	14									274	27	108				ソメイヨシノ
575	97	○		7	848	7-848	サクラ類	19									294	28	112				ソメイヨシノ
576	97	○		7	851	7-851	サクラ類	22									353	34	136				ソメイヨシノ
577	96	○		7	852	7-852	サクラ類	22									287	28	112				ソメイヨシノ
578	96	○		7	864	7-864	サクラ類	17									204	20	80				ソメイヨシノ
579	96	○		7	865	7-865	サクラ類	17									230	22	88				ソメイヨシノ
580	97	○		7	940	7-940	サクラ類	19									297	29	116				ソメイヨシノ
581	98			7	1072	7-1072	サクラ類	14									239						ヤマザクラ
582	98			7	1074	7-1074	サクラ類	14									144						ヤマザクラ
583	98			7	1075	7-1075	サクラ類	14									150						ヤマザクラ
584	114	○		7	1111	7-1111	サクラ類	12									246	24	96				ソメイヨシノ
585	114			7	1112	7-1112	サクラ類	11									161						カンザン
586	83	○		7	1127	7-1127	サクラ類	18									366	35	140				ソメイヨシノ
587	83	○		7	1132	7-1132	サクラ類	17									332	32	128				ソメイヨシノ
588	99			7	1174	7-1174	サクラ類	18									211						ヤマザクラ
589	100	○		7	1200	7-1200	サクラ類	14									230	22	88				ソメイヨシノ
590	100			7	1201	7-1201	サクラ類	6									171						ジュウニガツザクラ
591	100			7	1215	7-1215	サクラ類	16									233						イチヨウ
592	83	○		7	1235	7-1235	サクラ類	15									341	33	132				ソメイヨシノ
593	116	○		7	1237	7-1237	サクラ類	6									322	31	124				ソメイヨシノ
594	133	○		7	1257	7-1257	サクラ類										250	24	96				ソメイヨシノ
595	133	○		7	1263	7-1263	サクラ類	10									327	32	128				ソメイヨシノ
596	133			7	1315	7-1315	サクラ類	8									180						ヤエベニシダレ
597	116	○		7	1317	7-1317	サクラ類	15									362	35	140				ソメイヨシノ
598	115			7	1353	7-1353	サクラ類	8	2本立	149	118					267	267						サツマカンザクラ
599	116	○		7	1354	7-1354	サクラ類	16									228	22	88				ソメイヨシノ
600	115	○		7	1355	7-1355	サクラ類	14									308	30	120				ソメイヨシノ
601	99	○		7	1369	7-1369	サクラ類	12									286	28	112				ソメイヨシノ
602	99			7	1374	7-1374	サクラ類	11	2本立	107	129					236	236						

本数	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	R0幹周1	R0幹周2	R0幹周3	R0幹周4	R0幹周5	R0幹周6	幹周計	注入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名	
623	129			7	1785	7-1785	サクラ類	4		23	0	0	0	0	0	23.0								コマツナギ
624	129			7	1786	7-1786	サクラ類	6		22	0	0	0	0	0	22.0								シダレザクラ
625	129			7	1787	7-1787	サクラ類	6									46							シダレザクラ
626	122	○		8	1	8-1	サクラ類	14									356	34	136					ソメイヨシノ
627	122	○		8	2	8-2	サクラ類	14									272	26	104					ソメイヨシノ
628	121			8	7	8-7	サクラ類	14									251							オオシマザクラ
629	121			8	9	8-9	サクラ類	8									204							イチヨウ
630	104			8	18	8-18	サクラ類	13									186							オオシマザクラ
631	104	○		8	20	8-20	サクラ類	14									325	31	124					ソメイヨシノ
632	104			8	21	8-21	サクラ類	7	2本立	88	48					136	136							ホウシュサクラ
633	104	○		8	23	8-23	サクラ類	16									300	29	116					ソメイヨシノ
634	104			8	25	8-25	サクラ類	12	2本立	110	129					239	239							オオシマザクラ
635	104			8	28	8-28	サクラ類	13									74							カスミザクラ
636	104	○		8	46	8-46	サクラ類	12									290	28	112					ソメイヨシノ
637	104			8	50	8-50	サクラ類	10									130							イチヨウ
638	103			8	51	8-51	サクラ類	9	2本立	93	157					250	250							イチヨウ
639	104	○		8	53	8-53	サクラ類	13									403	39	156					ソメイヨシノ
640	103	○		8	54	8-54	サクラ類	14									368	36	144					ソメイヨシノ
641	103			8	55	8-55	サクラ類	13									248							イチヨウ
642	102	○		8	57	8-57	サクラ類	10									169	16	64					ソメイヨシノ
643	102	○		8	58	8-58	サクラ類	14									282	27	108					ソメイヨシノ
644	102			8	59	8-59	サクラ類	7									236							イチヨウ
645	135	○		8	69	8-69	サクラ類	10									424	41	164					ソメイヨシノ
646	135			8	70	8-70	サクラ類	6									160							フゲンソウ
647	136			8	72	8-72	サクラ類	4									90							エド
648	136			8	83	8-83	サクラ類	12									188							ヤマザクラ
649	154	○		8	85	8-85	サクラ類	10									281	27	108					ソメイヨシノ
650	154			8	86	8-86	サクラ類	9									201							ヤエベニシダレ
651	154	○		8	88	8-88	サクラ類	13									292	28	112					ソメイヨシノ
652	154	○		8	89	8-89	サクラ類	14	2本立	252	214					466	466	45	180					ソメイヨシノ
653	154			8	90	8-90	サクラ類	5									192							アマヤドリ
654	174			8	99	8-99	サクラ類	9									226							カンザクラ類
655	156	○		8	102	8-102	サクラ類	10									304	29	116					ソメイヨシノ
656	174			8	103	8-103	サクラ類	6	3本立	38	60	82				180	180							カンザン
657	174			8	104	8-104	サクラ類	7	3本立	95	135	107				337	337							イチヨウ
658	156			8	105	8-105	サクラ類	6									119							カンザン
659	156			8	106	8-106	サクラ類	10									328							フクロクジュ
660	174			8	107	8-107	サクラ類	8	2本立	137	133					270	270							イチヨウ
661	174			8	111	8-111	サクラ類	8	2本立	93	132					225	225							カンザン
662	174			8	116	8-116	サクラ類	6	3本立	73	104	95				272	272							カンザン
663	174			8	118	8-118	サクラ類	7	4本立	119	108	88	104			419	419							カンザン
664	174			8	119	8-119	サクラ類	8									151							ケンロクエンキクザクラ
665	174			8	120	8-120	サクラ類	9	3本立	106	98	100				304	304							タカトオコヒガン
666	192			8	122	8-122	サクラ類	9									182							オオシマザクラ
667	192			8	123	8-123	サクラ類	10									220							オオシマザクラ
668	174			8	130	8-130	サクラ類	10	2本立	154	121					275	275							カンザン
669	174			8	132	8-132	サクラ類	8		88	89	116				293	293							カンザン
670	174	○		8	133	8-133	サクラ類	11									410	39	156					ソメイヨシノ
671	175	○		8	135	8-135	サクラ類	11									310	30	120					ソメイヨシノ
672	175			8	137	8-137	サクラ類	12									181							本郷(天徳寺前×カンヒザクラ)
673	192			8	140	8-140	サクラ類	11									190							アメリカ
674	191	○		8	141	8-141	サクラ類	8									256	25	100					ソメイヨシノ
675	191	○		8	144	8-144	サクラ類	9									342	33	132					ソメイヨシノ
676	173	○		8	148	8-148	サクラ類	11	3本立	270	172	220				662	662	63	252					ソメイヨシノ
677	173	○		8	166	8-166	サクラ類	14	2本立	318	216					534	534	51	204					ソメイヨシノ
678	191			8	177	8-177	サクラ類	8	3本立	95	103	135				333	333							オオシマザクラ
679	191			8	178	8-178	サクラ類	10									296							オオシマザクラ
680	172			8	193	8-193	サクラ類	10									350							ヤマザクラ
681	172	○		8	194	8-194	サクラ類	10									326	31	124					ソメイヨシノ
682	172			8	196	8-196	サクラ類	11									250							ヤエベニシダレ
683	172			8	197	8-197	サクラ類	10									227							イチヨウ
684	190			8	198	8-198	サクラ類	9									221							イチヨウ
685	190			8	199	8-199	サクラ類	8									150							カンザン
686	172			8	200	8-200	サクラ類	10									230							ヤマザクラ
687	172			8	204	8-204	サクラ類	10									215							カンザン
688	172			8	207	8-207	サクラ類	11	2本立	74	103					177	177							イチヨウ
689	154			8	230	8-230	サクラ類	13									198							フクロクジュ
690	153	○		8</																				

BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	幹周1	幹周2	幹周3	幹周4	幹周5	幹周6	幹周計	進入高	孔数	(初)葉量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
712	118	○		8	297	8-297	サクラ類	13								510	49	196				ソメイヨシノ
713	135			8	298	8-298	サクラ類	10								210						イチヨウ
714	135			8	299	8-299	サクラ類	10								189						イチヨウ
715	135	○		8	300	8-300	サクラ類	10								342	33	132				ソメイヨシノ
716	135			8	301	8-301	サクラ類	9								208						イチヨウ
717	192			8	306	8-306	サクラ類	9	2本立	52	74				126	126						タカトオコヒガン
718	192			8	308	8-308	サクラ類	9	2本立	57	69				126	126						タカトオコヒガン
719	192			8	309	8-309	サクラ類	7	3本立	38	37	55			130	130						タカトオコヒガン
720	121			8	320	8-320	サクラ類	8								101						オオタザクラ
721	121			8	321	8-321	サクラ類	6								89						オオタザクラ
722	105			8	322	8-322	サクラ類	14								216						エドヒガン
723	117			8	323	8-323	サクラ類									55						ヨコハマヒザクラ
724	174			8	334	8-334	サクラ類	6								59						ギョイコウ
725	153			8	335	8-335	サクラ類	6								44						コシオヤマ
726	117			8	336	8-336	サクラ類	5								83						シヨウゲツ
727	117			8	337	8-337	サクラ類	5								59						タイハク
728	135			8	338	8-338	サクラ類	5								48						エド
729	136			8	339	8-339	サクラ類	6								51						シラユキ
730	174			8	340	8-340	サクラ類	5		16	0	0	0	0	16.0							ハイゴジユズカ
731	172			8	342	8-342	サクラ類	7								53						エド
732	117			8	343	8-343	サクラ類	9	5本立	32	35	43	54	45	209	209						イチヨウ
733	117			8	344	8-344	サクラ類	6								63						イチヨウ
734	192			8	345	8-345	サクラ類	8								50						カンザン
735	174			8	346	8-346	サクラ類	5		19	0	0	0	0	19.0							ベニツルザクラ
736	117			8	347	8-347	サクラ類	6								49						フゲンゾウ
737	153			8	348	8-348	サクラ類	6								49						ギョイコウ
738	174			8	349	8-349	サクラ類	9	3本立	44	45	39			128	128						ウコン
739	174			8	350	8-350	サクラ類	6		20	0	0	0	0	20.0							カンザン
740	117			8	351	8-351	サクラ類	5		23	0	0	0	0	23.0							

木数カウンタ	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	幹周計										孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
										10幹周1	10幹周2	10幹周3	10幹周4	10幹周5	10幹周6	10幹周7	10幹周8	10幹周9	10幹周10						
791	209			10	236	10-236	サクラ類	8												290					シダレザクラ
792	208			10	237	10-237	サクラ類	8												284					シダレザクラ
793	209			10	238	10-238	サクラ類	10												145					ヤエベニシダレ
794	209			10	239	10-239	サクラ類	11												310					シダレザクラ
795	192			10	241	10-241	サクラ類	10	2本立	125	179								304	304					イチヨウ
796	192			10	242	10-242	サクラ類	11		78									78	96					ハイゴジージュズカケザクラ
797	192	○		10	244	10-244	サクラ類	12											404	39	156				ソメイヨシノ
798	192			10	245	10-245	サクラ類	4	3本立	70	55	80						205	205						カンザン
799	192			10	246	10-246	サクラ類	6	3本立	74	75	72						221	221						カンザン
800	192	○		10	249	10-249	サクラ類	13											355	34	136				ソメイヨシノ
801	192	○		10	251	10-251	サクラ類	11											329	32	128				ソメイヨシノ
802	192	○		10	252	10-252	サクラ類	13	2本立	199	227							426	426	41	164				ソメイヨシノ
803	192	○		10	253	10-253	サクラ類	14	3本立	191	226	139						556	556	54	216				ソメイヨシノ
804	193	○		10	260	10-260	サクラ類	15											320	31	124				ソメイヨシノ
805	193	○		10	261	10-261	サクラ類	18	3本立	144	212	182						538	538	52	208				ソメイヨシノ
806	210	○		10	262	10-262	サクラ類	14	2本立	110	149	158						417	417	40	160				ソメイヨシノ
807	193	○		10	263	10-263	サクラ類	15											298	29	116				ソメイヨシノ
808	220			10	273	10-273	サクラ類	12											197						オオシマザクラ
809	220	○		10	274	10-274	サクラ類	14											339	33	132				ソメイヨシノ
810	220			10	275	10-275	サクラ類	7											127						カンザン
811	220			10	276	10-276	サクラ類	8	2本立	76	87							163	163						カンザン
812	220			10	277	10-277	サクラ類	8	2本立	92	88							180	195						カンザン
813	220			10	278	10-278	サクラ類	5	2本立	50	50							100	108						イチハトラノオ
814	220			10	279	10-279	サクラ類	6											114						オオヤマザクラ
815	220			10	280	10-280	サクラ類	9											203						カンザン
816	220			10	282	10-282	サクラ類	10	2本立	95	95							190	190						オオシマザクラ
817	220			10	283	10-283	サクラ類	8	2本立	92	94							186	186						オオシマザクラ
818	220	○		10	284	10-284	サクラ類	12											362	35	140				ソメイヨシノ
819	219	○		10	285	10-285	サクラ類	13											350	34	136				ソメイヨシノ
820	219	○		10	286	10-286	サクラ類	14											330	32	128				ソメイヨシノ
821	232	○		10	287	10-287	サクラ類	15	2本立	194	208							402	402	39	156				ソメイヨシノ
822	220			10	288	10-288	サクラ類	7	2本立	57	71							128	128						イチヨウ
823	232			10	289	10-289	サクラ類	7	2本立	45	74							119	119						イチヨウ
824	232			10	291	10-291	サクラ類	10	4本立	76	80	77	94					327	327						カンザン
825	232			10	293	10-293	サクラ類	8	2本立	91	111							202	202						イチヨウ
826	232	○		10	294	10-294	サクラ類	16											340	33	132				ソメイヨシノ
827	232	○		10	295	10-295	サクラ類	16	2本立	205	246							451	451	43	172				ソメイヨシノ
828	232	○		10	296	10-296	サクラ類	14											320	31	124				ソメイヨシノ
829	232	○		10	297	10-297	サクラ類	16											341	33	132				ソメイヨシノ
830	232			10	299	10-299	サクラ類	12	4本立	134	111	86	117					448	448						イチヨウ
831	232			10	300	10-300	サクラ類	4本立	109	95	114	90						408	408						オオシマザクラ
832	232			10	301	10-301	サクラ類	8											81						ジュウガツザクラ
833	232			10	302	10-302	サクラ類	7											67						ジュウガツザクラ
834	220	○		10	304	10-304	サクラ類	10											382	37	148				ソメイヨシノ
835	220			10	305	10-305	サクラ類	10	3本立	100	126	106						332	332						オオシマザクラ
836	220			10	306	10-306	サクラ類	11											257						オオシマザクラ
837	221	○		10	307	10-307	サクラ類	16											443	43	172				ソメイヨシノ
838	233			10	308	10-308	サクラ類	10											131						ベニユタカ
839	232	○		10	309	10-309	サクラ類	16											368	36	144				ソメイヨシノ
840	232			10	310	10-310	サクラ類	13	2本立	138	230							368	368						オオシマザクラ
841	232			10	311	10-311	サクラ類	11	2本立	153	165							318	318						オオシマザクラ
842	232			10	313	10-313	サクラ類	14	2本立	113	211							324	324						オオシマザクラ
843	232			10	314	10-314	サクラ類	14	3本立	111	92	116						319	319						オオシマザクラ
844	240	○		10	315	10-315	サクラ類	20											285	27	108				ソメイヨシノ
845	240	○		10	316	10-316	サクラ類	20											339	33	132				ソメイヨシノ
846	240	○		10	317	10-317	サクラ類	18											312	30	120				ソメイヨシノ
847	240	○		10	319	10-319	サクラ類	15											366	35	140				ソメイヨシノ
848	240	○		10	320	10-320	サクラ類	16											284	27	108				ソメイヨシノ
849	241	○		10	321	10-321	サクラ類	16											300	29	116				ソメイヨシノ
850	241			10	322	10-322	サクラ類	10											112						不明(天城吉野×カンヒザクラ)
851	240			10	323	10-323	サクラ類	9											91						不明(天城吉野×カンヒザクラ)
852	232			10	325	10-325	サクラ類	10											134						イチヨウ
853	233	○		10	328	10-328	サクラ類	14	4本立	138	123	65	136					462	462	45	180				オオシマザクラ
854	233			10	330	10-330	サクラ類	13											218						オオシマザクラ
855	233			10	332	10-332	サクラ類	10											104						不明(天城吉野×カンヒザクラ)
856	233			10	336	10-336	サクラ類	11											108						ベニユタカ
857	233			10	337	10-337	サクラ類	11											153						ベニユタカ
858	233			10	339	10-339	サクラ類	11											146						ベニユタカ

本数(カブシ)	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	注										幹周計	注入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
										注1	注2	注3	注4	注5	注6	注7	注8	注9	注10								
927	233			10	1239	10-1239	サクラ類	5		28	0	0	0	0					28.0								サツマカンザクラ
928	236			10	1240	10-1240	サクラ類	4		19	0	0	0	0					19.0								コマツナギ
929	237			10	1241	10-1241	サクラ類	3		19	0	0	0	0					19.0								コマツナギ
930	237			10	1242	10-1242	サクラ類	4		21	0	0	0	0					21.0								コマツナギ
931	230	○		11	150	11-150	サクラ類	22											250		24	96					ソメイヨシノ
932	230	○		11	152	11-152	サクラ類	20											273		27	108					ソメイヨシノ
933	217			11	195	11-195	サクラ類	16	3本立	158	152	142						452	452								オオシマザクラ
934	231			11	364	11-364	サクラ類	22											363								イチヨウ
935	240	○		11	390	11-390	サクラ類	18											320		31	124					ソメイヨシノ
936	240	○		11	391	11-391	サクラ類	18											340		33	132					ソメイヨシノ
937	240	○		11	392	11-392	サクラ類	18											310		30	120					ソメイヨシノ
938	240	○		11	393	11-393	サクラ類	18											185		18	72					ソメイヨシノ
939	232	○		11	394	11-394	サクラ類	18											240		23	92					ソメイヨシノ
940	232	○		11	396	11-396	サクラ類	18											245		24	96					ソメイヨシノ
941	232	○		11	397	11-397	サクラ類	18											200		19	76					ソメイヨシノ
942	231	○		11	398	11-398	サクラ類	17	2本立	140	174							314	314		30	120					ソメイヨシノ
943	231	○		11	400	11-400	サクラ類	18											327		32	128					ソメイヨシノ
944	231	○		11	401	11-401	サクラ類	18											224		22	88					ソメイヨシノ
945	231	○		11	407	11-407	サクラ類	11	2本立	95	180							275	275		27	108					ソメイヨシノ
946	219	○		11	408	11-408	サクラ類	10											156		15	60					ソメイヨシノ
947	219	○		11	409	11-409	サクラ類	10											320		31	124					ソメイヨシノ
948	219			11	411	11-411	サクラ類	8											230								オオシマザクラ
949	219	○		11	413	11-413	サクラ類	16											176		17	68					ソメイヨシノ
950	219	○		11	414	11-414	サクラ類	16											300		29	116					ソメイヨシノ
951	219	○		11	415	11-415	サクラ類	10	3本立	200	162	237						599	599		57	228					ソメイヨシノ
952	205	○		11	417	11-417	サクラ類	10											255		25	100					ソメイヨシノ
953	205			11	418	11-418	サクラ類	10											180								イチヨウ
954	205			11	419	11-419	サクラ類	5											155								オオシマザクラ
955	205			11	420	11-420	サクラ類	13											350								オオシマザクラ
956	205			11	421	11-421	サクラ類												125								コヒガン
957	205			11	424	11-424	サクラ類	8											114								コヒガン
958	206			11	429	11-429	サクラ類	15											215								ヤマザクラ
959	189	○		11	444	11-444	サクラ類	14											283		27	108					ソメイヨシノ
960	189			11	445	11-445	サクラ類	20											388								ヤマザクラ
961	189	○		11	446	11-446	サクラ類	9											400		39	156					ソメイヨシノ
962	170			11	468	11-468	サクラ類	13											210								オオシマザクラ
963	170	○		11	477	11-477	サクラ類	18											424		41	164					ソメイヨシノ
964	170	○		11	483	11-483	サクラ類	16											268		26	104					ソメイヨシノ
965	169	○		11	484	11-484	サクラ類	16											198		19	76					ソメイヨシノ
966	169	○		11	504	11-504	サクラ類	11											238		23	92					ソメイヨシノ
967	187	○		11	506	11-506	サクラ類	12											365		35	140					ソメイヨシノ
968	187	○		11	532	11-532	サクラ類	16											382		37	148					ソメイヨシノ
969	187	○		11	538	11-538	サクラ類	17											347		33	132					ソメイヨシノ
970	187	○		11	539	11-539	サクラ類	16											230		22	88					ソメイヨシノ
971	187	○		11	540	11-540	サクラ類	16											270		26	104					ソメイヨシノ
972	187			11	544	11-544	サクラ類	15											225								オオシマザクラ
973	204			11	547	11-547	サクラ類	14											292								ヤマザクラ
974	204			11	549	11-549	サクラ類	9	3本立	136	116	131						383	383								フゲンソウ
975	204			11	554	11-554	サクラ類	16	2本立	170	218							388	388								オオシマザクラ
976	204	○		11	555	11-555	サクラ類	10	2本立	446	210							656	656		63	252					ソメイヨシノ
977	189	○		11	640	11-640	サクラ類	12											306		30	120					ソメイヨシノ
978	189	○		11	641	11-641	サクラ類	14											332		32	128					ソメイヨシノ
979	189	○		11	642	11-642	サクラ類	12											263		25	100					ソメイヨシノ
980	152	○		11	678	11-678	サクラ類	8											338		33	132					ソメイヨシノ
981	152			11	681	11-681	サクラ類	10	2本立	143	153							296	296								オオシマザクラ
982	151			11	682	11-682	サクラ類	8											62								不審(天城宮野×ムシヒザクラ)
983	152			11	683	11-683	サクラ類	13											111								タカトコヒガン
984	152			11	684	11-684	サクラ類	6	3本立	111	57	53						221	221								ヨウコウ
985	152	○		11	696	11-696	サクラ類												420		40	160					ソメイヨシノ
986	219			11	777	11-777	サクラ類	0		0	0	0	0	0				0.0									ウスズミ
987	218			11	778	11-778	サクラ類	5											55								コシオヤマ
988	170			11	799	11-799	サクラ類	5											50								シバヤマ
989	231			11	810	11-810	サクラ類	3		13	0	0	0	0				13.0									イチヨウ
990	199			12	96	12-96	サクラ類	14											315								ヤマザクラ
991	199			12	107	12-107	サクラ類	14	2本立	91	108							199	199								ヤマザクラ
992	199			12	108	12-108	サクラ類	15											186								ヤマザクラ
993	199			12	110	12-110	サクラ類	18											322								ヤマザクラ
994	200			12	111	12-111	サクラ類	18											238								ヤマザクラ

木高(ラフ)	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	注液回数										幹周計	注入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
										100時間1	100時間2	100時間3	100時間4	100時間5	100時間6	100時間7	100時間8	100時間9	100時間10								
995	200			12	112	12-112	サクラ類	18												338							ヤマザクラ
996	200			12	118	12-118	サクラ類	14												178							ヤマザクラ
997	200			12	119	12-119	サクラ類	16												126							ヤマザクラ
998	200			12	120	12-120	サクラ類	17	2本立	130	195									325	325						ヤマザクラ
999	201			12	124	12-124	サクラ類	16												255							ヤマザクラ
1000	215			12	126	12-126	サクラ類													316							ヤマザクラ
1001	215			12	128	12-128	サクラ類	12												113							ヤマザクラ
1002	215			12	130	12-130	サクラ類	12												172							ヤマザクラ
1003	215			12	132	12-132	サクラ類	17												260							ヤマザクラ
1004	215			12	133	12-133	サクラ類	18												226							ヤマザクラ
1005	216			12	137	12-137	サクラ類	16												252							ヤマザクラ
1006	216			12	138	12-138	サクラ類	17												226							ヤマザクラ
1007	216			12	139	12-139	サクラ類	14												253							ヤマザクラ
1008	216			12	142	12-142	サクラ類	15												280							ヤマザクラ
1009	217			12	145	12-145	サクラ類	17												360							ヤマザクラ
1010	168	○		12	611	12-611	サクラ類	18												188	18	72					ソメイヨシノ
1011	168	○		12	612	12-612	サクラ類	18												196	19	76					ソメイヨシノ
1012	150	○		12	613	12-613	サクラ類	18												220	21	84					ソメイヨシノ
1013	149	○		12	687	12-687	サクラ類	15												292	28	112					ソメイヨシノ
1014	149			12	702	12-702	サクラ類	18												268							ヤマザクラ
1015	148	○		12	723	12-723	サクラ類	17												206	20	80					ソメイヨシノ
1016	148			12	793	12-793	サクラ類	8	2本立	138	112									250	250						コマツナギ
1017	148			12	796	12-796	サクラ類	7	3本立	72	76	41								189	189						カンザン
1018	186			12	805	12-805	サクラ類	16												297							オオシマザクラ
1019	165			12	813	12-813	サクラ類	6												97							ハイゴジージュズカケザクラ
1020	147			12	815	12-815	サクラ類	10	3本立	124	56	100								280	280						カンザン
1021	203			12	819	12-819	サクラ類	15												215							イチヨウ
1022	203			12	820	12-820	サクラ類	15												156							カンザン
1023	203			12	821	12-821	サクラ類	20												152							イチヨウ
1024	203			12	824	12-824	サクラ類	16												104							イチヨウ
1025	203			12	825	12-825	サクラ類	16												170							イチヨウ
1026	203			12	827	12-827	サクラ類	17												176							イチヨウ
1027	203			12	828	12-828	サクラ類	17												174							シラユキ
1028	203			12	829	12-829	サクラ類	17												137							イチヨウ
1029	203			12	833	12-833	サクラ類	18												200							イチヨウ
1030	203			12	834	12-834	サクラ類	18	2本立	149	167									316	316						オオシマザクラ
1031	203			12	835	12-835	サクラ類	18	2本立	120	130									250	250						ベンドノ
1032	203			12	835	12-835	サクラ類	18		119	123	0	0	0						169.4							ベンドノ
1033	203			12	851	12-851	サクラ類	18												175							イチヨウ
1034	203			12	854	12-854	サクラ類	14	2本立	72	100									172	185						オオシマザクラ
1035	217			12	878	12-878	サクラ類	18	3本立	152	200	126								478	478						オオシマザクラ
1036	216			12	887	12-887	サクラ類	17												204							ミギワザクラ
1037	216			12	892	12-892	サクラ類	15												167							ヒヨシザクラ
1038	216			12	895	12-895	サクラ類	16	3本立	70	104	72								246	246						コシオヤマ
1039	202			12	903	12-903	サクラ類	15	3本立	67	99	90								256	256						カンザン
1040	202			12	905	12-905	サクラ類	18												205							イチヨウ
1041	202			12	907	12-907	サクラ類	17												210							オオシマザクラ
1042	202			12	916	12-916	サクラ類	16												162							イチヨウ
1043	202			12	917	12-917	サクラ類	16	2本立	97	136									233	233						イチヨウ
1044	202			12	918	12-918	サクラ類	16												152							イチヨウ
1045	202			12	919	12-919	サクラ類	16												186							イチヨウ
1046	202			12	920	12-920	サクラ類	15												153							イチヨウ
1047	202			12	924	12-924	サクラ類	17												200							イチヨウ
1048	202			12	927	12-927	サクラ類	17												195							イチヨウ
1049	202			12	928	12-928	サクラ類	13												120							イチヨウ
1050	202			12	935	12-935	サクラ類	13												115							カンザン
1051	215	○		12	981	12-981	サクラ類	17												270	26	104					ソメイヨシノ
1052	215			12	988	12-988	サクラ類	12												137							オオシマザクラ
1053	201			12	1038	12-1038	サクラ類	15												159							イチヨウ
1054	201			12	1040	12-1040	サクラ類	13												230							イチヨウ
1055	201			12	1043	12-1043	サクラ類	13	2本立	101	104									205	205						イチヨウ
1056	200	○		12	1050	12-1050	サクラ類	19												290	28	112					ソメイヨシノ
1057	148	○		12	1182	12-1182	サクラ類	12												164	16	64					ソメイヨシノ
1058	148	○		12	1193	12-1193	サクラ類	14												253	24	96					ソメイヨシノ
1059	167			12	1249	12-1249	サクラ類	14												176							イチヨウ
1060	167			12	1250	12-1250	サクラ類	14												170							イチヨウ
1061	147			12	1265	12-1265	サクラ類	10	2本立	85	104									189	189						ヤエベニシダレ
1062	148			12	1272	12-1272	サクラ類	8												112							ヤマザクラ

本数カウント	BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	R7幹周1	R7幹周2	R7幹周3	R7幹周4	R7幹周5	R7幹周6	幹周計	注入量	孔数	(初)薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
1063	149	○		12	1278	12-1278	サクラ類	16									318	31	124				ソメイヨシノ
1064	164			12	1385	12-1385	サクラ類	8									99						タゲイアラシ
1065	164			12	1387	12-1387	サクラ類	5	3本立	20	26	21				67	67						ゴショザクラ
1066	217			12	1389	12-1389	サクラ類	0		0	0	0	0	0		12.0							ミギワザクラ
1067	217			12	1390	12-1390	サクラ類	0		0	0	0	0	0		21.0							ミギワザクラ
1068	164			12	1405	12-1405	サクラ類	5									50						ハイゴジジュズカゲザクラ
1069	165			12	1407	12-1407	サクラ類	5									60						タゲイアラシ
1070	220	○		10	1152	10-1152	モモ	4		43	0	0	0	0			47	5	20				モモ
1071	220	○		10	1153	10-1153	モモ	6		38	0	0	0	0			46	4	16				モモ
1072	220	○		10	1154	10-1154	モモ	6		51	0	0	0	0			70	7	28				モモ
1073	220	○		10	1156	10-1156	モモ	5		46	30	0	0	0			65	6	24				モモ
1074	220	○		10	1157	10-1157	モモ	6		62	36	0	0	0			80	8	32				モモ
1075	220	○		10	1158	10-1158	モモ	3		36	45	0	0	0			67	7	28				モモ
1076	220	○		10	1161	10-1161	モモ	5		63	0	0	0	0			83	8	32				モモ
																			8,982	35,900			
																			8,982	35,900			

○ 調査対象
本数

1076

○ 施工予定本数
R7全体施工本数

316

316

R7
施工孔数

8,982

R7
予定薬量

35,900

【当初】	
調査対象本数	1076 本
薬剤施工本数	316 本
施工孔数	8,982 孔
施工薬量	35,900 mℓ

800
802
811
815
822
829
831
835
877
881
882
906
921
958
979
980
988
1005
1009
22
24
61
232
235
315
499
551
705
737

BL	施工	図面	区域	番号	linkid	樹種名	樹高	形状	(初)幹元周	(変)幹元周	(初)胸高周	(変)胸高周	10幹周1	10幹周2	10幹周3	10幹周4	10幹周5	10幹周6	幹周計	注入周	(初)孔数	(変)孔数	孔数	(初)薬量	(変)薬量	薬量	施工日	調査日1	調査日2	品種名
89			2	682	2-682	ウメ	6																					8/28		
89			2	689	2-689	ウメ	5																					8/28		
89			2	704	2-704	ウメ	6																					8/28		
73			2	1877	2-1877	ウメ	2																					8/28		
20			4	107	4-107	ウメ	4																					8/28		
21			4	201	4-201	ウメ	5																					8/28		
19			4	487	4-487	ウメ	5																					8/28		
34			4	733	4-733	ウメ	4																					8/28		
66			4	1068	4-1068	ウメ	5																					8/28		
66			4	1073	4-1073	ウメ	2.5																					8/28		
66			4	1074	4-1074	ウメ	6																					8/28		
21			4	1733	4-1733	ウメ	3.5																					8/28		
112			7	264	7-264	ウメ	3.4																					8/28		
112			7	312	7-312	ウメ	5																					8/28		
98			7	812	7-812	ウメ	5																					8/28		
98			7	813	7-813	ウメ	5																					8/28		
112			7	1758	7-1758	ウメ	2.8																					8/28		
235			10	1138	10-1138	ウメ	3																					8/28		
234			10	1223	10-1223	ウメ	4																					8/28		
57	⊖		2	764	2-764	サクラ類	14	3本立		404		239	238	182	231				651	651	63			252			6/13		ソメイヨシノ	
123	⊖		2	1035	2-1035	サクラ類	12			243		222								243	24		24	96			6/13		ソメイヨシノ	
87			3	21	3-21	サクラ類	7			236		227								236			23			92		6/13		イチヨウ
47			5	545	5-545	サクラ類	8			114		81															6/14		カンザン	
61			5	661	5-661	サクラ類	8			98		62								98			10			40		6/14		フゲンゾウ
98	⊖		7	696	7-696	サクラ類	11			178		178									17			68			6/14		ソメイヨシノ	
222			10	131	10-131	サクラ類	4	2本立		100		68	72	59					131	131							6/30		カンザン	
232			10	292	10-292	サクラ類	9			130		125									130						6/30		ウコン	
218			11	598	11-598	サクラ類	10	2本立		220		153	138	160					298	298							6/30		カンザン	
203			12	164	12-164	サクラ類	16			185		207								185							6/30		カンザン	

○

調査対象
本数

●

1012

○

施工予定本
数

●

204

○

今回
施工本数

●

202

○

前回
施工孔数

●

5,794

○

施工孔
数

●

5,745

○

予定薬
量

●

#####

○

今回
施工薬
量

●

#####

【当初】	
施工本数	204 本
施工孔数	5,794 孔
施工薬量	23,176 mℓ

【第 1 回変更】	
施工本数	202 本
施工孔数	5,745 孔
施工薬量	22,944 mℓ

【第 2 回変更】	
施工本数	追加調査のみのため樹幹注
施工孔数	入本数、薬剤量に変更なし
施工薬量	

注入部幹周	穴数	薬量
0 ”	”	”
19	2	8
31	3	12
41	4	16
47	5	20
57	6	24
66	7	28
75	8	32
88	9	36
97	10	40
107	11	44
116	12	48
129	13	52
138	14	56
148	15	60
160	16	64
170	17	68
179	18	72
192	19	76
201	20	80
210	21	84
223	22	88
232	23	92
242	24	96
254	25	100
264	26	104
273	27	108
286	28	112
295	29	116
305	30	120
317	31	124
327	32	128
336	33	132
349	34	136
358	35	140
367	36	144
380	37	148
389	38	152

399	39	156
411	40	160
421	41	164
430	42	168
443	43	172
452	44	176
462	45	180
474	46	184
484	47	188
493	48	192
506	49	196
515	50	200
524	51	204
537	52	208
546	53	212
556	54	216
568	55	220
578	56	224
587	57	228
600	58	232
609	59	236
619	60	240
631	61	244
641	62	248
650	63	252
663	64	256
672	65	260
681	66	264
694	67	268
703	68	272
713	69	276

注入周	注入直	薬量	穴	実穴	実薬
19	6	7.2	1.8	2	8
22	7	8.4	2.1	2	8
25	8	9.6	2.4	2	8
28	9	10.8	2.7	2	8
31	10	12	3	3	12
35	11	13.2	3.3	3	12
38	12	14.4	3.6	3	12
41	13	15.6	3.9	4	16
44	14	16.8	4.2	4	16
47	15	18	4.5	5	20
50	16	19.2	4.8	5	20
53	17	20.4	5.1	5	20
57	18	21.6	5.4	6	24
60	19	22.8	5.7	6	24
63	20	24	6	6	24
66	21	25.2	6.3	7	28
69	22	26.4	6.6	7	28
72	23	27.6	6.9	7	28
75	24	28.8	7.2	8	32
79	25	30	7.5	8	32
82	26	31.2	7.8	8	32
85	27	32.4	8.1	8	32
88	28	33.6	8.4	9	36
91	29	34.8	8.7	9	36
94	30	36	9	9	36
97	31	37.2	9.3	10	40
100	32	38.4	9.6	10	40
104	33	39.6	9.9	10	40
107	34	40.8	10.2	11	44
110	35	42	10.5	11	44
113	36	43.2	10.8	11	44
116	37	44.4	11.1	12	48
119	38	45.6	11.4	12	48
122	39	46.8	11.7	12	48
126	40	48	12	12	48
129	41	49.2	12.3	13	52
132	42	50.4	12.6	13	52
135	43	51.6	12.9	13	52

138	44	52.8	13.2	14	56
141	45	54	13.5	14	56
144	46	55.2	13.8	14	56
148	47	56.4	14.1	15	60
151	48	57.6	14.4	15	60
154	49	58.8	14.7	15	60
157	50	60	15	15	60
160	51	61.2	15.3	16	64
163	52	62.4	15.6	16	64
166	53	63.6	15.9	16	64
170	54	64.8	16.2	17	68
173	55	66	16.5	17	68
176	56	67.2	16.8	17	68
179	57	68.4	17.1	18	72
182	58	69.6	17.4	18	72
185	59	70.8	17.7	18	72
188	60	72	18	18	72
192	61	73.2	18.3	19	76
195	62	74.4	18.6	19	76
198	63	75.6	18.9	19	76
201	64	76.8	19.2	20	80
204	65	78	19.5	20	80
207	66	79.2	19.8	20	80
210	67	80.4	20.1	21	84
214	68	81.6	20.4	21	84
217	69	82.8	20.7	21	84
220	70	84	21	21	84
223	71	85.2	21.3	22	88
226	72	86.4	21.6	22	88
229	73	87.6	21.9	22	88
232	74	88.8	22.2	23	92
236	75	90	22.5	23	92
239	76	91.2	22.8	23	92
242	77	92.4	23.1	24	96
245	78	93.6	23.4	24	96
248	79	94.8	23.7	24	96
251	80	96	24	24	96
254	81	97.2	24.3	25	100
257	82	98.4	24.6	25	100

261	83	99.6	24.9	25	100
264	84	100.8	25.2	26	104
267	85	102	25.5	26	104
270	86	103.2	25.8	26	104
273	87	104.4	26.1	27	108
276	88	105.6	26.4	27	108
279	89	106.8	26.7	27	108
283	90	108	27	27	108
286	91	109.2	27.3	28	112
289	92	110.4	27.6	28	112
292	93	111.6	27.9	28	112
295	94	112.8	28.2	29	116
298	95	114	28.5	29	116
301	96	115.2	28.8	29	116
305	97	116.4	29.1	30	120
308	98	117.6	29.4	30	120
311	99	118.8	29.7	30	120
314	100	120	30	30	120
317	101	121.2	30.3	31	124
320	102	122.4	30.6	31	124
323	103	123.6	30.9	31	124
327	104	124.8	31.2	32	128
330	105	126	31.5	32	128
333	106	127.2	31.8	32	128
336	107	128.4	32.1	33	132
339	108	129.6	32.4	33	132
342	109	130.8	32.7	33	132
345	110	132	33	33	132
349	111	133.2	33.3	34	136
352	112	134.4	33.6	34	136
355	113	135.6	33.9	34	136
358	114	136.8	34.2	35	140
361	115	138	34.5	35	140
364	116	139.2	34.8	35	140
367	117	140.4	35.1	36	144
371	118	141.6	35.4	36	144
374	119	142.8	35.7	36	144
377	120	144	36	36	144
380	121	145.2	36.3	37	148

383	122	146.4	36.6	37	148
386	123	147.6	36.9	37	148
389	124	148.8	37.2	38	152
393	125	150	37.5	38	152
396	126	151.2	37.8	38	152
399	127	152.4	38.1	39	156
402	128	153.6	38.4	39	156
405	129	154.8	38.7	39	156
408	130	156	39	39	156
411	131	157.2	39.3	40	160
414	132	158.4	39.6	40	160
418	133	159.6	39.9	40	160
421	134	160.8	40.2	41	164
424	135	162	40.5	41	164
427	136	163.2	40.8	41	164
430	137	164.4	41.1	42	168
433	138	165.6	41.4	42	168
436	139	166.8	41.7	42	168
440	140	168	42	42	168
443	141	169.2	42.3	43	172
446	142	170.4	42.6	43	172
449	143	171.6	42.9	43	172
452	144	172.8	43.2	44	176
455	145	174	43.5	44	176
458	146	175.2	43.8	44	176
462	147	176.4	44.1	45	180
465	148	177.6	44.4	45	180
468	149	178.8	44.7	45	180
471	150	180	45	45	180
474	151	181.2	45.3	46	184
477	152	182.4	45.6	46	184
480	153	183.6	45.9	46	184
484	154	184.8	46.2	47	188
487	155	186	46.5	47	188
490	156	187.2	46.8	47	188
493	157	188.4	47.1	48	192
496	158	189.6	47.4	48	192
499	159	190.8	47.7	48	192
502	160	192	48	48	192

506	161	193.2	48.3	49	196
509	162	194.4	48.6	49	196
512	163	195.6	48.9	49	196
515	164	196.8	49.2	50	200
518	165	198	49.5	50	200
521	166	199.2	49.8	50	200
524	167	200.4	50.1	51	204
528	168	201.6	50.4	51	204
531	169	202.8	50.7	51	204
534	170	204	51	51	204
537	171	205.2	51.3	52	208
540	172	206.4	51.6	52	208
543	173	207.6	51.9	52	208
546	174	208.8	52.2	53	212
550	175	210	52.5	53	212
553	176	211.2	52.8	53	212
556	177	212.4	53.1	54	216
559	178	213.6	53.4	54	216
562	179	214.8	53.7	54	216
565	180	216	54	54	216
568	181	217.2	54.3	55	220
571	182	218.4	54.6	55	220
575	183	219.6	54.9	55	220
578	184	220.8	55.2	56	224
581	185	222	55.5	56	224
584	186	223.2	55.8	56	224
587	187	224.4	56.1	57	228
590	188	225.6	56.4	57	228
593	189	226.8	56.7	57	228
597	190	228	57	57	228
600	191	229.2	57.3	58	232
603	192	230.4	57.6	58	232
606	193	231.6	57.9	58	232
609	194	232.8	58.2	59	236
612	195	234	58.5	59	236
615	196	235.2	58.8	59	236
619	197	236.4	59.1	60	240
622	198	237.6	59.4	60	240
625	199	238.8	59.7	60	240

628	200	240	60	60	240
631	201	241.2	60.3	61	244
634	202	242.4	60.6	61	244
637	203	243.6	60.9	61	244
641	204	244.8	61.2	62	248
644	205	246	61.5	62	248
647	206	247.2	61.8	62	248
650	207	248.4	62.1	63	252
653	208	249.6	62.4	63	252
656	209	250.8	62.7	63	252
659	210	252	63	63	252
663	211	253.2	63.3	64	256
666	212	254.4	63.6	64	256
669	213	255.6	63.9	64	256
672	214	256.8	64.2	65	260
675	215	258	64.5	65	260
678	216	259.2	64.8	65	260
681	217	260.4	65.1	66	264
685	218	261.6	65.4	66	264
688	219	262.8	65.7	66	264
691	220	264	66	66	264
694	221	265.2	66.3	67	268
697	222	266.4	66.6	67	268
700	223	267.6	66.9	67	268
703	224	268.8	67.2	68	272
707	225	270	67.5	68	272
710	226	271.2	67.8	68	272
713	227	272.4	68.1	69	276
716	228	273.6	68.4	69	276
719	229	274.8	68.7	69	276
722	230	276	69	69	276



1

2

3

(別紙3)

対象樹木参考図

(参考図) 令和6年度クビアカツヤカミキリ防除樹幹注入業務における対象樹木位置図(793本)

凡例

- 樹幹注入施工および調査対象木
- 調査対象木

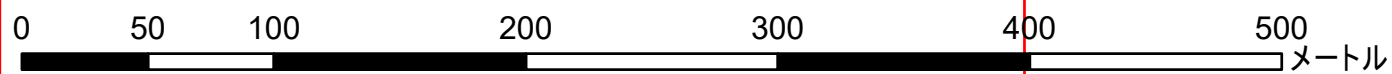
4

5

6

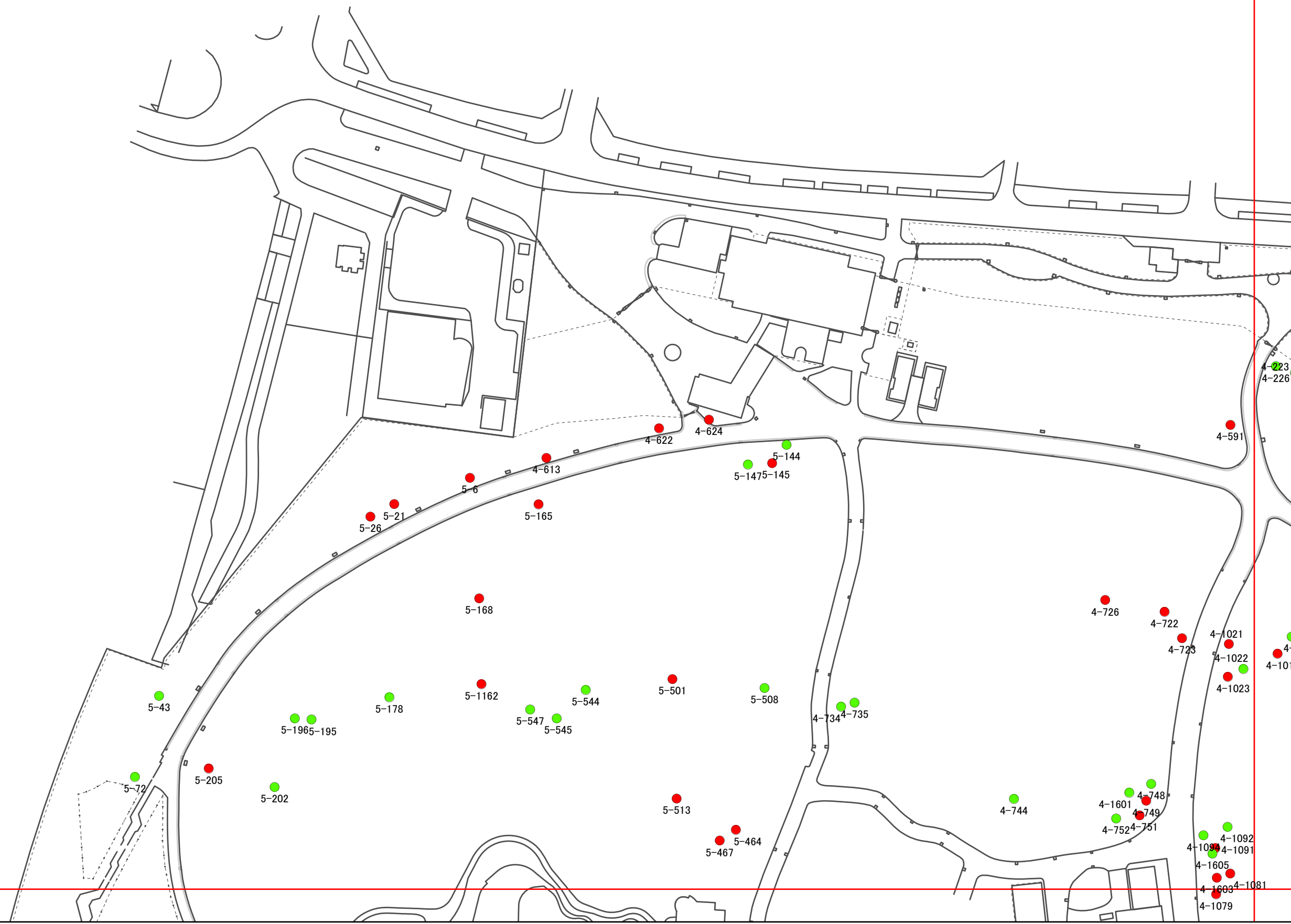
7

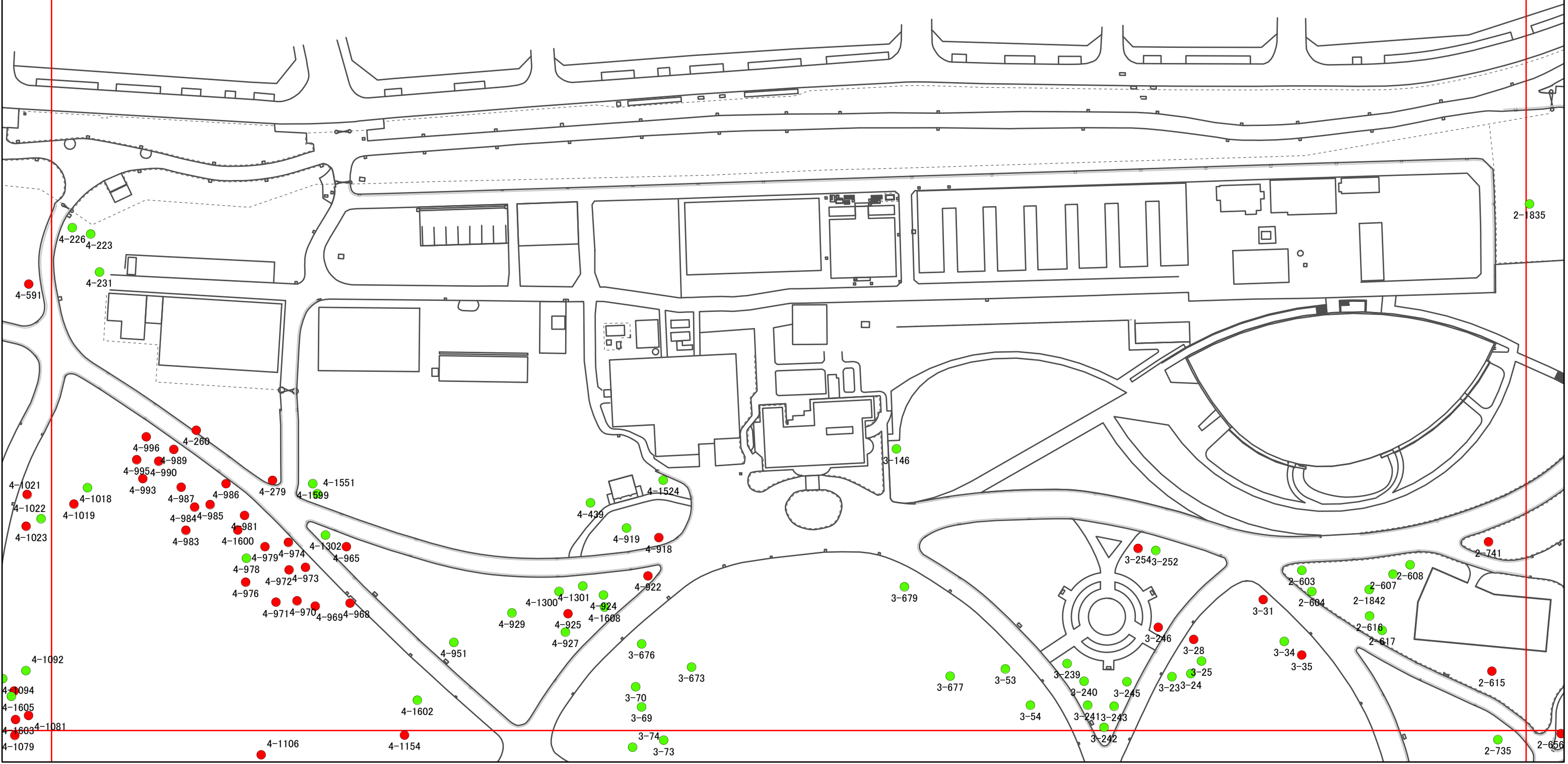
9

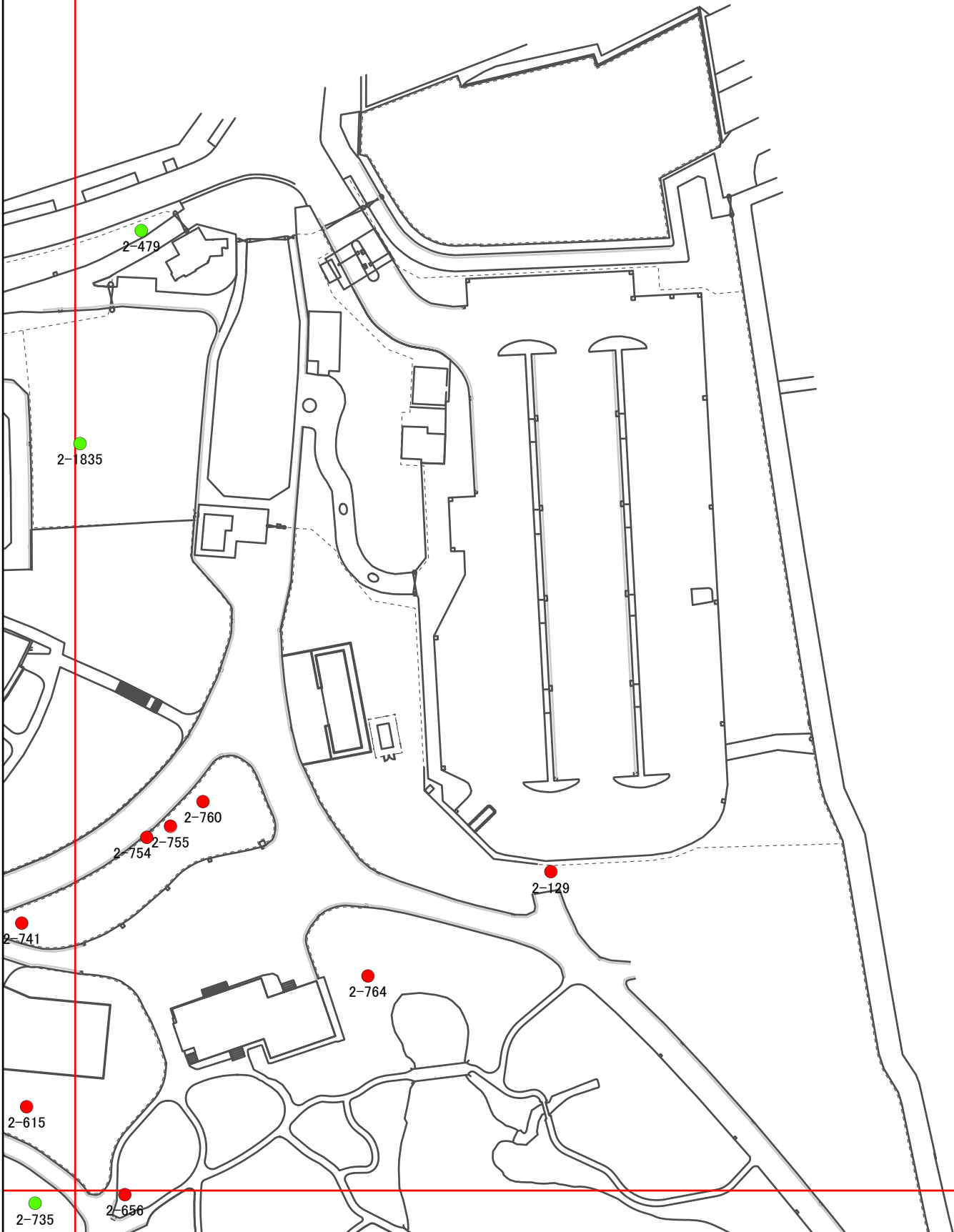


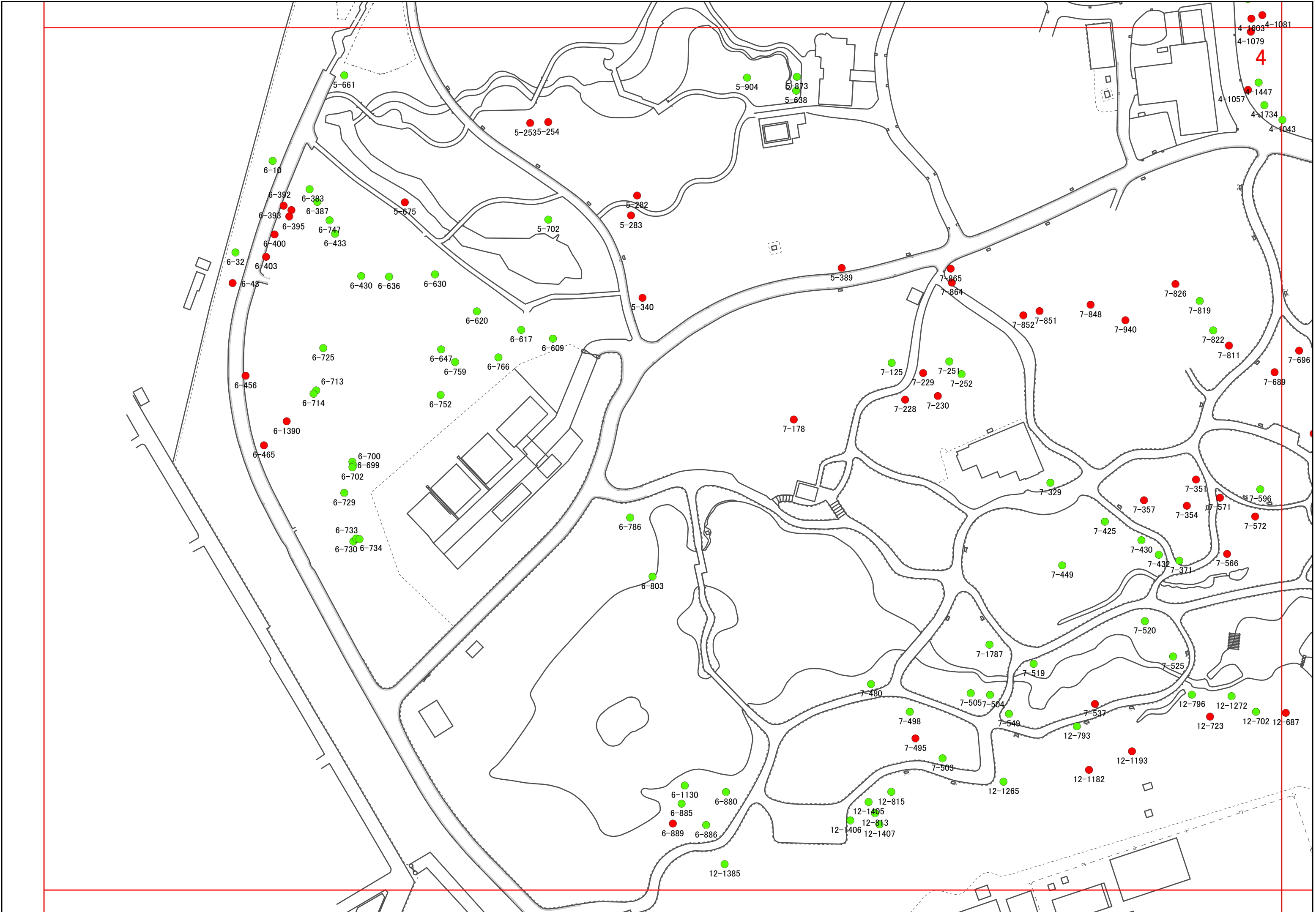
8

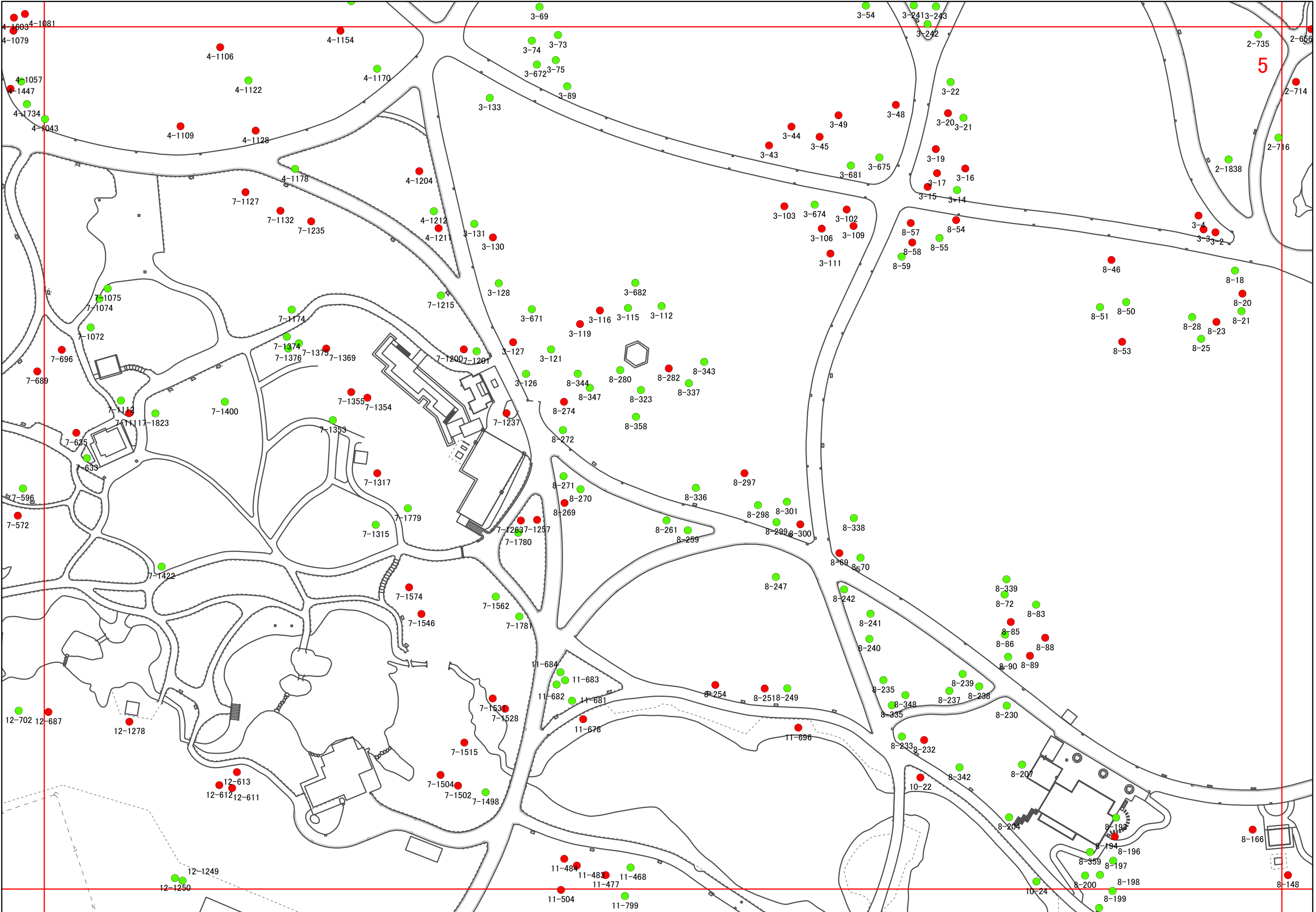
件 名	令和7年度新宿御苑 クビアカツヤカミキリ防除樹幹注入業務
新宿御苑管理事務所	

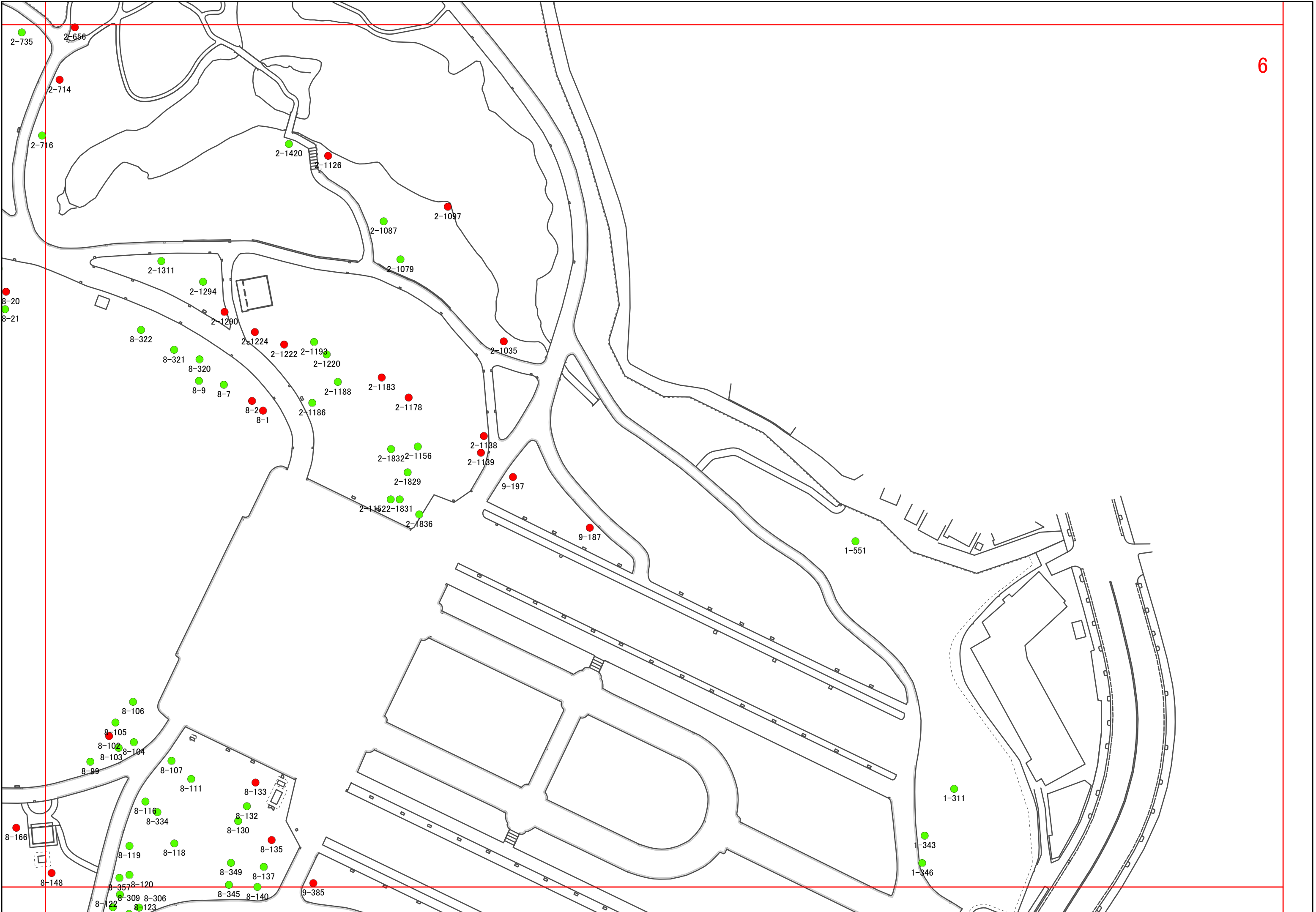


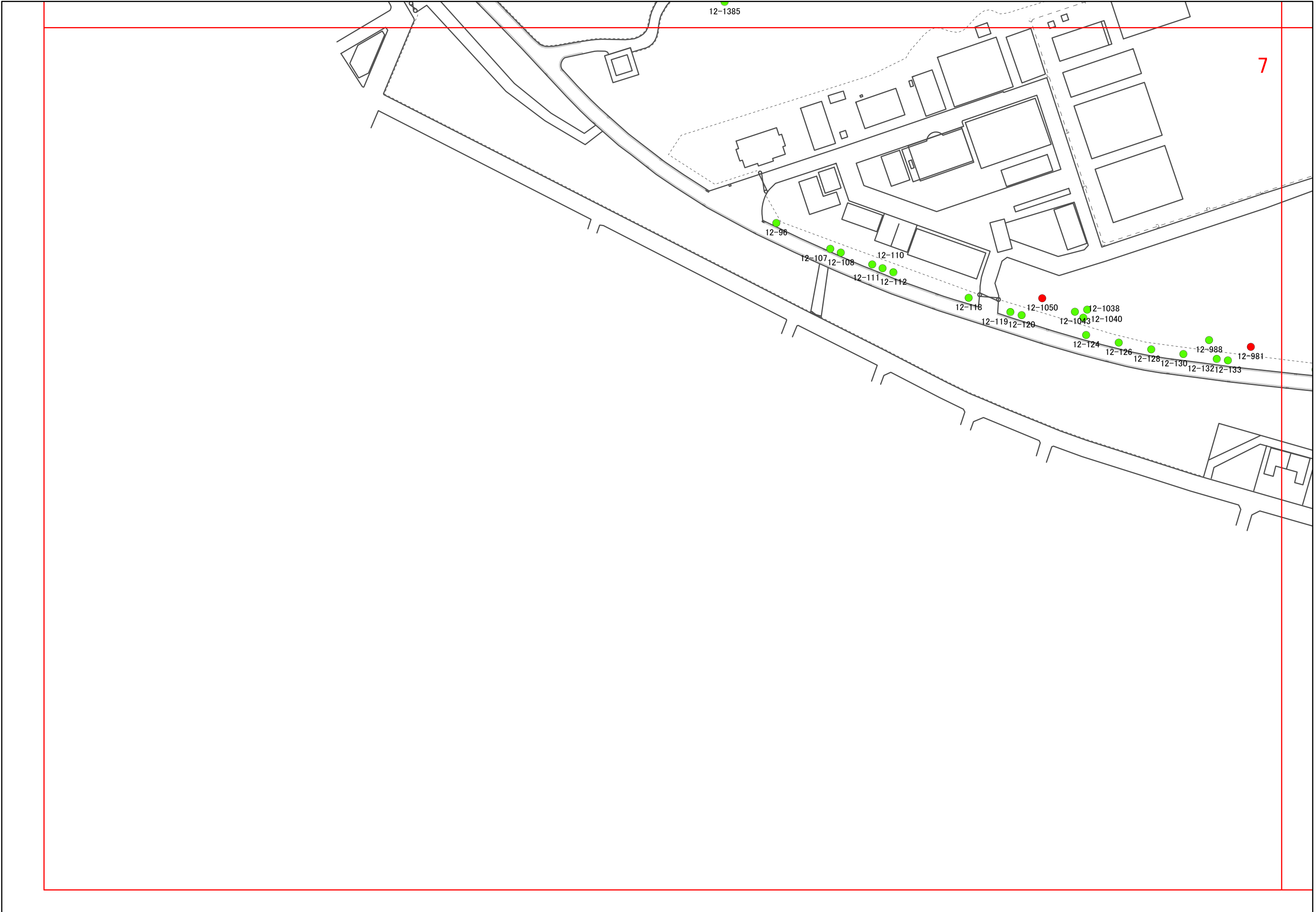


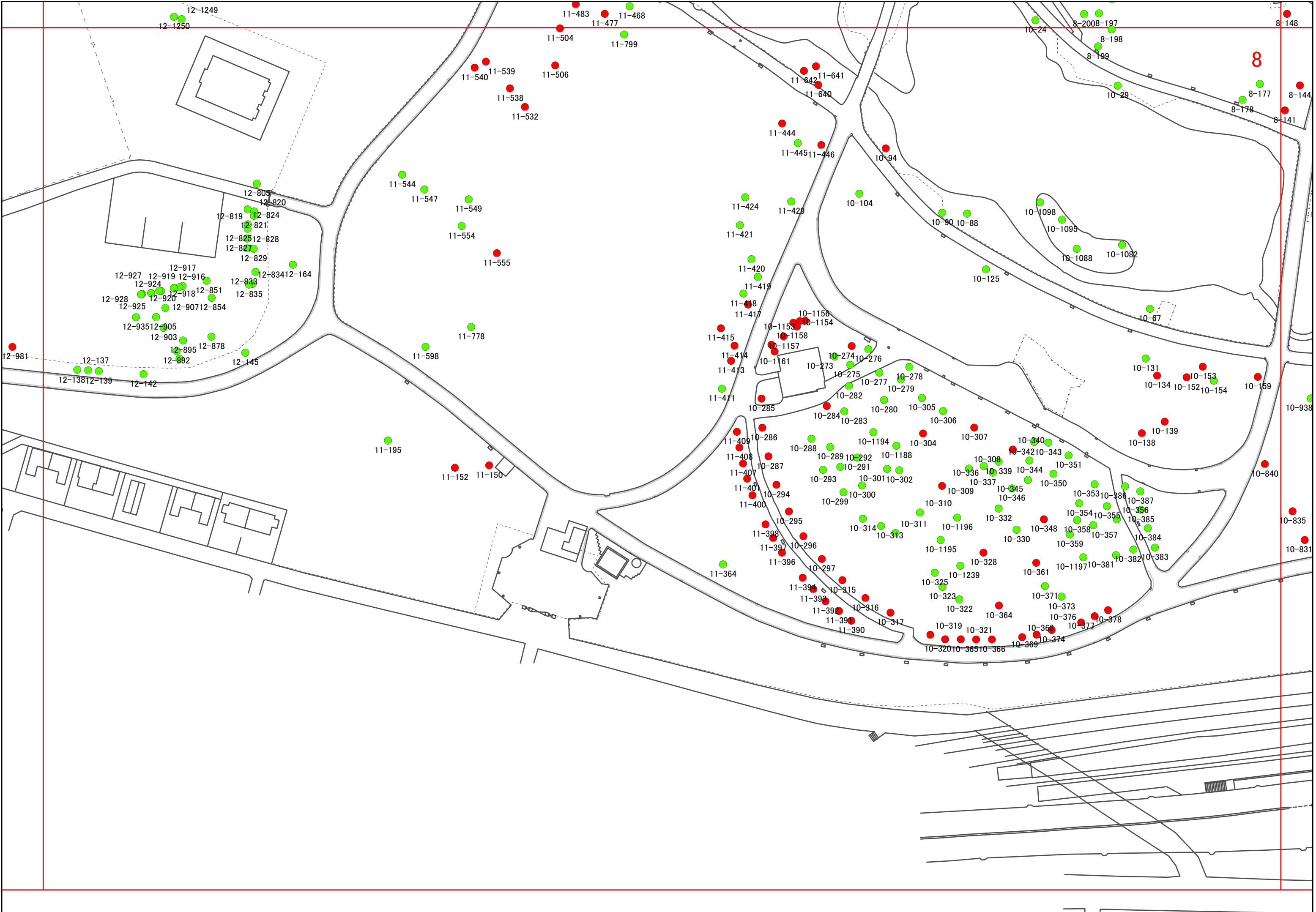


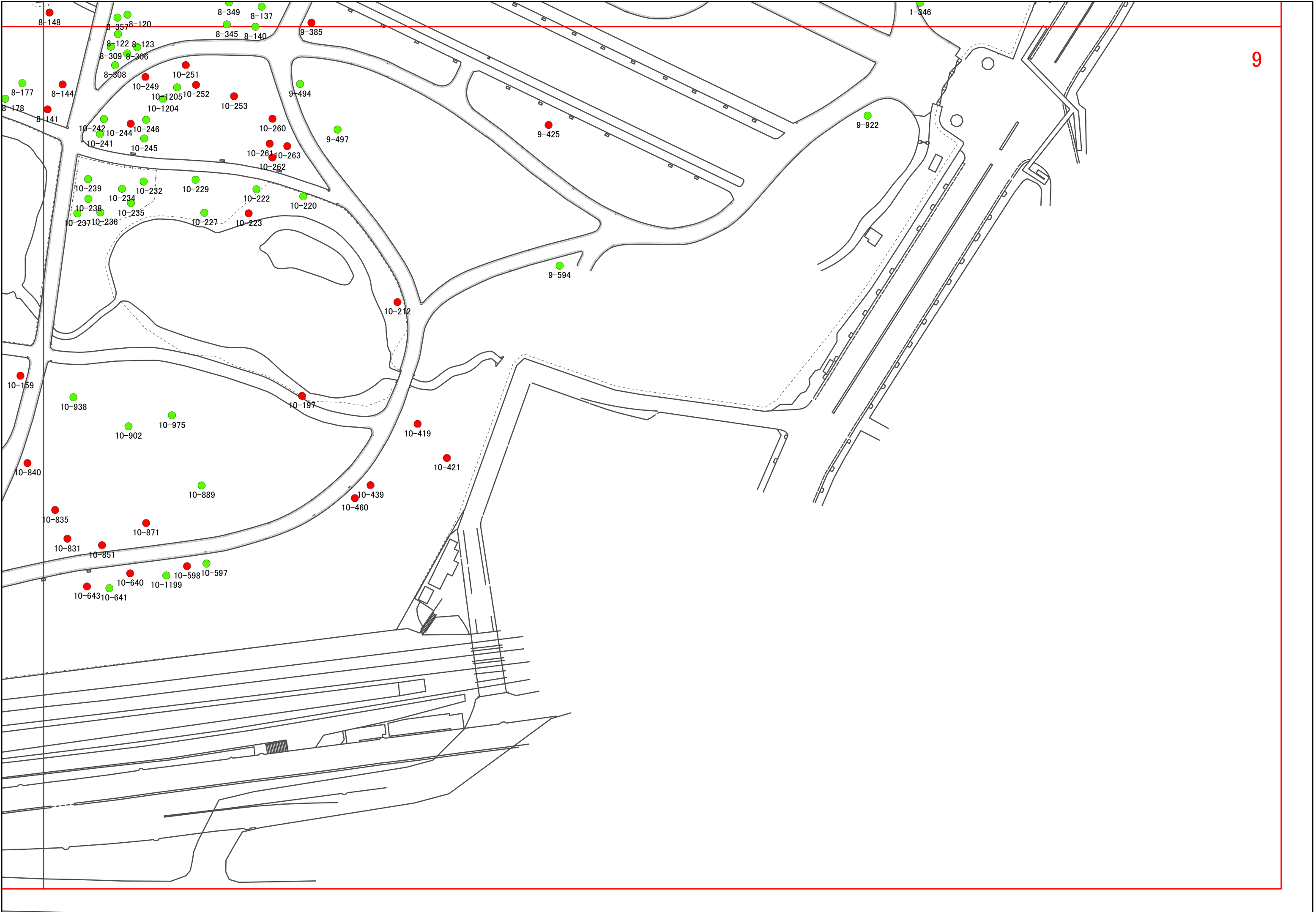












新宿御苑作業要領

環境省新宿御苑管理事務所
令和4年11月更新

(目的)

第1条 新宿御苑における工事、業務、調査等の作業について、来園者及び作業員の安全を確保し、且つ、新宿御苑管理事務所（以下「管理事務所」という。）が適切に作業を管理するため本要領を定める。

(対象範囲)

第2条 本要領は、新宿御苑にて作業を行う工事請負者、業務請負者、調査者等（以下「請負者等」）を対象とする。

(作業内容の事前報告)

第3条 請負者等の責任者は予め、作業内容、作業場所、従事する作業員等の人数を管理事務所の担当官に報告するものとする。

(作業員等の義務)

第4条 請負者等に従事する作業員等は、次の事項を厳守するものとする。

1. 園内に入る際は管理事務所の受付にて入園時間、請負者等の名称、連絡先、作業人数等必要事項を記帳すること。また、退園の際には退園時間を記帳すること。
2. 園内では定められた腕章を常時つけること。
3. 休憩時間中は管理事務所が指定する場所を使用すること。
4. 喫煙場所は管理事務所が指定する場所を使用し、携帯灰皿もしくは請負者等の責任者が設置する灰皿のみ使用可能とする。灰皿を設置した場合は、管理事務所にその旨報告するとともに、灰皿の清掃管理、火元管理を厳格に行い、喫煙者にもその旨徹底すること。
5. 来園者に不快感を与えるような服装及び、妄りな行為は慎むこと。
6. 来園者及び周辺住民とのトラブルは起こしてはならない。
万一トラブルが生じた場合は、直ちに管理事務所に報告すること。
7. 作業員等の入退園は、原則として管理門を使用するものとする。

(建設機械・器具及び車両)

第5条 請負者等は園内で使用する建設機械・器具及び車両（以下「車両等」という。）の種類、型式、運転手等の一覧表を作成し、管理事務所の承認を得るものとする。

(通行証)

第6条 第5条の車両等には、管理事務所が貸与又は指示する様式の苑内走行許可証を常時掲出するものとする。

1. 苑内走行許可証は、車両等の外部から一目で確認できる箇所に明示すること。
2. 苑内走行許可証は、他の車両に転用してはならない。
やむを得ず車両等を変更する場合は、その都度管理事務所の承諾を得ること。
3. 貸与された苑内走行許可証は、工事等完了後速やかに管理事務所に返却すること。また、管理事務所の指示により作成した苑内走行許可証については、作業等完了後速やかに処分するものとする。

(車両等の義務)

第7条 車両等を使用する園内作業に当たっては、次の事項を厳守するものとする。

1. 車両等は、原則として低振動、低騒音型を使用するものとする。
2. 機械による掘削は、事前に管理事務所職員の立会いの上で地下埋設物の有無を確認してから行うものとする。

3. 車両等の園内走行は、定められた経路にて、ハザードランプを点灯の上、最徐行（時速 15km 以下）を行い、来園者の安全確保には十分留意するものとする。
4. 車両等の走行に当たっては、緊急且つ、やむを得ない場合を除き警笛（クラクション）は使用しないものとする。
5. 車両等は、園路以外の場所に進入してはならない。
やむを得ず進入する必要がある場合は、管理事務所の指示を得るものとする。
6. 車両等の駐車は、指定された場所以外では行わないこと。
やむを得ない場合は、その都度管理事務所の指示を得るものとする。
7. 車両等の入退園は、原則として管理門若しくは作業等のために定められた門を使用するものとする。

（作業時間）

第 8 条 作業時間は原則として午前 8 時 30 分から午後 5 時までとし、この時間外の作業を行う場合は事前に管理事務所の許可を受けその指示に従うものとする。

（休日等の作業）

第 9 条 土日祝日は原則として作業は行わないものとする。やむを得ず行う場合は、来園者及び周辺住民等の支障のない範囲で、騒音、振動、塵埃等少ないものとする。

（現場管理）

第 10 条 作業等に当たっては、次の事項を厳守するものとする。

1. 請負者等は作業等着手に先立ち、管理事務所と協議の上で入退園の方法を決定し、必要に応じ警備員を配置するものとする。
2. 作業現場は原則として、保安柵又はシート等で囲みその中で作業を行うこととする。
3. 請負者等は作業等に伴う現場に来園者等の関係ない者が立ち入らぬよう注意看板を設置する等の必要な措置を行うものとする。
4. 請負者等は、工事に伴い園路の迂回等が必要な場合は、その都度管理事務所と協議の上、迂回指導板を設置するものとする。
5. 作業用資材置場は管理事務所の指定する場所を使用し、必ずシート等で覆うなどして、盗難にあわぬよう注意するものとする。
6. 作業現場及びその付近は、常に整理整頓を行うものとする。

（安全管理）

第 11 条 請負者等の責任者は、作業現場の安全対策に万全を期するものとし、次の事項を厳守するものとする。

1. 作業現場において万一事故が発生した場合は、速やかに管理事務所に報告するものとする。
2. 危険物の取扱いは必ず危険物取扱責任者が行うものとする。
3. 作業現場における火器の使用は、作業目的に直接使用する場合に限るものとし、目的以外のために使用する場合は、事前に管理事務所の許可を受けその指示に従うものとする。

（その他）

第 12 条 請負者等の責任者は、管理事務所との連絡を密にし、現場の円滑な運営に努めるものとする。

第 13 条 請負者等は上記の事項について、作業等に従事する作業員全員に周知徹底させるものとする。

殺虫剤／樹幹注入剤

農林水産省登録
第23624号

ウッドスター[®]

有効成分：ジノテフラン 8.0%

さくらのクビアカツヤカミキリに
適用拡大!

少量注入で
クビアカツヤカミキリ幼虫に
安定した駆除効果を示す

クビアカツヤカミキリ(成虫)

排出されたフラス

適用拡大の内容 (2019年5月15日登録)

ウッドスター[®]はサンケイ化学株式の登録商標です。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
さくら	クビアカツヤカミキリ	注入部直径 6cm～10cm:8～12mℓ 10cm～20cm:12～24mℓ 20cm～30cm:24～36mℓ 30cm～40cm:36～48mℓ 40cm～50cm:48～60mℓ 50cm～60cm:60～72mℓ 以降、直径が10cm増す毎に12mℓを追加する	新葉展開後 ～落葉前まで	3回 以内	樹幹 注入	5回以内

* ウッドスターの全登録内容については、FAMIC (農林水産消費安全技術センター) の農薬登録情報提供システムのウェブサイトを参照ください。

性状：淡黄色澄明水溶性液体

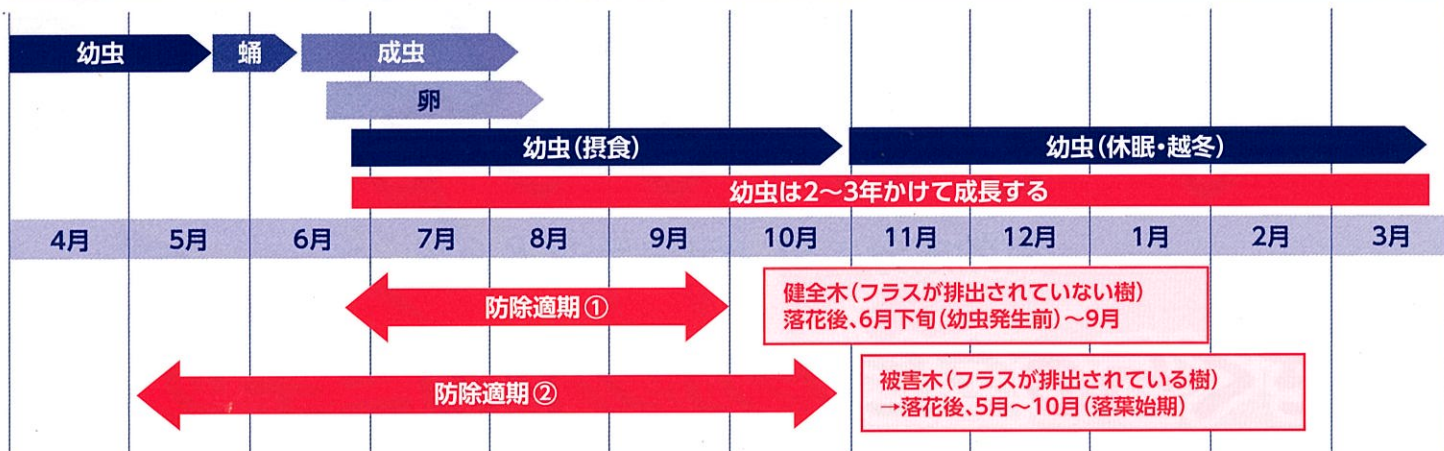
人畜毒性：普通物(毒物にも劇物にも該当しないものを指している通称)

規格：450mℓ×2本

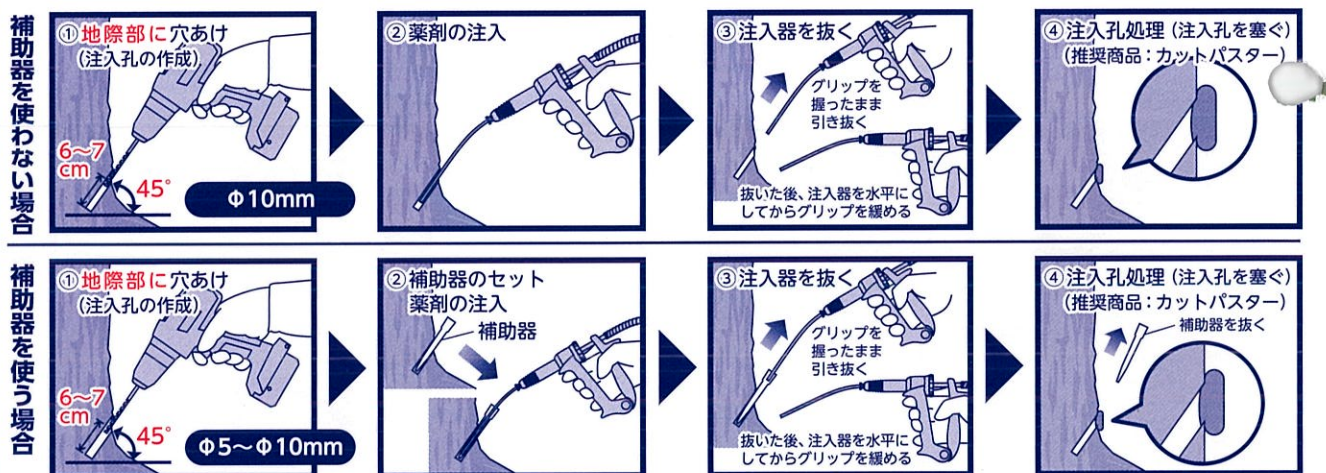
ウッドスターの使い方

クビアカツヤカミキリ防除用

クビアカツヤカミキリの生態と防除適期(参考)



ウッドスターの使用方法



クビアカツヤカミキリを対象に使用する際の注意事項

- 薬剤の注入部位は地際部を標準とすること。
- 被害木(フラスが排出されている樹)は薬剤が分散しにくい場合があるので、クビアカツヤカミキリの食入孔をさけて注入すること。
- 樹体内中の幼虫の完全駆除には、複数年の連続処理が効果的である。
- 他剤との混用は避けること。
- 注入部直径が適用表に記載のない小径木や樹勢の弱った木、空洞や腐朽がある木、極端な老齢木には使用を避けること。
- 対象木が二股以上に分かれている場合は薬剤が問題なく分散するようにそれぞれ1本の木とみなして所定量を注入すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 開花期はミツバチなどに影響を及ぼすおそれがあるので、落花終了後に使用すること。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関への農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬剤が付着すると変色するおそれがあるので、こぼさないように注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は林業関係機関、林業技術者等の指導を受けること。
- 新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお林業関係機関、林業技術者等の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
 - 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく涼涼で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。
- ※その他、製品ラベルに記載されている注意事項を守って使用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所に置かないでください。

本印刷物は2019年5月15日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

NIK-WS(クビアカ)2019.5S

【製造・販売】



サンケイ化学株式会社

本社 鹿児島市南栄二丁目9番地 ☎(099) 268-7588
東京営業部 埼玉県深谷市幡羅町1-13-1 ☎(048) 551-2122

クビアカツヤカミキリ防除の手引

2024 年 3 月



東京都環境局

表紙写真の出典

①	②
	③
	④

①: 豊口信行氏
(2020年8月福生市)

②: 東京都

③: 国立研究開発法人
森林研究・整備機構

④: 東京都

はじめに

クビアカツヤカミキリは、サクラやウメ、モモ、ハナモモなどのバラ科樹木を食害して枯らしてしまう外来種です。本来は、中国、朝鮮半島、台湾、ベトナム北部、ロシア極東部に分布している昆虫ですが、物流に伴って日本国内に侵入したものと考えられています。本種の成虫は、黒くてつやのある体に、“首”のように見える前胸部が赤いのが特徴です。幼虫がサクラやウメ、モモ、ハナモモなどのバラ科樹木の内部を食い荒らすため、果樹園やサクラ並木等で大きな被害が出ており、2015年に「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」に掲載されたのち、2018年1月には「特定外来生物」に指定されました。

2023年1月現在、13の都府県において被害が確認されています。都内においても、2015年に多摩部で被害が初確認されて以降、2020年には区部でも確認されました。これまでの分布状況を考えると今後更なる被害地域の拡大が懸念されています。

繁殖力や拡散能力が高い本種の被害を食い止めるためには、何よりも早期発見、早期防除が不可欠です。この手引は、本種の被害地域の拡大を防止して被害を最小限に食い止めるため、自治体の担当者や施設管理者向けに、被害のを見つけ方や防除に当たったの考え方について解説したものです。本手引をご活用いただき、クビアカツヤカミキリ対策の一助となれば幸いです。

本種の生態には未解明な点も多く、防除手法については鋭意開発が進められています。今後も新たな情報や知見が得られた場合には随時更新していきます。

東京都環境局自然環境部

2024年3月

<改訂履歴>

「クビアカツヤカミキリ防除指針 第1版」(2019年1月)

「クビアカツヤカミキリ防除指針 第2版」(2020年1月)

「クビアカツヤカミキリ防除の手引き」(2021年3月)

「クビアカツヤカミキリ防除の手引き」(2022年3月)

「クビアカツヤカミキリ防除の手引き」(2023年3月)

「クビアカツヤカミキリ防除の手引き」(2024年3月)

クビアカツヤカミキリ防除の手引

目 次

I	クビアカツヤカミキリに関する基礎情報	
1.	クビアカツヤカミキリの特徴と生態	1
(1)	特徴	1
(2)	生活史	2
(3)	法的な取扱い	6
2.	被害の特徴	7
II	クビアカツヤカミキリの被害状況	
1.	全国における被害状況	8
2.	東京都における被害状況	9
3.	関東地方における被害状況	10
III	被害確認から防除完了までの取組	
1.	全体の流れ	15
(1)	被害の確認・点検方法の年間スケジュール	15
(2)	被害木や成虫が確認された場合の対応の年間スケジュール	16
2.	具体的な取組	17
(1)	被害の確認・点検方法	17
STEP 0	早期発見のための情報収集	17
(2)	被害木や成虫が確認された場合の対応	22
STEP 1	被害状況確認調査の実施	22
STEP 2	防除計画の作成	23
STEP 3	防除の実施	24
ア.	薬剤（農薬）	24
イ.	ネット巻き	33
ウ.	捕殺・刺殺	35
エ.	伐採・抜根	36
STEP 4	経過観察とモニタリング調査の実施	40
IV	情報発信・普及啓発・補助金	
(1)	広報紙やホームページ、掲示、回覧等の活用	41
(2)	補助金（あきる野の事例）	43
(3)	被害発生状況の周知と市民参加による防除活動	45
(4)	事例紹介	45
■	参考・引用文献	46

I クビアカツヤカミキリに関する基礎情報

1. クビアカツヤカミキリの特徴と生態

(1) 特徴

【分類】コウチュウ目カミキリムシ科ジャコウカミキリ属

【種名】クビアカツヤカミキリ

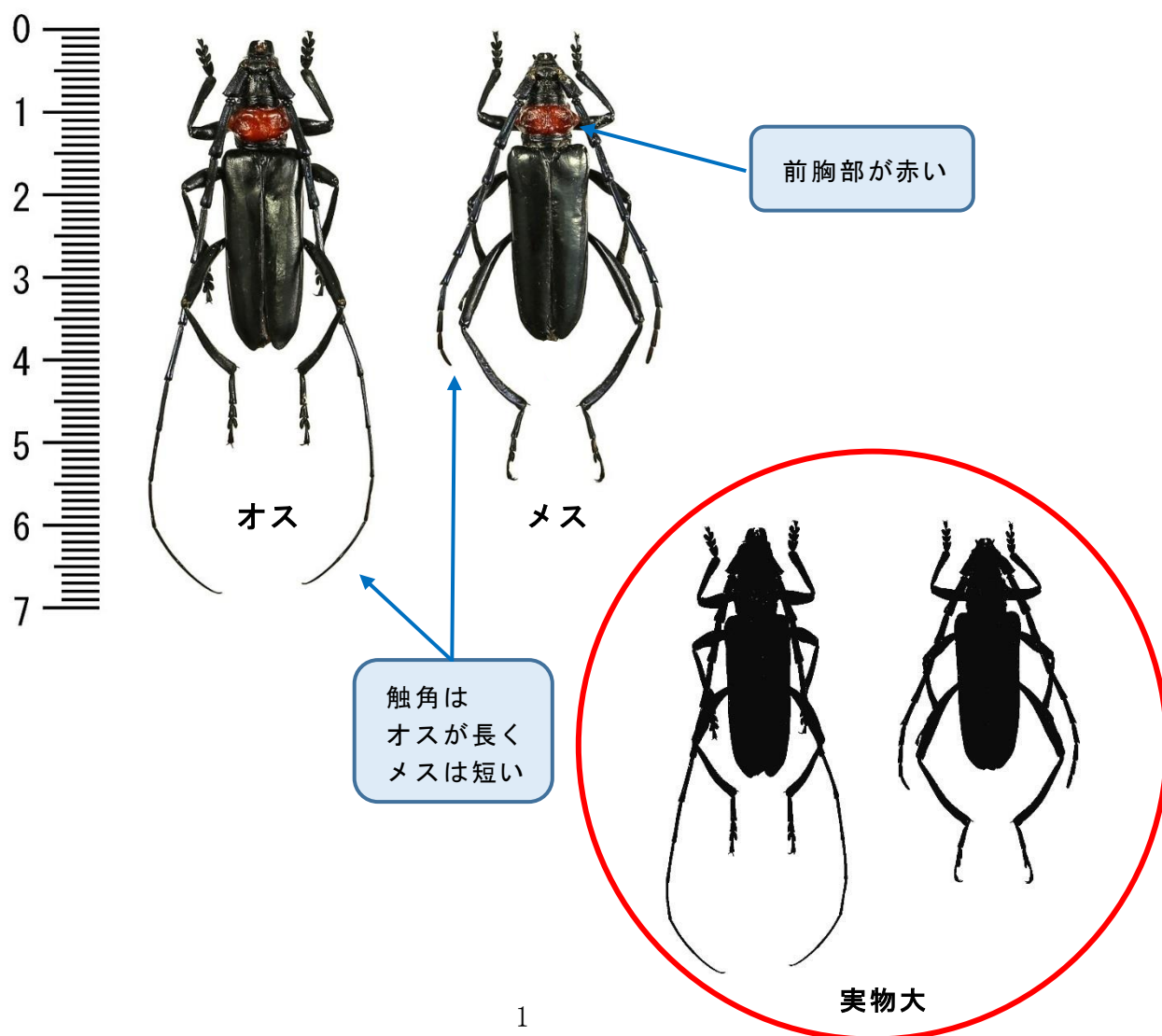
【学名】*Aromia bungii* (Faldermann, 1835)

【原産】中国、朝鮮半島、ベトナムなど

【体長】25mm～40mm 程度

【特徴】・全体は青みを帯びた黒色で、つやつやとした光沢がある

- ・前胸部（クビのように見える部分）の背中側が赤く両側に突起があり、そろばんの珠のような形をしている
- ・オスの触角の長さは体長の2倍程度で長い。メスの触角は体長と同程度
- ・強い匂いを放つ



(2) 生活史

本種の日本での生態はまだよく分かっていませんが、幼虫の期間は2年間程度と考えられています。成虫は概ね6月～8月頃に出現します。幼虫の活動期間の4月～10月頃が、クビアカツヤカミキリの確認しやすい時期となります。下記のクビアカツヤカミキリの生活サイクルを参考にして下さい。

クビアカツヤカミキリの生活サイクル

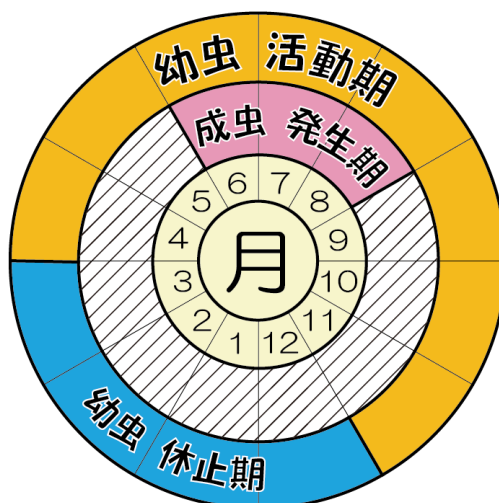
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成虫・産卵												
	幼虫1年目												
	幼虫2年目 (前蛹)												
	蛹・羽化												

注1: 前蛹とは、幼虫が蛹になるための準備期間で、餌を食べなくなってから蛹になるまでの間を指します

注2: 日本での幼虫や蛹の期間はよくわかっていません

凡例

- : 幼虫の活動期間
- : 幼虫の活動休止期間



年間における成虫・幼虫の活動期

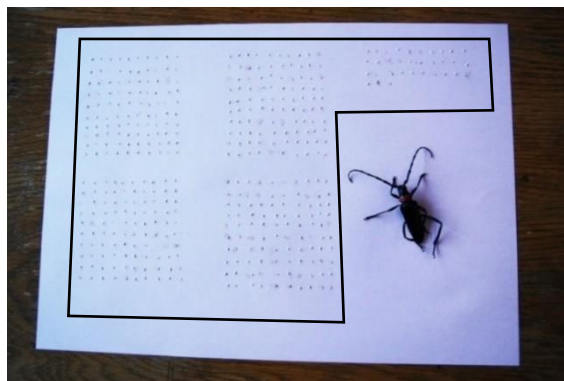
① 卵

本種のメスは 6 月～8 月頃、サクラ、ウメ、モモ、ハナモモ等の樹木の樹皮の割れ目などに産卵します。樹皮がまわっている古木などが産卵に好まれる傾向があり、樹皮が平滑な若木への産卵は少ないようです。メスの生涯産卵数は飼育条件下で平均 300 個前後、最大 1,056 個という報告があります。卵は、10 日前後で孵化し、幼虫になります。



卵（目盛りは 1mm）

提供：農林水産省横浜植物防疫所



メスの腹部にあった卵（枠内）

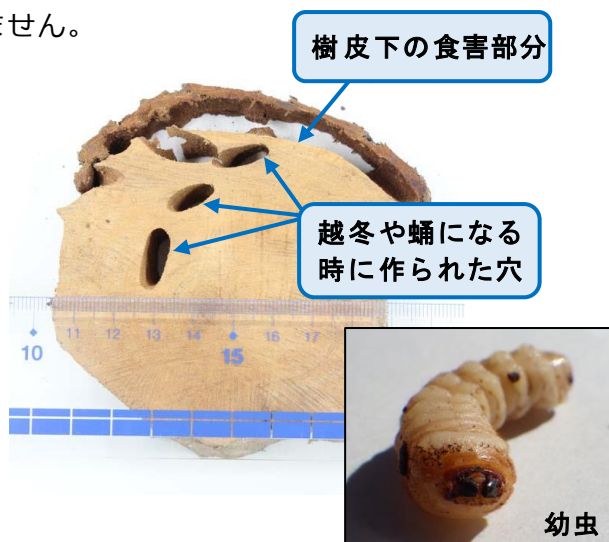
提供：国立研究開発法人 森林研究・整備機構

② 幼虫

孵化した幼虫は、すぐに樹皮に穴を開けて樹木内部に侵入し、主に樹皮直下の材を食害していきます。その部位は樹木が成長する部分（形成層）や、水分・養分の通り道（道管・師管）などであり、樹木は大きなダメージを受け、被害が大きい場合には枯死します。

幼虫の活動期（食害する時期）は 4 月頃から 10 月頃までで、活動期間中の幼虫は、「フラス」と呼ばれる食べた木屑と糞の混合物を、幹や枝に開けた孔（排糞孔）から盛んに排出します。本種のフラスは薄い切片状の木屑を多く含み、棒状やかりんとう状につながるが多いのが特徴で、幼虫の成長とともに太く、量も多くなります（p.19 参照）。終齢幼虫（蛹になる前の幼虫）で大きさは太さ約 1cm、長さ約 4cm になります。

冬季（11 月頃～3 月頃）は幼虫の活動が休止するため、この期間にはフラスは見られません。



食害された枝の断面

提供：農林水産省横浜植物防疫所（幼虫写真を除く）

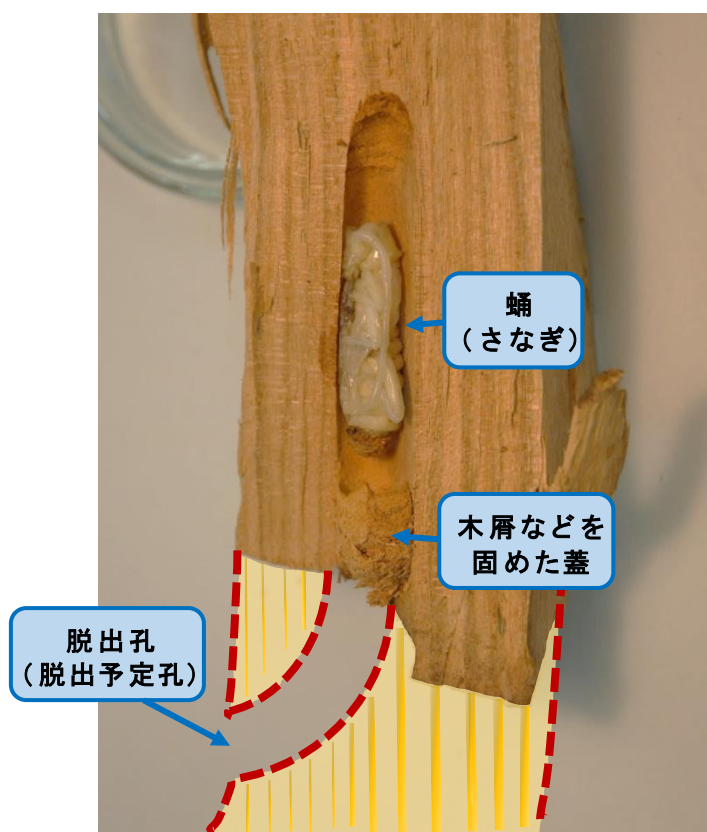


被害木の中の幼虫

提供：国立研究開発法人 森林研究・整備機構

③ 蛹（さなぎ）

終齢に成長した幼虫は、秋頃に樹木の中心部に入り込み、木屑を固めて蓋をした蛹室（ようしつ）をつくって休眠します。ただし、一部の幼虫では初夏（6月）に蛹室をつくる事が確認されています。この時あらかじめ、羽化（成虫になること）して樹木の外に出る時に使う孔（脱出予定孔）を、樹皮を薄く残し、外から見えないように工夫して開けます。翌年の概ね5月頃に蛹は羽化して成虫となり、6月上旬頃から脱出予定孔の樹皮を噛み切って外へ出てきます。成虫が出たあとの孔（脱出孔）は、縦2～3cmの楕円形です。脱出孔が見つかったということは、少なくとも数年前からその地域に本種が侵入していたことになります。脱出孔の古さや数によって、当該地域への侵入時期や周辺への拡散状況などを推察することができます。



蛹室の中の蛹

提供：国立研究開発法人 森林研究・整備機構



脱出予定孔
(樹皮を薄く残してある)



脱出孔
(縦2～3cm程度)

④ 成虫

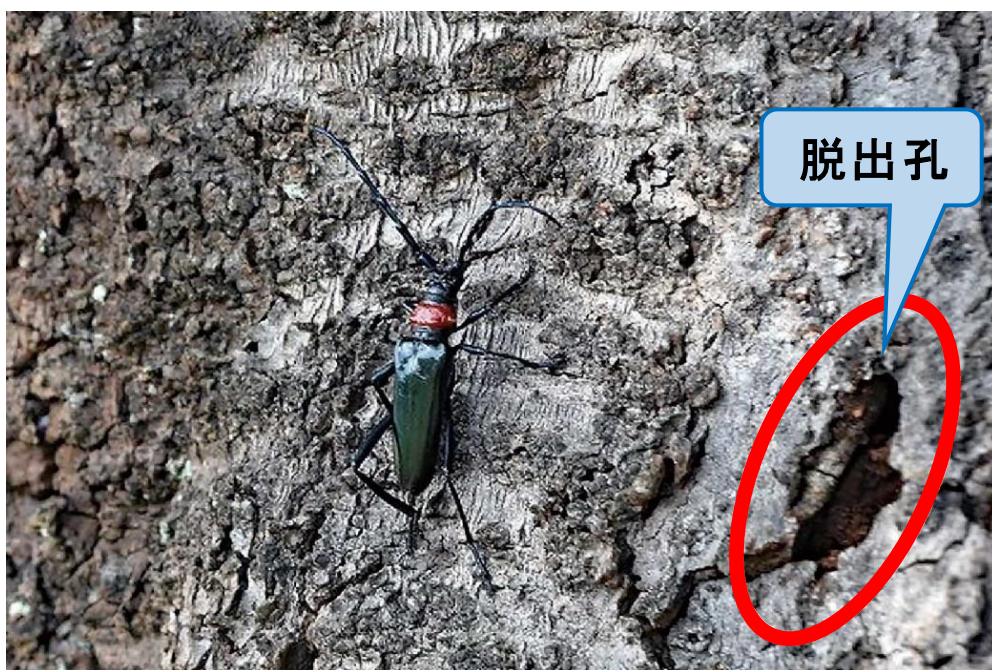
羽化して樹木の外に脱出した成虫は、その当日に交尾が可能で、脱出して 2～9 日後から産卵を開始します。基本的に昼行性で、成虫はクヌギなどの樹液に集まることなどが報告されていますが、幼虫のように樹木内部を食害することはありません。

メスが産卵するのは、羽化した樹木や近接する樹木が多いと考えられますが、時に 3 km もの距離を飛翔するとされ、また、車両に付着して運ばれた事例も報告されており、広い範囲に被害が拡大する危険があります。

成虫の発生時期は、都内の場合、主に 6 月上旬～8 月上旬頃で、ピークは 7 月上・中旬と考えられています。成虫はその年に交尾・産卵して一生が終わり、越冬することはありません。



交尾行動をとる成虫(上がオス・下がメス)



サクラの樹上を歩く成虫・メス(写真左)と脱出孔(写真右)

提供：豊口信行氏(上は 2020 年 7 月、下は 2020 年 8 月ともに福生市にて)

（３）法的な取扱い

クビアカツヤカミキリは、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 平成 16 年 6 月 2 日法律第 78 号（以下、「外来生物法」という。）」により、2018 年 1 月に「特定外来生物」に指定されました。

特定外来生物とは、外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。生きているものに限られますが、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれます。

特定外来生物には、外来生物法により以下のような規制があります。

- ・ 飼育、栽培、保管及び運搬（外来生物法において「飼養等」という。）することが原則禁止
- ・ 輸入することが原則禁止
- ・ 野外へ放つ、植える及びまくことが原則禁止
- ・ 許可を受けて飼養等する者が、飼養等の許可を持っていない者に対して譲渡し、引渡しなどをすることが禁止（販売することも禁止）
- ・ 許可を受けて飼養等する場合、特定外来生物ごとにあらかじめ定められた「特定飼養等施設」以外での飼養等は不可

例えば一般市民が、外来生物法の許可なく本種を捕まえて持ち帰ったり飼育したりすることは禁止されているため注意が必要です。これらの規制に対する違反には罰則も設けられています。

ただし、以下の行為は問題ありません。

- 本種を捕まえてその場で殺すこと
- 死んだ個体を持ち運ぶこと
- 地方公共団体の職員がその職務の遂行に伴い、緊急に引取、処分するために一時的に保管又は運搬すること

* 別途、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律施行規則第二条第十五号の規定に基づく環境大臣が定める動物及び運搬に係る要件」を参照（p.39 参照）

（参考パンフレット・リーフレット）

環境省ホームページ

<http://www.env.go.jp/nature/intro/4document/poster.html>

2. 被害の特徴

本種の幼虫は、サクラ、ウメ、モモ、ハナモモ等の主にバラ科の樹木を食害します。被害が著しい場合には食害された樹木は衰弱し、枯れてしまいます。

本種による被害の影響は、おおむね次のように分類されます。

① 生態系への影響

本種は食樹とする樹種が比較的広く、そのため森林域に侵入定着した場合、在来カミキリムシ類との競合や、食害により樹木が枯損し、植生や森林生態系に影響が出るものが懸念されています。

② 農業への影響

本種の食害によるモモ、スモモ、アンズ、ウメなどの果樹への甚大な被害が、徳島県や栃木県、群馬県など複数の自治体で確認されています。

③ 人の生命や身体、文化・生活などへの影響

本種が好むサクラ類は天然記念物や特別天然記念物、重要文化財、史跡名勝等の文化財として指定されているものもあり、本種が、それらの所在する地域へ侵入した場合、文化財が枯損等により失われてしまう可能性があります。

また、多くの市民が利用する公園や通行する街路樹のサクラ並木などに被害が生じた場合、花見への影響など景観上の問題とともに、落枝や倒木により人の身体や財産等に被害を及ぼすおそれがあります。

本種の被害は若い樹木よりも古木、老木に多く発生する傾向があり（p.3 参照）、上記のような樹木への侵入が懸念されます。



食害を受けた果樹（左）とサクラ並木（右）

① 出典：千葉大学園芸学部HP

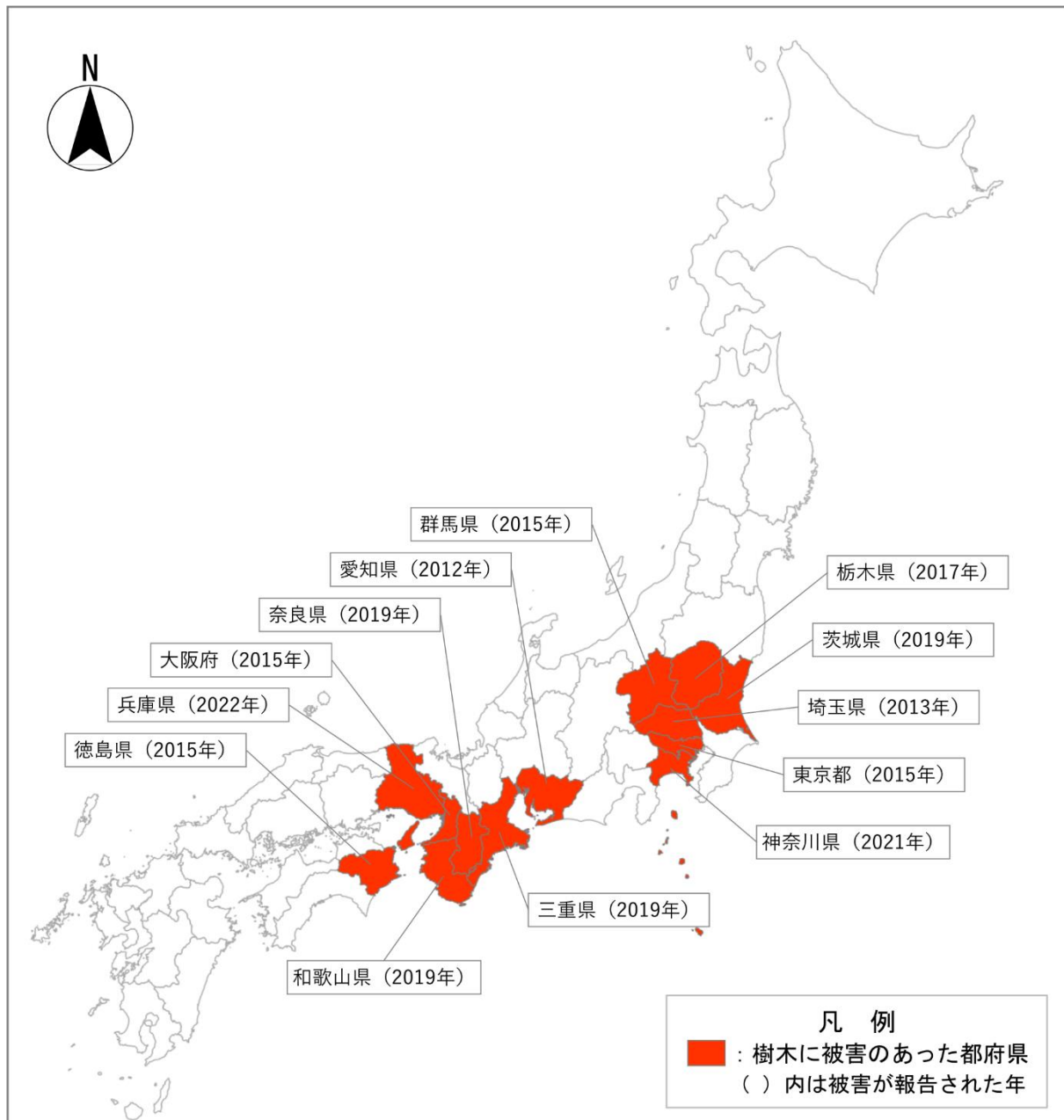
② 提供：農林水産省横浜植物防疫所

Ⅱ クビアカツヤカミキリの被害状況

1. 全国における被害状況

2023 年 1 月現在、茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、愛知、三重、大阪、奈良、和歌山、徳島、兵庫の 13 都府県で本種の被害が確認されています。

国内への侵入過程は明らかではありませんが、輸入木材や梱包用木材、輸送用パレットなどに幼虫が潜んだまま運ばれ、国内で成虫に羽化・繁殖したものと考えられています。

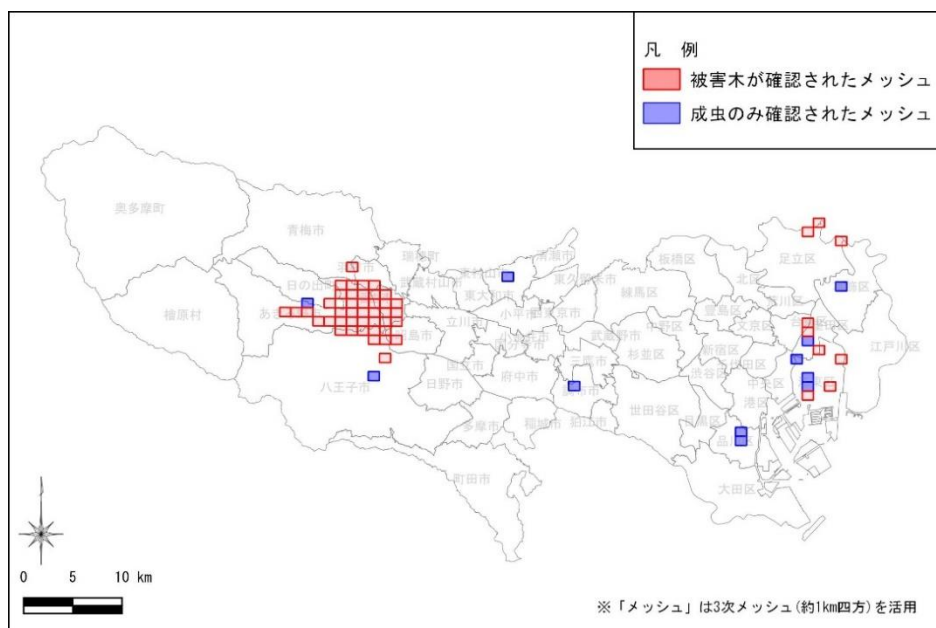


全国の被害確認状況 (2024 年 3 月現在)

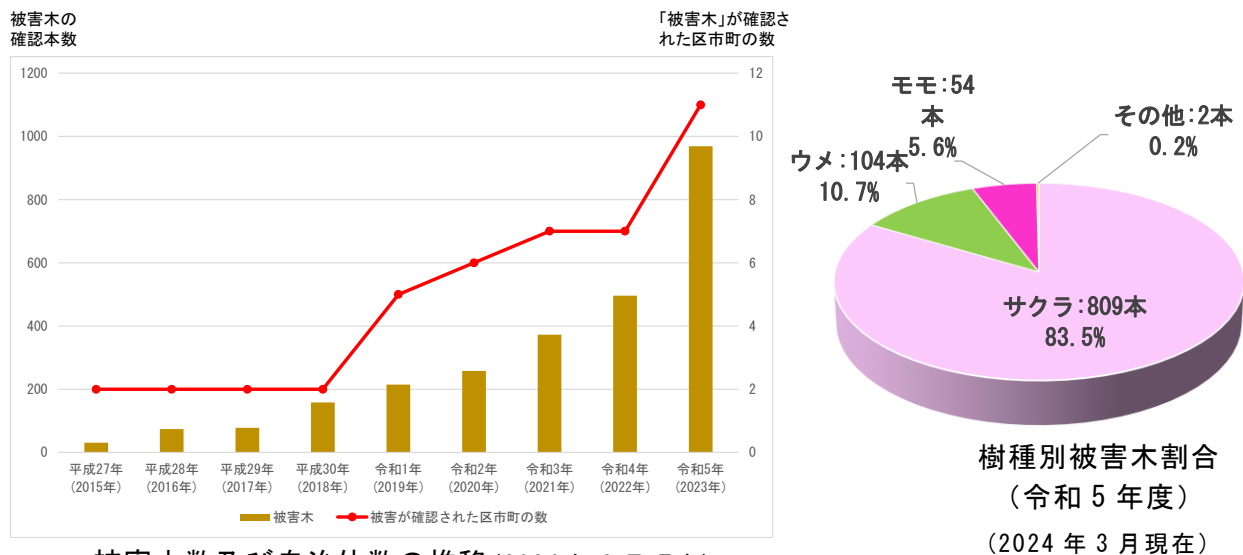
2. 東京都における被害状況

東京都では2015年に、福生市とあきる野市で初めてサクラの被害が確認され、懸命な防除が行われていますが、2019年9月には羽村市、八王子市、昭島市でも被害が見つかりました。翌年2020年には、埼玉県南東部の被害箇所隣接する足立区からも被害が確認されたほか、調布市のサクラ並木では成虫が見つかり、2021年には、江東区で被害が、品川区で成虫がそれぞれ確認されております。今年度は、多摩地区の日の出町で、区部の台東区、墨田区で被害木が確認されました。また中央区、葛飾区で成虫が確認されるなど分布拡大の傾向にあり、今後の被害拡大が懸念されます。

樹種別にみるとサクラの被害が最も多く、次いでウメとなっています。被害本数は、2024年3月現在969本が確認され、昨年（496本）のほぼ倍となっています。



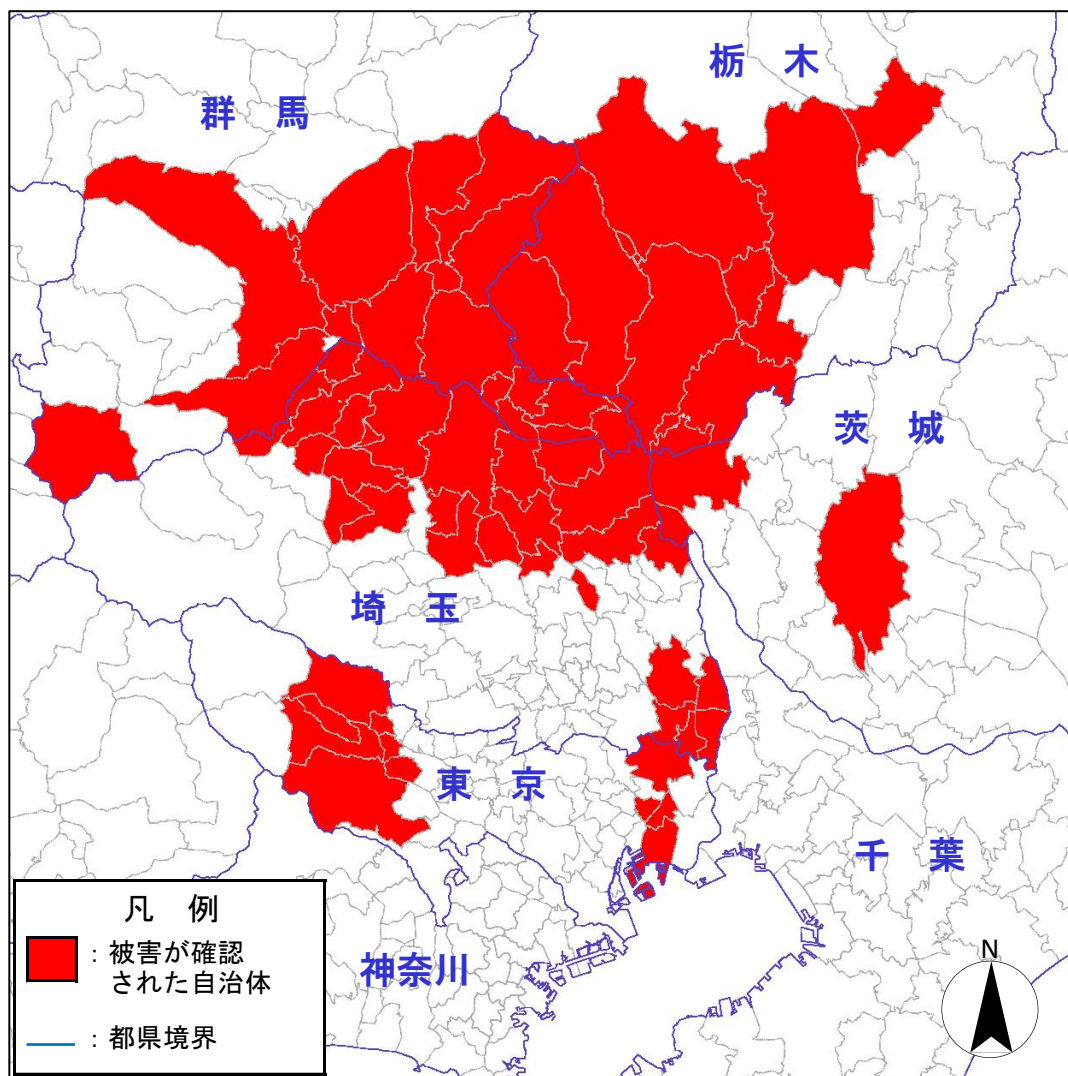
東京都における被害および成虫確認範囲(2024年3月現在)



被害本数及び自治体数の推移(2024年3月現在)
 ※平成28年、平成29年の被害本数は1自治体集計分のみを計上

3. 関東地方における被害状況

関東地方で被害が確認されているのは、栃木県南部から群馬県東部、埼玉県北部、茨城県西部にかけての広い範囲でまとまって分布する範囲と、埼玉県南東部および東京都東部につながる範囲、東京都の多摩西部を中心とした範囲の他に、茨城県のつくば市がやや離れて分布しています。



関東地方で被害が確認された自治体（2024 年 3 月現在）

○神奈川県

神奈川県では、2021 年 7 月に街路樹のサクラで被害が初確認され、フラスの排出、脱出孔、樹液の流出が認められました。被害を受けたサクラは既に伐採し、適切な処理が施されました。

出典：神奈川県 HP「クビアカツヤカミキリ」に関するお知らせ」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/f986/kubiaka.html>

閲覧日 2024 年 3 月 11 日

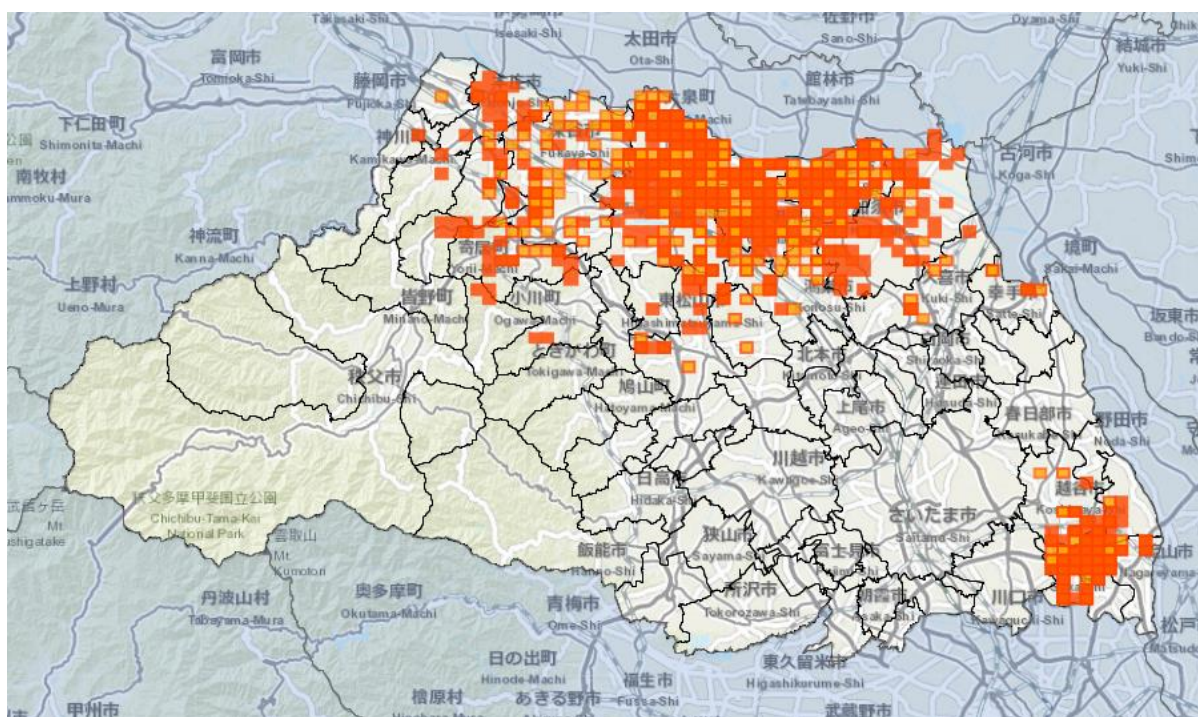
○埼玉県

平成 23（2011）年に、深谷市で成虫（1 頭）が捕獲されたが、このとき実施された捕獲地周辺の調査では、被害は確認されていません。県内での初めての被害は、平成 25（2013）年に、県南東部の草加市と八潮市を流れる葛西用水沿いのサクラで確認されています。

平成 30 年度までに、県南東部の草加市、八潮市及び越谷市、県北部の加須市、羽生市、行田市、熊谷市及び深谷市で、被害（成虫のみの発見を含む）が報告されています。

令和元（2019）年度は、三郷市、吉川市、鴻巣市及び寄居町の 3 市 1 町が、令和 2（2020）年度は、幸手市、久喜市、本庄市及び上里町の 3 市 1 町が、令和 3（2021）年度は、吉見町、東松山市及び美里町の 1 市 2 町が、令和 4 年度には、滑川町及び北西部の神川町、長瀬町、小川町、東秩父村の 4 町 1 村に広がり、合計 22 市町村となり、令和元年以降は県北西部に被害地域が拡大する傾向にあります。

被害はほとんどがサクラですが、羽生市と深谷市ではスモモ、深谷市ではスモモとウメなど、果樹への被害も報告されています。



埼玉県における被害状況（2022 年度結果）

出典：埼玉県環境科学国際センターＨＰ「クビアカツヤカミキリ情報」を加工
<https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html>
 閲覧日 2024 年 3 月 13 日

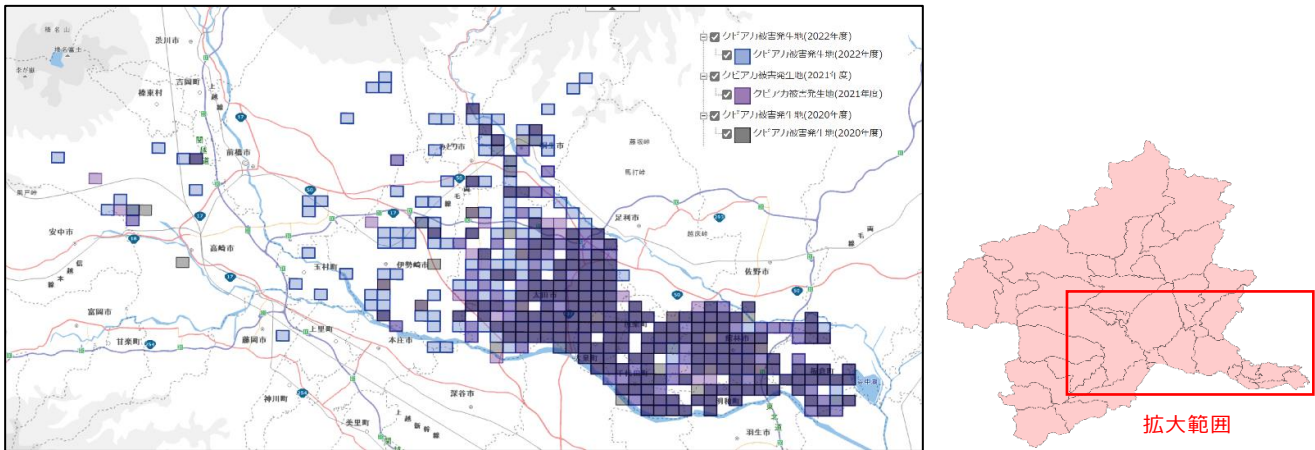
○群馬県

群馬県では、2022年度の報告において、以下の15市町で被害が確認されています。
2020年度には新たに4市で被害が確認されたほか、7市町の被害本数も増加しています。
また、2022年度被害状況調査では、15市町で6,909本の樹木被害が確認され、被害本数はさらに増加しています。

群馬県における被害状況（2022年度）

番号	市町村	被害本数	被害樹種					参考：過去の被害本数				
			サクラ	ウメ	モモ	スモモ	その他	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	前橋市	76	0	0	45	1	30					4
2	高崎市	25	9	4	3	9	0				5	41
3	桐生市	263	178	81	2	0	2				28	38
4	伊勢崎市	110	77	24	8	1	0				17	12
5	太田市	2,820	2,098	563	120	32	7	5	164	388	1,231	2,335
6	館林市	1,531	1,315	131	7	62	16	219	496	1,272	1,323	1,758
7	藤岡市	6	0	0	5	1	0					
8	みどり市	54	4	0	43	6	1				6	20
9	上野村	8	0	0	0	8	0					
10	玉村町	12	8	1	3	0	0					
11	板倉町	778	760	12	0	0	6	4	33	168	248	576
12	明和町	291	255	0	30	6	0	123	311	434	476	387
13	千代田町	426	419	6	1	0	0	47	120	202	382	375
14	大泉町	777	756	17	0	0	4	105	194	658	765	864
15	邑楽町	419	396	11	7	1	4	179	192	439	479	499
15市町村合計		7,596	6,275	850	274	127	70	682	1,510	3,561	4,960	6,909

出典：群馬県HP「特定外来生物クビアカツヤカミキリに注意してください」
<https://www.pref.gunma.jp/page/7132.html>
閲覧日 2024年3月13日



群馬県における被害状況（2021年度結果）

出典：「ぐんまクビアカマップ」を加工
<https://mapping-gunma.pref.gunma.jp/pref-gunma/PositionSelect?mid=7002>
閲覧日 2024年3月13日

参考「マッピングぐんま」（外部リンク）にアクセス
URL：<https://www2.wagmap.jp/pref-gunma/Portal>
「自然・環境情報」をクリックし、「ぐんまクビアカマップ」を選択
確認したい地域の住所等を入力 or リストから選択
「ぐんまクビアカマップ」が表示されます。

○茨城県

茨城県では、2019 年 8 月に古河市内の公園の樹木で被害が報告されています。古河市は、被害が拡大している栃木県南部や埼玉県北部に隣接しています。このほかに、五霞町で成虫が確認されています。2023 年度には、つくば市でフラスが見つかっています。



茨城県古河市で確認されたフラス

出典：茨城県ＨＰ「特定外来生物クビアカツヤカミキリについて」

https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shizen/tayousei/alien_species/aromia_bungii/first_recognition_ibaraki.html

閲覧日 2024 年 3 月 13 日



茨城県における被害状況

○栃木県

栃木県内では、2016 年 7 月に足利市で初めて成虫が発見され、2017 年 6 月下旬に県南部の群馬県との境に位置する佐野市と足利市で初めてモモとスモモの被害が確認されました。以降は同 3 市での確認が続いています。確認された被害木は 2017 年から 2018 年にかけて急増していますが、その後の被害率はほぼ同程度で推移しています。分布地は、2021 年の 6 市町から、2022 年には 8 市町に増加しています。

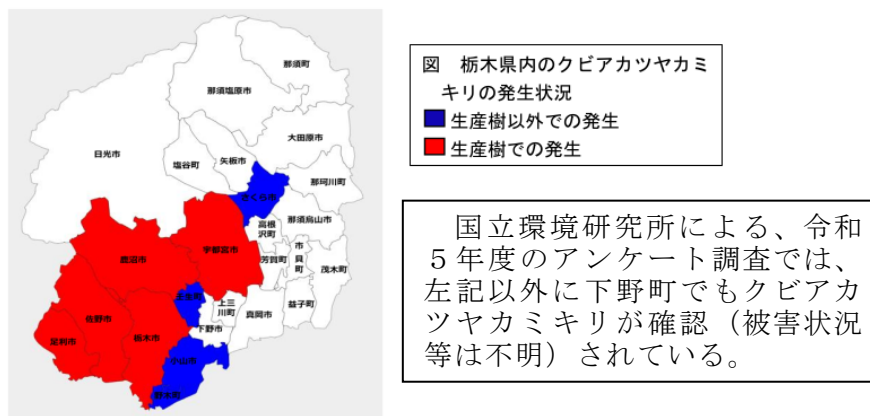
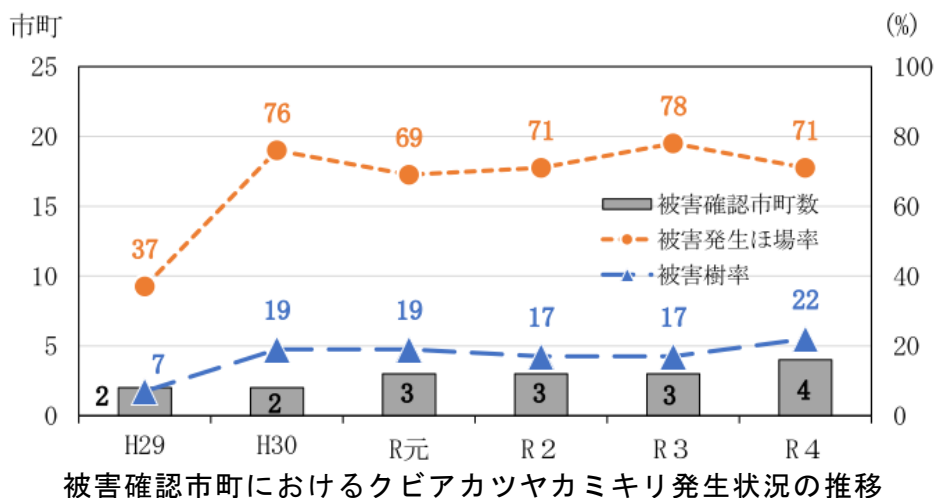


表 被害発生市町の推移

年度	市町
H29 (2017)	足利市、佐野市
H30 (2018)	足利市、栃木市、佐野市
R 元 (2019)	足利市、栃木市、佐野市、小山市
R 2 (2020)	足利市、栃木市、佐野市
R 3 (2021)	足利市、栃木市、佐野市、小山市、壬生町、野木町
R 4 (2022)	足利市、栃木市、佐野市、小山市、野木町、宇都宮市、鹿沼市、さくら市

栃木県における被害状況



出典：栃木県の果樹園における クビアカツヤカミキリの発生状況について
 経営技術課・生産振興課令和 4（2022）年 10 月
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kannkyou/kubiakatsuyakamikiri.html>
 閲覧日 2024 年 3 月 13 日

Ⅲ 被害確認から防除完了までの取組

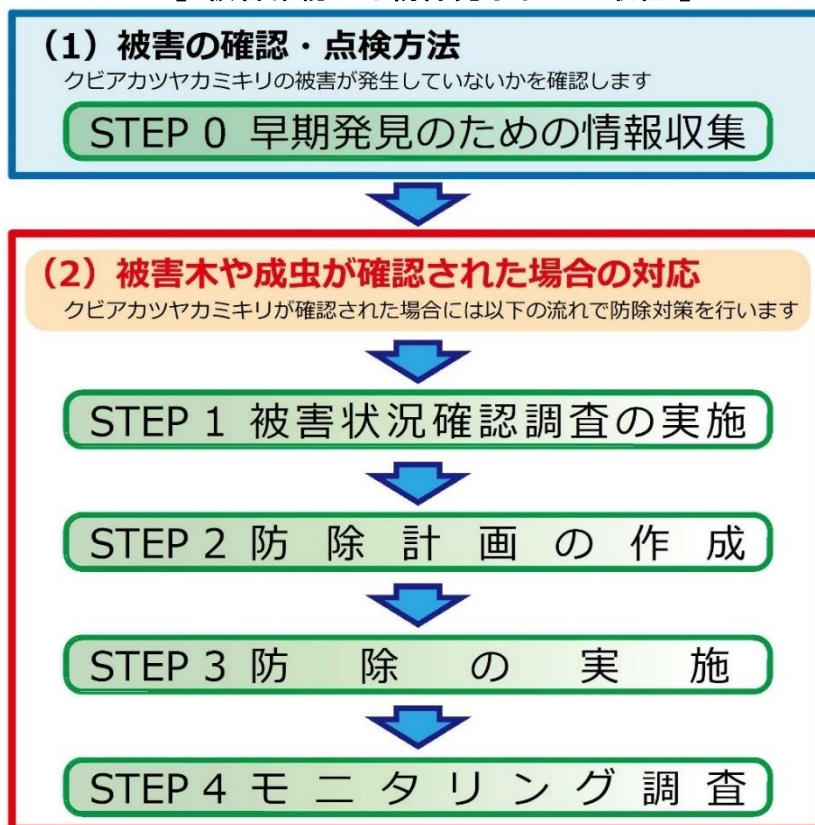
1. 全体の流れ

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリは、繁殖力や拡散能力が高く、その対策は「**早期着手・早期根絶**」が大原則です。

現段階では都内で本種が確認されている地域は限定的ですが、飛翔による拡散のリスクとともに、全国では車両に付着して運ばれた事例も確認されており、被害拡大防止の観点から、本種の早期根絶は社会的にも求められていると言えます。

以下に被害確認から防除完了までの取組の流れを示します。

【被害確認から防除完了までの取組】



(1) 被害の確認・点検方法の年間スケジュール

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	STEP 0												
早期発見のための情報収集	幼虫	樹木の点検（フラスの排出・脱出孔等の確認）						：フラスが確認しやすい時期 6～8月：主に形成層の食害が確認される 8～10月：形成層および木部の食害が確認される					
	成虫	成虫の発生を確認											
幼虫の被害を確認しやすい6月～10月の間に複数回樹木の点検を行うのが効果的である。													

※地域差があるため上記期間はあくまで参考とする

(2) 被害木や成虫が確認された場合の対応の年間スケジュール

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
STEP 1・STEP2													
被害 防除計画 確認	被害木とその周辺の調査(フラス等の確認)						防除計画の作成						
													
		被害木へのテープ巻き		排糞孔付近へのピン刺し									
STEP 3													
生活史	幼虫の活動期						幼虫の休眠期						
	薬剤処理・刺殺						伐採処理・伐根等 伐採処理は9月(秋季)～4月(春季)の間に行う						
幼虫に 対する 対策	防除 手法												
		排糞孔への注入タイプ		樹幹への注入タイプ		幼虫の刺殺							
				成虫発生期(6月～8月) の伐採処理は避ける									
生活史	成虫の発生期												
	ネット 巻き		発生状況の 確認・捕殺		ネット 撤去								
成虫に 対する 対策	防除 手法			・ネット巻き実施後は成虫の発生状況の監視を頻繁に行い、確認された場合はすぐに捕殺する									
		ネット巻き(5月末までに完了させる)											
		樹木に散布するタイプ		幹に巻くタイプ (生物農薬)									
								樹木に散布するタイプ		幹に巻くタイプ			
STEP 4													
モニタ 情報 収集 調査	被害状況のモニタリング調査						住民からの情報収集						

2. 具体的な取組

(1) 被害の確認・点検方法

STEP 0 早期発見のための情報収集

本種の確認情報がない地域においては、本種の被害が発生していないかを確認（情報収集）します。

この調査で被害が発見された場合には、直ちに p.22 に示す「被害木や成虫が確認された場合の対応」を行って被害の詳細を把握し、速やかに防除に取り組んでいくものとします。

① 情報収集の方法

サクラなどが多く植栽されている施設や並木等を対象に、直接巡回するか、施設管理者へ依頼し、被害発生の有無（主にフラスの有無）を点検することが最も効率的と考えられます。⇒**点検依頼のチラシ例を次ページに掲載**

② 情報収集先

公園、街路樹、河川沿いの並木、学校、幼稚園、保育園、公民館、病院等の医療施設や福祉施設、住宅団地、工場、ショッピングセンター、神社・寺院、果樹園などが考えられます。

公共施設だけではなく、場合によっては民間施設の所有者等にもご協力をお願いすることが必要となります。果樹園などは農業部門や農協等と協力・連携して実施します。

③ 実施時期

フラスが確認しやすい6月～9月の間に行います。フラスが最も活発に排出されるのは暑い盛りの8月中旬～9月頃ようです。

④ フラス確認のポイント

- **樹皮に裂け目や割れ目のある樹木が好まれるため、サクラは特に大木や老木に注意します。**

* ウメやモモなどは低い木でも裂け目などが多いため、この限りではありません。

- **初めに樹木を一周しながら眼前の幹や根元、地面にフラスがないか確認し、その後、幹の上や太枝を確認します。幹の二股部分にも、上から落ちてきたフラスが溜まっていることがあるので注意が必要です。**

* 痕跡が小さい場合もあります。見落しのないように、できるだけ複数人で1本の木を調査するようにします。

* フラスは目線よりも低い位置から排出されることが多いようです。また、根元への堆積とともに、高所の枝や幹から出されたフラスが地面や下草の上に落ちていることも多いようです。

- **時期をずらして複数回、調査を行うこと望ましいといえます。**

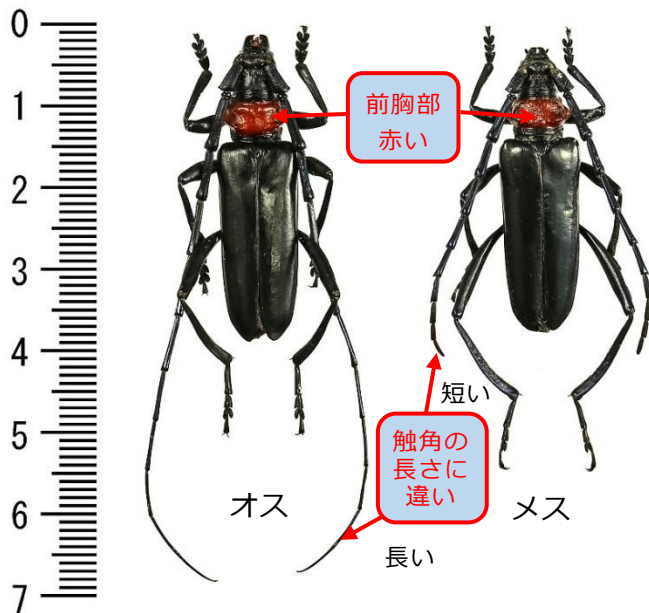
* 幼虫は個体によってフラスを排出する時期に違いがあります。夏季にフラスが確認されなかった樹木においても、秋季にフラスが排出されていることがあります。

* **フラスの形状の違いにより、主に形成層の食害時は棒状、蛹室の形成時はおが屑状になることを参考に対策方法の選択に利用できます。**

サクラなどへのクビアカツヤカミキリ侵入点検のお願い

この点検は、サクラやモモ、ウメなどに大きな被害を与える特定外来生物『クビアカツヤカミキリ』の被害の有無を確認するためのものです。
ご協力をお願いします。

〈クビアカツヤカミキリ(成虫)の特徴〉



※成虫はその場で駆除して下さい！

(必ず殺すこと。生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています)

【体 長】 25～40mm

【発 生 期】 6月～8月頃

【特 徴】

- ・全体は青みを帯びた黒色
つやつやした光沢がある
- ・前胸部（クビのように見える部分）が赤い
- ・触角はオスの方が長い
- ・つかむと強い匂いを放つ

〈幼虫による樹木被害の点検ポイント〉

○対象樹種

サクラ、ウメ、モモ(ハナモモ含む)、スモモ

○調査範囲

高さ 3m位までの幹や根元、太枝の表面

○調査内容

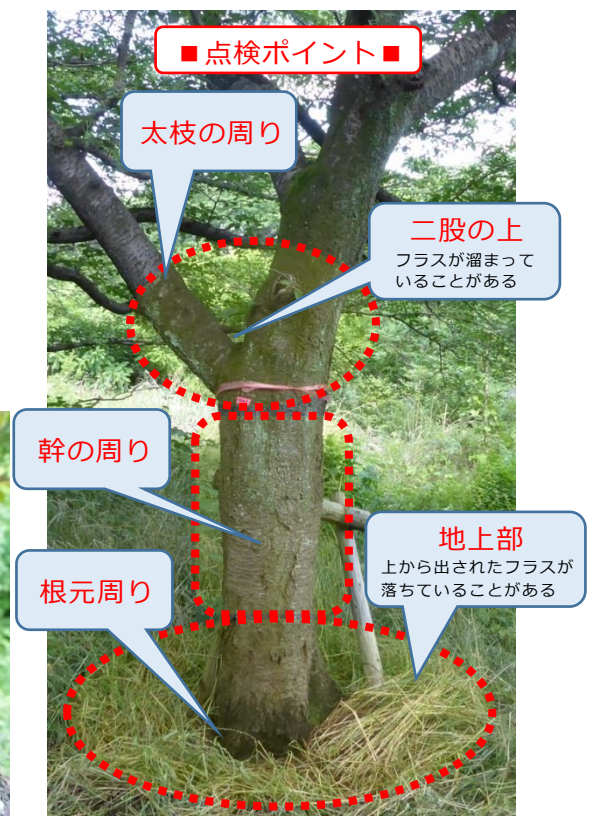
6月～9月に、下の写真のような『フラス』(幼虫が排出する木屑と糞が混ざったもの)が出ていないかを確認して下さい。
点検するポイントは右の写真を参考にして下さい。



根元で確認されたフラス



幹で確認されたフラス



フラス（疑いも含めて）や成虫を確認した場合、至急、以下までご連絡下さい！

環境課〇〇係 担当〇〇 電話

本種被害の確認ポイント①「フラス、樹液」

本種のフラスは木屑が多く、大量で、排出直後は棒状やかりんとう状につながっていることが多いのが特徴です。フラスは幼虫の体の大きさに比例し、1mm～5mm 前後までさまざまな太さが見られます。蛹室を作る時にはおが屑状のフラスを排出します。

フラスがなくても、樹液が何か所も大量に出ている場合には、本種である可能性も考慮し、注意して観察して下さい。

○太いフラス



○細いフラス



○おが屑状のフラス（根元のことが多い）



○樹液（何か所も大量に出ている場合は要注意）



〈参考：本種に良く似たフラス〉

コスカシバ（スカシバガ科）



不定形で、樹液が漏出していることが多い。色は通常暗褐色で、フラスの中の糞が赤く丸く見える。

ケアリ類（アリ科）



塊ではなく、線状に連なっている。材質は細かい木くずが多いが、本種のフラスを利用している場合もある。

本種被害の確認ポイント②「脱出孔(脱出予定孔)」

○脱出孔（羽化する際に開けた孔）



- ・ 縦に長い楕円形で縦 2～3cm 程度

○脱出予定孔（翌年、羽化する際に使う孔）



- ・ 樹皮を薄く残してある

〈参考：本種以外の脱出孔〉

ゴマダラカミキリ（カミキリムシ科）



- ・ 直径 1.5cm 程度の円形

タマムシ（タマムシ科）



- ・ 長径 1cm 程度で穴の向きは様々

本種被害の確認ポイント③「幼虫」

〈コスカシバの幼虫との見分け方〉

クビアカツヤカミキリの幼虫



- ・ 尾端部の色は胴体と同じ（赤丸）
- ・ 体節のくびれが目立つ
- ・ 胴体の幅は頭の後ろが最も広い

* これらはカミキリムシの幼虫に一般的な形質

コスカシバの幼虫



- ・ 尾端部に橙色の部分がある（赤丸）
- ・ 体節のくびれは目立たない
- ・ 胴体の幅は前と後ろで変わらない

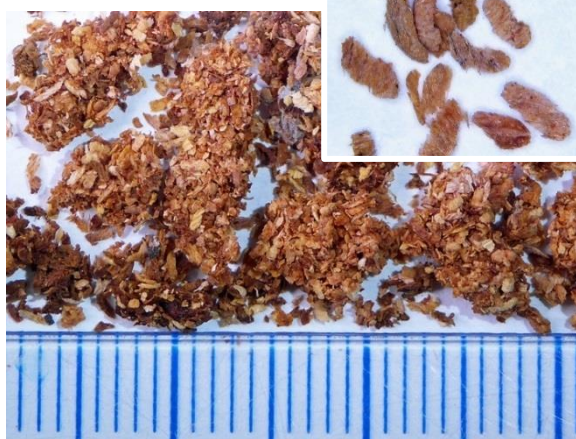
本種被害の確認ポイント③「類似種との見分け方」

塊のままでは、他の在来カミキリムシやコスカシバなどとの見分けが難しい場合もありますが、ほぐして観察すると、本種やその他の昆虫のフラスの特徴が分かります。

フラスを見つけたら、写真を撮るだけでなく、実際にサンプルを採取して、ルーペや顕微鏡などを使って観察してみてください。

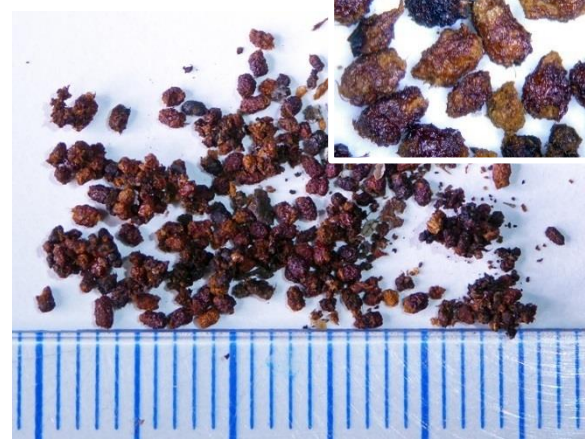


クビアカツヤカミキリ



・ 薄い木の切片を多く含む

(参考) コスカシバ



・ 顆粒状の糞を多く含む

(参考) 在来のカミキリムシの例－ゴマダラカミキリ－



・ フラスの色や形状、大きさはクビアカツヤカミキリに似ているが、ほぐすと繊維状の木屑を多く含んでいる

（２）被害木や成虫が確認された場合の対応

STEP 1 被害状況確認調査の実施

本種やその被害が確認された場合、直ちに被害の詳細を調査します。この調査では、防除計画や効果検証の基礎データとなるため、被害木については１本１本を記録して整理しておく必要があります。

① 調査項目

【被害木】

- ・ 確認位置の記録、被害木及びフラス等の写真撮影
- ・ 樹種、大きさ（樹高、幹回りなど）
- ・ フラスの位置、箇所数（根元、主幹、大枝、地上からの高さなど）
- ・ フラスの形状、太さ（太い・細い・おがくず状など）
- ・ 樹勢（健全、部分的に落葉、半分以上落葉など）
- ・ 脱出孔／脱出予定孔（あり（箇所）・なし）

被害木には幹にテープ等を巻き、フラスの排出孔付近にピンを刺しておく、後から被害木や排出箇所を見つけやすいです。



被害木へのテープ巻き 排糞孔付近へのピン刺し

【成虫】

- ・ 確認位置と個体数（雌雄別）の記録、確認場所の撮影
- ・ 発生源を特定するため、周辺のサクラやウメ等の調査

② 記録の整理

調査結果は、その後の集計や活用がしやすいように、表形式か、１本ごとのカルテを作成して取りまとめます。調査対象となった樹木や被害が確認された樹木をナンバリングしておく、その後の継続調査等がスムーズになります。

③ 被害発生状況図の作成

調査結果を踏まえ、市街地図などをベースに被害確認地点（および被害が確認されていないことが報告された地点）などをプロットしておきます。年度ごとの被害確認地点の変化を把握することで、防除効果の検証や今後の対策などに役立てることができます。

STEP 2

防除計画の作成

被害状況確認調査の結果をもとに、時期（季節）に応じた当面の対策と、今後数年間を見越した対策を含めた防除計画を検討し、作成します。

防除計画の作成に当たって留意すべき事項は、概ね以下のような点となります。

① 専門的な知見を踏まえた計画づくり

本種をはじめとする特定外来生物は、根絶させない限り残存個体が繁殖を繰り返すため、被害が拡大して防除が長期化し、根絶困難となる可能性が高くなります。本種は生態的にも未解明な部分が多く、薬剤をはじめとする防除手法も開発途上です。人々の愛着が強いサクラへの対策は難しい面もあります。

こうしたことを踏まえると、防除計画の作成は、研究者の意見や先行して対策を講じている自治体の実績など、専門的な知見を取り入れて行うことが望まれます。

② 民間企業や地域住民との協力・連携

本種の被害が企業敷地などの民有地で発生している場合は、当該施設や土地の所有者に協力を求める必要があります。本種は飛翔によって離れた場所へも拡散するため、被害の拡大状況などを確認するためには、なるべく多くの「眼」で地域を見ていくことが必要です。

このため、本種の防除は行政だけで担うのではなく、企業などの各種事業者、地域の自然や昆虫などの愛好家グループ、一般市民などの理解と協力を得て、早い段階から地域一体で取り組んでいくことが有効であり、計画に盛り込んでいくことが望まれます。

こうした一連の取組を円滑に進めるためには、適切な調査の実施と結果の公表、対策の必要性の説明と市民との意見交換などの手続きを、丁寧に行っていくことが求められます。

③ 初期対策の重要性と防除事業の継続

外来生物の防除は何より初期対策が重要です。埼玉県南東部にある草加市葛西用水のサクラ並木では、市民団体が最初に発見して以降懸命な防除が行われた結果、数本は伐採となったものの、多くのサクラを残すことができました。

また、外来生物の防除は少なくとも数年間は続くことを念頭に置いておく必要があります。防除事業の効果をモニタリングし、対策の修正に反映させていきます。

STEP 3

防除の実施

被害木が発見された場合の防除の具体的な作業方法等を解説します。

ア. 薬剤（農薬）

現時点で本種に使用可能な農薬には、幼虫を殺虫するものと成虫を殺虫するものの2種類があります。農薬取締法により、使用する作物（樹種）毎に対象害虫として本種またはカミキリムシ類が登録されているものしか使用できないため、使用にあたっては必ず登録内容（※）を確認してください。

※農薬登録情報提供システム

<https://pesticide.maff.go.jp>

使用可能な農薬一覧（1）（2024年3月現在）

<フラス排出孔に注入する農薬>

農薬名 （農薬の種類）	作物名	希釈倍数	仕様液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の総使用回数
園芸用キンチョールE （ペルメトリンエアゾル）	さくら	—	—	—	—	【専用ノズルつけかえ方式】容器のボタンを引き抜き、専用ノズルにつけかえ、食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射する。	幼虫	—
	さくら	—	—	—	—	【2ウェイノズル方式】折り畳まれた専用ノズルを引き上げ、食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射する。	幼虫	—
マツグリーン液剤2 （アセタミプリド液剤）	さくら	50倍	—	発生初期	5回以内	食入孔に注入	幼虫	5回以内（樹幹注入は1回以内）
バイオセーフ （スタイナーネマ カーボカブサエ剤）	もも	2500万頭 （約10g）/2.5L	2.5L	幼虫発生期	—	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫	—
	うめ	2500万頭 （約10g）/2.5L	2.5L	幼虫発生期	—	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫	—
	食用さくら （葉）	2500万頭 （約10g）/2.5L	2.5L	幼虫発生期	—	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫	—
	さくら	2500万頭 （約10g）/2.5L	2.5L	幼虫発生期	—	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫	—
アクセルフロアブル （メタフルミゾン水和剤）	さくら	100倍	—	—	6回以内	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫	6回以内
ロビンフッド （フェンプロパトリンエアゾル）	さくら	—	—	成虫発生初期	6回以内	噴射	幼虫	6回以内
ベニカカミキリムシエアゾール （フェンプロパトリンエアゾル）	さくら	—	—	成虫発生初期	6回以内	噴射	成虫	6回以内

使用可能な農薬一覧（２）（2024 年 3 月現在）

<樹体に穴をあけて注入する農薬>

農薬名 (農薬の種類)	作物名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の総使用回数
アトラック液剤 (チアメキシム液剤)	さくら	100倍	胸高直径(樹幹部)、6～10cm 30ml、11～15cm 60ml、16～20cm 90ml、21～25cm 120ml、26～30cm 180ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30～60mlを増量する	—	6回以内	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫	6回以内
ワッドスター (ジノテフラン液剤)	さくら	—	注入部直径 6cm～10cm : 8～12ml、 10cm～20cm : 12～24ml、 20cm～30cm : 24～36ml、 30cm～40cm : 36～48ml、 40cm～50cm : 48～60ml、 50cm～60cm : 60～72ml、 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	新葉展開後～落葉前まで	3回以内	樹幹注入	幼虫	5回以内
ワバイブ (四マメクチン安息香酸塩液剤)	さくら	—	樹幹部の胸高直径が6～10cmの場合は30ml、11～15cmの場合は60ml、16～20cmの場合は90ml、21～25cmの場合は120ml、26～30cmの場合は150ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30mlを増量する。	発生前～発生期	1回	樹幹部に注入孔をあけ、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	幼虫	1回

<幹やその分枝に巻き付ける農薬>

農薬名 (農薬の種類)	作物名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の総使用回数
バイオリサ・カミキリ (ボーベリア ブロンニア ディ剤)	さくら 食用さくら (葉)	—	1樹当り1本	成虫発生初期	—	主幹又は主幹の分枝部分に巻き付ける。	成虫	—

用可能な農薬一覧（3）（2024年3月現在）

<樹体に散布する農薬(1)>

農薬名 (農薬の種類)	作物名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の総使用回数
住化スミチオン乳剤□ 日産スミチオン乳剤 ホクコースミチオン乳剤 日農スミチオン乳剤 田ヶイリスミチオン乳剤 アリスミチオン乳剤 一農スミチオン乳剤 理研スミチオン乳剤 緑化用スミチオン 家庭園芸用スミチオン乳剤 協友スミチオン乳剤 ホクサンスミチオン乳剤 (MEP乳剤)	もも	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生初期 但し、収穫3日 前まで	6回以内	散布	成虫	6回以内(樹幹処 理は1回以内)
	うめ	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生初期 但し、収穫14日 前まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	さくら	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
カルロス乳剤 (イソキサチオン乳剤)	さくら	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
オリオン水和剤40 (アラニカルブ水和剤)	もも	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生期但 し、収穫14日 前まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	ネクタリン	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生期但 し、収穫21日 前まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	小粒核果類 (うめを除く)	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生期但 し、収穫7日 前まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	うめ	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生期但 し、収穫7日 前まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	さくら	1000倍	200～ 700L/10a	成虫発生期	5回以内	散布	成虫	5回以内
アクタラ顆粒水溶剤 (チアメトキサム水溶剤)	もも	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	ネクタリン	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	おうとう	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	小粒核果類 (うめを除く)	2000倍	200～ 700L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	うめ	2000倍	200～ 700L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
ダントツ水溶剤 (クロチアニジン水溶剤)	もも	2000倍	200～ 700L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	うめ	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	すもも	2000倍	200～ 700L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	さくら	2000倍	200～ 700L/10a	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
マツグリーン液剤2 (アセタミプリド液剤)	さくら	200倍	200～700L/10a	成虫発生初期	5回以内	散布	成虫	5回以内(樹幹注 入は1回以内)
		20倍	20～70L/10a	成虫発生初期	5回以内	樹幹散布	成虫	5回以内(樹幹注 入は1回以内)
アクセルフロアブル (メタフルミゾン水和剤)	うめ	1000倍	200～ 700L/10a□	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	さくら	1000倍	200～ 700L/10a□	成虫発生直前 ～成虫発生期	6回以内	散布	成虫	6回以内
		200倍	5～200L/10a	成虫発生直前 ～成虫発生期	6回以内	主幹から株元に散布	成虫	6回以内
モスピラン顆粒水溶剤 日農モスピラン顆粒水溶 剤 (アセタミプリド水溶剤)	もも	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	小粒核果類 (うめ、すもも を除く)	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	うめ	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	すもも	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	おうとう	2000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	1回	散布	成虫	1回
	さくら	2000倍	200～ 700L/10a	発生初期	5回以内	散布	成虫	5回以内(樹幹注 入は1回以内)

使用可能な農薬一覧（４）（2024年3月現在）

＜樹体に散布する農薬(2)＞

農薬名 (農薬の種類)	作物名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の総使用回数
トルネードエースDF MICトルネードエースDF クミアイトルネードエースDF 丸和トルネードエースDF ファイントリムDF (インドキサカルブ水和剤)	さくら	1000倍	200～500L/10a	成虫発生初期	4回以内	散布	成虫	4回以内
クマイスプラサイド水和剤 JAスプラサイド水和剤 (DMTP水和剤)	もも	1500倍	200～700L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	成虫	4回以内(200倍希釈散布は2回以内、1500～2000倍希釈散布は2回以内)
	うめ	1500倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	すもも	1500倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
スプラサイドM (DMTP乳剤)	もも	200倍	100～180L/10a	収穫60日前まで	2回以内	樹幹部及び主枝に散布	成虫	4回以内(200倍希釈散布は2回以内、1500～2000倍希釈散布は2回以内)
円ッパン液剤 (シクラニプロロール液剤)	もも	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	小粒核果類	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	おうとう	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
ベニカXネクストスプレー (還元澱粉糖化物・クロチアニジン・ピリダリル・ペルメトリン・マンデストロビン水和剤)	さくら	原液	－	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
ダブルトリガー液剤 (シクラニプロロール液剤)	さくら	2000倍	200～700L/10a	発生初期	2回以内	散布	成虫	2回以内
日農ハチハチフロアブル (トルフェンピラド水和剤)	もも ネクタリン	1000倍	200～700L/10a	成虫発生期 但し、収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
ハチハチフロアブル (トルフェンピラド水和剤)	もも ネクタリン	1000倍	200～700L/10a	成虫発生期 但し、収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
ベニカ水溶剤 (クロチアニジン水溶剤)	もも	2000倍	200～700ml/m ²	収穫7日前まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	うめ	2000倍	200～700ml/m ²	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	さくら	2000倍	200～700ml/m ²	成虫発生初期	3回以内	散布	成虫	3回以内
協友ダントツ水溶剤 (クロチアニジン水溶剤)	もも	2000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	うめ	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	すもも	2000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	成虫	3回以内
	さくら	2000倍	200～700L/10a	成虫発生初期	5回以内	散布	成虫	6回以内
ファイントリムDF (インドキサカルブ水和剤)	さくら	1000倍	200～500L/10a	成虫発生初期	4回以内	散布	成虫	4回以内

使用可能な農薬一覧（５）（2024年3月現在）

<樹体に散布する農薬(3)>

農薬名 (農薬の種類)	作物名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の総使用回数
アグロスリン水和剤 クミアイアグロスリン水和剤 日農アグロスリン水和剤 (シベルメトリン水和剤)	もも	1000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	成虫	5回以内
	すもも	1000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
	ネクタリン	1000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	成虫	2回以内
ケムシジェット (クロラントラニプロール・ ピフェントリンエアゾル)	さくら	-	-	-	6回以内	噴霧液が均一に付着するように50cm以上離れた所から数回断続して噴射する。	成虫	6回以内

<伐倒木・枯損木をくん蒸する農薬>

農薬名 (農薬の種類)	作物名	希釈倍数	くん蒸時間	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の総使用回数
キルパー40 (カーバマナトリウム塩液剤)	もも (伐倒木) もも (枯損木) うめ (伐倒木) うめ (枯損木) すもも (伐倒木) すもも (枯損木) さくら (伐倒木) さくら (枯損木)	被覆内容積1m3 当り原液750～ 1500ml	被覆内容積 1m3当り原液 750～1500ml	-	1回	加害された伐倒木を集積したものまたは枯損木に、所定量を散布し、直ちにビニールシート等で密閉し、所定期間くん蒸する。	幼虫	1回
ヤシマNCS (カーバム剤)	うめ (伐倒木) さくら (伐倒木) すもも (伐倒木) もも (伐倒木)	被覆内容積1m3 当り原液1.0L	14日以上	-	1回	加害された伐倒木を配置し本剤を散布し、直ちにビニール等で密閉し、くん蒸する。	幼虫	1回
NCS (カーバム剤)	うめ (伐倒木) さくら (伐倒木) すもも (伐倒木) もも (伐倒木)	被覆内容積1m3 当り原液1.0L	14日以上	-	1回	加害された伐倒木を配置し本剤を散布し、直ちにビニール等で密閉し、くん蒸する。	幼虫	1回

【薬剤による幼虫の防除①】 排糞孔に注入するエアゾール式タイプ

フラスの出ている穴（排糞孔）の中に薬剤を注入し、穴の中にいる幼虫を駆除します。1 本の木に対して排糞孔の数が 5 箇所未満の、被害が小さい場合の防除法として効果的です。

【使用時期】

幼虫の活動期（概ね 4 月～10 月）

【使用道具】

千枚通し（針金）、ブラシ、カラーピン、ゴーグル、マスク、ゴム手袋

【使用方法・手順】

① フラスの出ている排糞孔を探す

フラスの出ている箇所をブラシで取り除きながら、排糞孔を探し出します。排糞孔が見つからない場合は、樹皮を叩いた音の違い（坑道の有無で音がかわります）や、フラスを全て取り除いて、数日後に新たなフラスが排出されていれば、それを手掛かりに見つけ出せることがあります。また、幹から離れた地面にフラスが見られる場合には、その直上の枝に排糞孔がある可能性が高いと考えられます。

② 排糞孔の中のフラスを掻き出す

排糞孔に詰まっているフラスを、千枚通しや針金などを使って掻き出します。また、穴がどの方向に延びているかを確認します。

③ ノズルを排糞孔に差し込み、薬剤を注入する

排糞孔にノズルを差し込んで薬剤を注入します。その際、ノズルの目詰まりを防ぐため、薬剤を噴射しながら排糞孔に注入します。

④ 薬剤が逆流して溢れるまで注入する

薬剤が坑道内に満ちて、排糞孔から逆流するまで注入し続けます。注入後には経過観察が行えるよう排糞孔の近くに目印となるピンを刺しておきます。

⑤ フラスを除去しその後の経過観察に備える

注入後の経過観察を容易にするため、溜まったフラスは取り除くか踏みつぶします。概ね 1 週間後に、薬剤を注入した孔からフラスが出ていないかを確認し、もしフラスが見つければ駆除ができていないため、再び薬剤注入を行います。この際、農薬ごとに定められた使用回数を守って下さい。また、幼虫は一時的にフラスを出さないこともあるため、数週間は点検する必要があります。



【薬剤による幼虫の防除②】 樹幹に注入するタイプ

薬剤を樹幹に注入することで樹全体に薬剤が染み渡り、幼虫が薬剤を含んだ木質部を食べることで死亡します。薬剤は注入した穴から上に吸い上げられるため、穴の下側には行き渡りません。よって、できるだけ地際に施用するのがポイントです。

【使用時期】

幼虫の活動期内（概ね 4 月～5 月、8 月～9 月頃）

【使用道具】

巻尺、電動ドリル、薬剤注入器、樹木用の傷口癒合剤、ゴーグル、マスク、ゴム手袋

【使用方法・手順】（例：ウッドスターでの参考例）

① 穴をあける位置を決める

穴は 10cm 置きに 1 つあけるため、10cm 間隔に印をつけたテープや巻尺を幹に巻いて穴をあける位置を決めます（写真①は印をつけたテープを使用）。

② 電動ドリルで穴をあける

10cm 間隔で穴をあけていきます。穴は直径 7mm か 10mm のドリルを使い、斜め下方向に約 45°の角度をつけて 6～7cm の深さであけます。深さの目安として樹皮下の心材（白い部分）が出てきた所でドリルを抜きます。この際、腐朽した部分は薬液の浸透が悪いので避けて下さい。また、2 回目以降の使用に際しては、前回あけた穴の位置とずらして下さい。

③ 穴は上下にずらしてあける

穴の位置は横一列ではなく、テープや巻尺の上下交互になるようにあけていきます。これは穴をあけることによる樹木のダメージを少しでも軽減するための措置です。

④ 薬剤を注入する

注入器を使って 1 つの穴に 4ml の薬剤を注入します。

⑤ 穴を塞ぐ

薬剤を注入後に、薬剤が樹体内に浸透したことを確認し、穴を樹木用の癒合剤（商品名：カットパスターなど）で塞ぎます。1 つの穴に使う癒合剤の量は、指でビー玉程度に丸めた大きさになります。



【薬剤による成虫の防除①】 幹に巻くタイプ

自然界に生息する昆虫病原性糸状菌「ボーベリア ブロンニアティ (*Beauveria brongniartii*)」を利用したものです。シート状のパルプ不織布に糸状菌が付着しており、昆虫がこのシートに接触すると菌に感染し、10 日間ほどで死に至ります。ゴム手袋、ゴーグル、マスク、壁打ち用ステープラーを用意します。

【使用時期】

成虫の発生前から発生期（概ね 5 月～8 月頃）

【使用方法】

① 幹に巻きつける

ゴム手袋、ゴーグル、マスクを着用し、シートの粉状の菌が付着している面を表にして、本種が接触する可能性のある主幹または分枝部に巻き付けます。

② シートを幹に固定します

壁打ち用ステープラーでシートを幹や枝に打ち付け固定します。

③ シートの回収

自然分解するため回収しなくても環境上の問題はありませんが、景観等への配慮のため、使用後はできるだけ撤去するものとします。

* 薬剤の有効期間は 30 日間とされているが、高温乾燥や多雨、直射日光、ナメクジ類の食害などにより短くなることがあります

<ネット巻きとの併用>

○ネット巻き（p.33、p.34）と併用する場合、成虫をネット内に留めて効率良く菌に感染させたり、ネットの隙間から脱出する成虫を感染させたりするため、ネット上部にシートを巻きつける方法等があります。



設置イメージ（左）と菌に感染し致死したクビアカツヤカミキリ（右）

提供：国立研究開発法人 森林研究・整備機構

【薬剤による成虫の防除②】 樹に散布するタイプ

成虫の発生時期に農薬を樹に散布して成虫を駆除します。特に初めて使用する際には、農薬を取り扱う行政関係機関の指導を受けることが望めます。

ゴム手袋、ゴーグル、マスク、防除衣（雨合羽など）、バケツ、噴霧器を用意します。

【使用時期】

成虫の発生期（概ね 6 月～8 月頃）

【使用方法】

① 薬液を調整する

農薬ごとに定められた希釈倍数に薬液を調整します。

② 農薬を樹に散布する

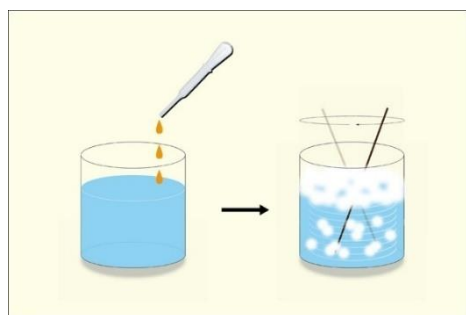
ゴム手袋、ゴーグル、マスク、防除衣を着用し、希釈した農薬を樹木に丁寧に散布します。散布量、回数は農薬の各種類の基準に従ってください。

＜散布する上での注意＞

○道路や公園等で使用する場合には、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に、子供や散布に関係のない人が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや立札などをするなどして、人畜に被害を及ぼさないよう十分に注意を払う必要があります。

○樹木散布の農薬は害虫から樹木を守る反面、人体への影響が課題となっており、特に成長過程にある子供への影響は大人よりも大きいとされています。東京都では樹木散布の指針となる『化学物質の子どもガイドライン【殺虫剤樹木散布編】』を公表しているので、参考にしてください。

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/chemical/chemical/kids/index.html>



農薬を調整する
（農薬毎に定める希釈倍数を守る）



（防除服等を着用する）

イ. ネット巻き

ネット巻きは、被害の出ている幹や枝の周囲をネットで覆うことにより、羽化した成虫の飛翔・拡散を防止するとともに、効果的に捕殺することを目的として行います。

ネット巻き実施後は、成虫の発生状況の監視を頻繁に行い、成虫が確認された場合には、その場で速やかに捕殺します。

【使用時期】

成虫が発生・拡散する 6 月頃から 8 月頃にかけて必要となるため、羽化が始まる前の 5 月下旬までに設置します。

成虫の発生終了後は、幼虫防除のための薬剤の使用や経過観察などの支障となるだけでなく、景観上も好ましくないため、9 月中までには、必ず忘れずに外すようにします。

必要な道具

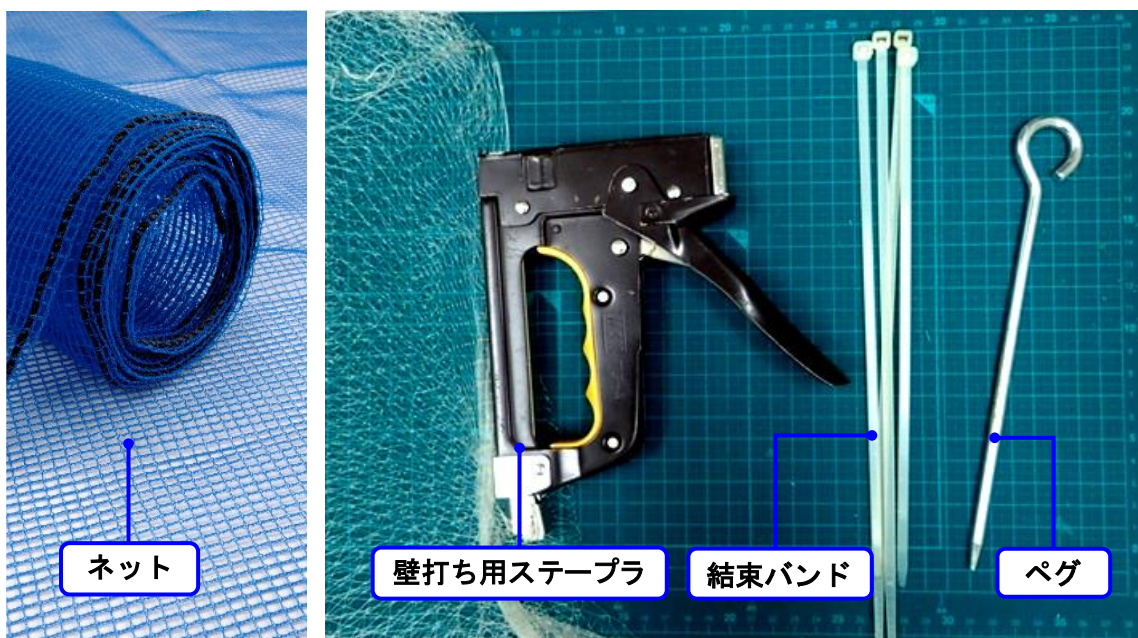
○ネット（ナイロンなどの素材、目合い 4～5mm 程度）

ネットの色は、黒色が見やすいという報告もあり、景観面なども考慮して総合的に検討する。

○結束バンド

○壁打ち用ステープラー

○ペグ など



【使用方法】

① ネットを巻いて固定する

フラスが確認されている幹や枝に巻き付けます。できるだけ高い位置まで設置するのが望ましいですが、作業上の限界もあるため、フラスの確認状況等も勘案します。

閉じ込められた成虫は、脱出しようとネットの中を徘徊しますが、ネットと樹の間に隙間がなく窮屈だとネットを食い破って逃げ出すため、ネット内で本種が動けるくらいの余裕を持たせながら 2 周程度（頻繁に点検する場合は1周も可）巻きます。幹や枝が二股になっている箇所は、股の間にもネットを被せます。1枚のネットで覆いきれない場合は、結束バンドなどを使って隙間なくネットをつなぎます。

② 上下の隙間をふさぐ

ネットの上部を、結束バンドや壁打ち用ステーブラーなどで隙間ができないように固定し、細かい隙間は布やスポンジなどの詰め物でふさぎます。ネットの下部（足元）も、ペグなどを使いながら、隙間ができないように固定します。

③ 巡回点検する

ネットを張った後は 1 日に 1 回～2 回程度（最低でも週 3 日）巡回し、発見次第、速やかに捕殺して下さい。ネット内で雌雄が出会うとすぐに交尾の可能性が高く、放置していると大量の卵が産み付けられてしまうため、巡回と捕殺は非常に重要です。

（ネット巻きのポイント）



提供：埼玉県生態系保護協会 草加・八潮支部

ウ. 捕殺・刺殺

成虫と幼虫を直接駆除する方法です。

数百の卵を持ったメスの成虫を1個体でも捕殺できれば、それだけ被害の拡散を抑止できるため、成虫の捕殺は後述するように多くの地域の方の協力を得ながら実施することが望ましい手法です。

一方、幼虫の直接的な駆除は非常に困難で、労力に対する効果は限定的といえます。

【実施時期】

成虫の捕殺：成虫の発生期（概ね6月～8月）

幼虫の刺殺：幼虫の活動期（概ね4月～10月）

【実施手順】

成虫の捕殺は、被害状況調査やネット巻き箇所巡回などにおいて成虫を見つけた場合に、その場で踏みつぶすなどの方法で行います。

幼虫の刺殺は、フラスが出ている排糞孔に針金を差し込み、幼虫を突き刺して殺す方法です。効果を上げるためには、フラスを排出している排糞孔を漏らさず実施する必要がありますが、排糞孔の奥が曲がりくねっている場合などに針金が幼虫まで届かないことも多く、他の手法と比べた場合、防除の効果は低くなります。また、孔道に沿って樹皮を剥いで目視で刺す方法もありますが、その場合は剥いだ部分に癒合材を塗布するとよいです。



針金による幼虫の刺殺



排糞孔から上方に延びる幼虫の食べ跡の例
(写真は樹皮を剥いで撮影)

工．伐採・抜根

伐採は、伐採木の中に生息する全ての幼虫や蛹を駆除して被害の継続や拡大を防止するとともに、倒木や落枝による被害も防止できる、最も効果的な防除法です。

伐採後の幹や枝は、放置すると内部で幼虫が成長して羽化・脱出する可能性があるため、必ず全量を焼却処分や微細にチップ化するなどして処分します。

【実施時期】

伐採後に運搬・保管している幹や枝から成虫が発生して拡散するのを避けるため、原則として成虫が発生しない9月から翌4月までの間に行います。

【実施手順】

① 伐採

基本的には地上部を全て伐採します。被害木の大半が無傷で、枝の一部だけが被害を受けている場合には、被害を受けた枝のみを切り落として処分する場合があります。なお、大枝を切り落とした場合、樹木本体の断面に殺菌予防促進剤等を塗ることで、切り落とした枝の部分から樹木が腐朽するのを防ぐことができます。

② 切株の処理

幼虫は幹や枝だけでなく根の部分にも入り込みます。伐採した後の切株から成虫が発生する可能性もあるため、伐採後は極力抜根します。

抜根が困難な場合には、切株から成虫が脱出して拡散しないように、切株全体をモルタルやコーキング剤などで被覆するか、成虫にかみ切られないよう厚手や多重にしたビニールシートなどで覆います（※）。

※成虫が脱出する隙間が空かないように、シートの端を盛土で埋設する等、しっかりふさぐ必要があります。



幹や枝の伐採



塗布処理した切株

提供：国立研究法人 森林研究・整備機構

幼虫・成虫別の防除方法

区分	薬剤（農薬）	ネット巻き	捕殺・刺殺	伐採・伐根
幼虫 	○ (エアゾール方式) (樹幹注入方式)	—	○	○ (前蛹も含む)
成虫 	○ (幹巻き方式) (幹散布方式)	○	○	—

③ 伐採木の処分

処分方法には、燻蒸などの方法もありますが、ここでは一般的な焼却と粉碎（チップ化）における注意事項を記載します。

○焼却における注意事項

搬入先の焼却施設毎に、受け入れ可能な幹や枝などの大きさが異なるため、事前に確認するようにしてください。

○チップ化における注意事項

木片内部の幼虫等を完全に処分するため、長辺 2 cm 以下又は繊維状になるよう、細かく裁断してください。

④ 処分のための運搬及び一時保管

特定外来生物を生きたまま運搬又は保管することは原則禁止ですが、クビアカツヤカミキリに関しては p.39 の環境省通知のとおり、殺処分を目的とした運搬及び一時保管であって一定の要件の下で行われる場合に限り、外来生物法の「運搬」及び「保管」には該当しないとものとする運用が特例として認められています。実施に当たっては、関係者や近隣への事前周知（現地での掲示）、適切な逸出防止措置など、環境省通知の主旨を踏まえた対応をお願いします。

この特例は個人や NPO、企業等が行う行為にも適用されますので、各自治体においては、こうした個人等が行う運搬等については自治体への事前報告を求めるなど、状況に応じた適切な対応をお願いします。

次ページに、運搬および一時保管を行う際の注意事項を整理しました。



伐採した被害木の搬出作業



搬出した被害木のチップ化作業

提供：あきる野市環境政策課

＜運搬における注意事項＞

○9月～翌4月（通常期）

伐採木を焼却施設の受け入れ可能な大きさに切り、目視で確認できる個体は殺処分します。切った伐採木をトラック等に積み込み、枝などが落下しないように網やビニールシートで覆いを掛けて運搬し、速やかに焼却施設で焼却します。

○5月～8月（成虫の発生期及びその前期）

倒木等の危険性等からやむを得ずこの時期に伐採する場合は、受け入れ可能な大きさに切ったものを、1個ずつ網またはビニールシートで隙間の無いように多重巻に梱包します。トラック等で運搬する際には、梱包した伐採木が落下しないように網やビニールシートで覆いを掛けます。焼却は梱包した状態のまま速やかに行います。

＜一時保管（※）における注意事項＞

○9月～翌4月（通常期）

目視で確認できる個体を殺処分した後、枝などが飛散しないように全ての伐採木に網やビニールシートで隙間なく覆いを掛けます。

○5月～8月（成虫の発生期及びその前期）

伐採木全体を網で隙間の無いように覆い、網の端は成虫が脱出する隙間が空かないように盛土で埋設するなどしてしっかりと塞ぎます。枝などは切断して1箇所に集めて同様の措置をします。1～2日ごとに見まわって見つけた成虫は捕殺します。

※一時保管は第三者が容易に持ち出せないように管理する必要があります。

◆参考資料

○特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律施行規則第二条第十五号の規定に基づく環境大臣が定める動物及び運搬に係る要件

(令和五年三月三十一日)

(環境省告示第三十二号)

改正 令和 五年 九月 一日環境省告示第六五号

1 環境大臣が定める動物

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律施行令(平成十七年政令第百六十九号。以下「施行令」という。)別表第一に掲げるかみきりむし科に属する生物(*Anoplophora glabripennis*(ツヤハダゴマダラカミキリ)を除く。)

2 環境大臣が定める運搬に係る要件

一 1に掲げる動物の個体の拡散を防ぎ、及び確実に全ての個体の殺処分をすることを目的として、当該生物の個体が付着し、又は混入した樹木の焼却又は粉碎及びくん蒸を実施する場所に運搬するものであること。

二 樹木の側面に付着している等その場で殺処分をすることが可能な当該生物の個体については、殺処分を行った上で運搬すること。

三 当該生物の個体が付着し、又は混入しているおそれのある樹木等が運搬中に落下し、又は飛散すること及び当該生物の個体が運搬中野外へ逸出することを確実に防止するための措置がとられていること。

四 防除(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(平成十六年法律第七十八号)第三章の規定による防除に該当しない防除であって、地域のボランティアによる防除等小規模な防除に限る。以下同じ。)を行う者が、あらかじめ当該防除に関する次の事項を掲示板、インターネット等を使用する方法により公表し、かつ当該事項に従って当該防除を行うときに、当該防除の一環として当該生物を運搬していること(農業若しくは水産業を営むに当たって行う場合又は森林の経営管理に当たって行う場合は除く。))。

イ 当該防除が1に掲げる動物の防除に該当すること。

ロ 当該防除を実施する者

ハ 当該防除の実施日時及び実施場所

ニ 逸出防止措置を含めた運搬方法

(参考) 環境省ホームページ

https://www.env.go.jp/nature/intro/1law/files/youken_2j15g_kankyo.pdf

STEP 4

経過観察とモニタリング調査の実施

本種の防除は、1回の作業や1シーズンで終わるとは限りません。

防除後にフラスの排出が認められれば、引き続き対策を行う必要がありますし、本種の被害が確認されたということは、少なくとも前年には成虫が産卵しているということです。1個体のメスは数百卵を産卵するため、周辺でも被害が発生している可能性があります。

このため、本種の被害を最小限で食い止め根絶を図るためには、少なくとも2～3年間は防除後の経過観察と周辺のモニタリング調査を行う必要があります。

① 被害木の経過観察

幼虫の排糞孔に薬剤注入を行っても、薬剤が幼虫に届かなければ効果はありません。残存個体がいれば新たなフラスが確認されますし、幼虫の出現時期や活動時期には個体差があるため、一度点検したときに確認されたフラスの排出場所とは別の場所から、後になってフラスが排出されているケースもあります。

したがって、被害木の中にいる幼虫を根絶させるためには、防除後に計画的な経過観察を行い、フラスの排出がなくなるまで防除を継続しなくてはなりません。

② 周辺部のモニタリング

本種の被害が確認された地域では、本種被害が周辺に拡大していないかを確認・監視するため、モニタリング調査を実施します。

具体的な調査は、p.17に示した「早期発見のための情報収集」などを基本としますが、既に本種の侵入が確認されている地域であるため、本種の生活史を考えれば少なくとも2年間はフラスの排出や成虫の発生を確認し続ける必要があります。

また、年1回の点検だけでは、天候の影響や幼虫の活動が弱かった時期などでフラスを見落とすリスクが高いことや、9月頃から今年産卵されて孵化した幼虫のフラスが確認されてくることを考慮すると、既に本種が侵入している地域では6月～7月と8月下旬～9月の2回点検することが望めます。

Ⅳ 情報発信・普及啓発・補助金制度

本種の被害は、民有地である果樹園のモモ、寺院や学校・工場のサクラ、庭木のウメなどでも多くの被害が確認されており、公共施設だけでなく、民間施設（敷地）の所有者の方にも、適切な点検・防除をお願いしていく必要があります。

一方、公園の利用者や環境関連の団体、昆虫や植物の愛好家などの協力を得ることができれば、地域の被害発生情報の早期把握や成虫の捕殺などに非常に大きな力となります。

これらの行政以外の方々にも本種の防除の必要性を理解してもらい、協力を得ていくためには、適切な情報提供と呼びかけが重要です。

（１）広報紙やホームページ、掲示、回覧等の活用

本種に関する注意喚起や協力依頼は広く一般に周知することが必要なため、区市報等の広報紙やホームページ、公共施設への掲示、チラシ等の回覧・配布などにより実施します。また、被害地域だけではなく、被害が確認されていない地域においても、被害の早期発見のためには、情報の発信が重要です。

広報の時期は、幼虫の活動が活発化してフラスが排出されはじめるとともに、成虫が発生する時期の前にあたる５月頃に実施することが効果的です。



クビアカツヤカミキリは、樹木に寄生し、幼虫が内部を食い荒らすことで枯死させてしまう恐れのある特定外来生物です。市内で生息が確認され、対策を進めています。クビアカツヤカミキリの分布拡大を防ぐため、幼虫に寄生されていると思われる樹木や成虫を発見した方は、ご連絡ください。また、捕獲した場合は、その場で処分をお願いします。

▽成虫の特徴 体長2.5センチ、4.0センチ、全体的に光沢のある黒色で、胸部（首）のみ赤色です。6月下旬から8月上旬まで飛翔します。

▽寄生された樹木の特徴 主にサクラやモモです。幼虫に内部を食い荒らされ、木くずとふんの混ざったもの（フラス）が根元にたまっています。

▽連絡先 環境政策課環境政策係（☎595・1110）



クビアカツヤカミキリを探しています

市報による情報発信の事例

出典：広報あきる野
(2018年6月1日)

目黒自然図鑑 76

地球のいのち、つないでいこう

ささえあう生命の輪 目黒区生物多様性

シジュウカラさんとガマ博士が語るみどりと生き物たち

花見が危ない!?
サクラを脅かす外来種

クビアカツヤカミキリ
(体長22~38mm)



外は暖かくなってきたし、そろそろ花見の季節だねガマ博士



そうじゃの。ただ、近年サクラを脅かす外来種が話題になっておるんじゃ

そんな生き物がいるの!?

クビアカツヤカミキリという昆虫じゃ。こやつはサクラの木に寄生し、内部を食い荒らして枯れ死させてしまうんじゃ。樹木の周りに、フラスという木のくずとふんの混合物が落ちてるのが目印じゃ。もっとも、目黒区ではまだ目撃情報は無いがの



みんなも見つけたら連絡してね

樹木周りに落ちていたフラス
(東京都環境局提供)



いきもの
情報募集

ウグイスの初音、タンポポの開花、春先に観測できる生き物の情報をお寄せいただいたかたに、生き物情報をまとめた「自然通信員だより」をお送りします。ハガキ・FAX・Eメールに、住所、氏名、生き物の種名、観察場所、日付を書いて、みどり土木政策課みどりの係（〒153-8573目黒区役所〈住所不要〉、☎5722-9359、☎3792-2112、✉sizen@city.meguro.tokyo.jp）へ

被害未確認地域における 情報発信の事例

出典：めぐろ区報
(2021年2月25日)

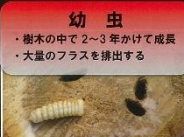
【特定外来生物】
クビアカツヤカミキリ
 見つけたら駆除と連絡を！

クビアカツヤカミキリは、サクラ、ウメ、モモ、スモモ等に寄生し、
 幼虫が内部を食い荒らすことで樹木を枯らす、外来種の昆虫です。



成虫

- ・6月～7月に発生
- ・体長2.5～4cm（触角は含まず）
- ・全体的に光沢のある黒色で、クビ（胸部）が赤い



幼虫

- ・樹木の中で2～3年かけて成長
- ・大量のフラスを排出する



かりんとう状のフラス



樹の根元にたまったフラス

フラス

- ・5月～9月に発生
- ・幼虫のフンと木くずが混ざったもの
- ・かりんとう状になっている
- ・木の根元や枝の分かれ目にたまる
- ・幹や枝から垂れ下がっている場合もある

クビアカツヤカミキリに寄生されると・・・

- ・樹木の内部を幼虫に食害され、枯死する可能性があります。
- ・サクラが枯死すると景観が悪化し、お花見が楽しめなくなります。
- ・ウメやモモなどへの農業被害をもたらします。
- ・枝の落下、倒木による二次被害が発生する可能性があります。
- ・在来種より繁殖力が強いので、生態系に影響を及ぼす可能性があります。

もし、成虫やフラスを見つけたら？

成虫を見つけたら

- ・踏み潰す、殺虫剤をかける等の駆除をお願いします。
- ・発見場所、発見日、発見時の状況等をご連絡ください。
- ・死んでいる個体であっても、見つけた場合はご連絡ください。

フラスを見つけたら

- ・発見場所、発見日、発見時の状況、フラスが出ている樹種等をご連絡ください。
- ・自宅の庭などにある樹木からフラスが発生している場合、後日、市職員が訪問しますので、ご協力をお願いします。
- ・見つけたフラスは確認のため、そのままにしておいてください。

特定外来生物とは
 外来生物法に基づき、飼育、保管、輸入、販売、譲り渡し、野外へ放つこと等が禁止されている動物です。違反すると罰金または懲役が科されることがあります。

【あきる野市で駆除を行っている特定外来生物】
 等間定からアライグマ、オオキンケイギク、アレチウリ、見つけたらご連絡ください。

あきる野市ポスター

クビアカツヤカミキリ
 ヤクアラあき～し！

東京侵略中

ワレワレのプロフィール

- 中国・ベトナム出身
- 成虫は6月から8月に出現

「黒いマフラー」を
 しているのが！

大きさ
 2～4cm

ワレワレのキカラ

2015年に東京初登場を告げ、戦々と広がっているのだから、幼虫はクビアカツヤカミキリを食べて木を喰らうのだ！

枯れた樹木等を見

クビアカの侵略をとめるために・・・

幼虫のすみかを探す！

木にすく、樹木のつぼみや葉の裏に潜り込んで卵を産む。これはフラスと違って、クビアカツヤカミキリの幼虫がいた証拠！

成虫退治！

逃げたら大変！
 その場でつぶつてしまてほしい！

「うたー！！」

クビアカツヤカミキリは罰金です！

法律で「特定外来生物」に指定されています。野生を乱すなど、飼育することが禁止されています。

成虫や、フラスを見つけたら、区市町村または東京都に連絡してください！
 クビアカの侵略をとめるためには、みんなの協力が必要です！

くわしくは、東京都ホームページを見ろのだ！ 東京都 環境局 03-5388-3548

東京都ポスター

(2) 補助金

クビアカツヤカミキリの防除は、被害木の早期伐採が効果的であるが、費用的な負担も大きい。民有地の防除を推進するためには、防除費用の助成も重要です。

あきる野市の事例では、特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害拡大を防止するため、被害木を所有、管理する方への費用の一部補助を実施しています。以下に、参考として補助の内容を紹介します。こちらは、一例ですので、詳しくは各自治体等にお問い合わせください。

あきる野市クビアカツヤカミキリ対策事業補助金のお知らせ

あきる野市では、特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害拡大を防止するため、市内に植生するクビアカツヤカミキリによる被害木又は被害にかかるおそれのある樹木を所有、管理する方が行う防除又は伐採に要する経費の一部を補助します。

※ 被害木とは、フラス（クビアカツヤカミキリの幼虫の排せつ物と木くすが混ざった物）が確認されている樹木のことを指します。

1 補助金を受けることができる方（申請者）

補助金を受けるには、次の要件を全て満たしている必要があります。

- (1) 市内の被害木又はクビアカツヤカミキリによる被害を受けるおそれがあるサクラ、ウメ、モモ（ハナモモ含む。）、スモモ等のバラ科の樹木の所有者又は管理者
- (2) 市税の未納がない方

2 補助の対象となる事業と補助金額

区分	補助対象事業	補助金額
防除	・薬剤の注入（幼虫の防除） ・粘着剤、薬剤の散布（成虫の防除） ・ネット巻き（成虫の防除）	補助対象経費の2分の1の額又は、 10万円のいずれか低い額
伐採	・伐採（ <u>被害木のみ対象</u> ） ※ 焼却処分、チップ化等による処分が必要 ※ 9月から翌年の3月までの間に行うこと	補助対象経費の2分の1の額又は、 20万円のいずれか低い額

注1 補助金の交付は、予算の範囲内で行います。

注2 補助金の額は、千円未満の端数が生じた場合は、切り捨てます。

注3 同一の対策の区分に対して1回限りとし、合計20万円を限度とします。

注4 補助対象事業は、東京都が作成するクビアカツヤカミキリ防除の手引に沿って行う対策を行う事業とします。

注5 薬剤については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）により登録されている農薬に限ります。

3 申請に当たっての注意事項

- (1) 書類の作成に当たっては、消えるボールペン、鉛筆書きによるものは不可です。
- (2) 提出された書類は、結果を問わず返却いたしません。
- (3) 補助金交付申請時において納税状況等の確認その他必要な調査のため、環境政策課から関係部署に確認を行います。

4 申請方法

事前相談を終えた後、必要な書類を全て揃え、下記提出先へご提出ください。

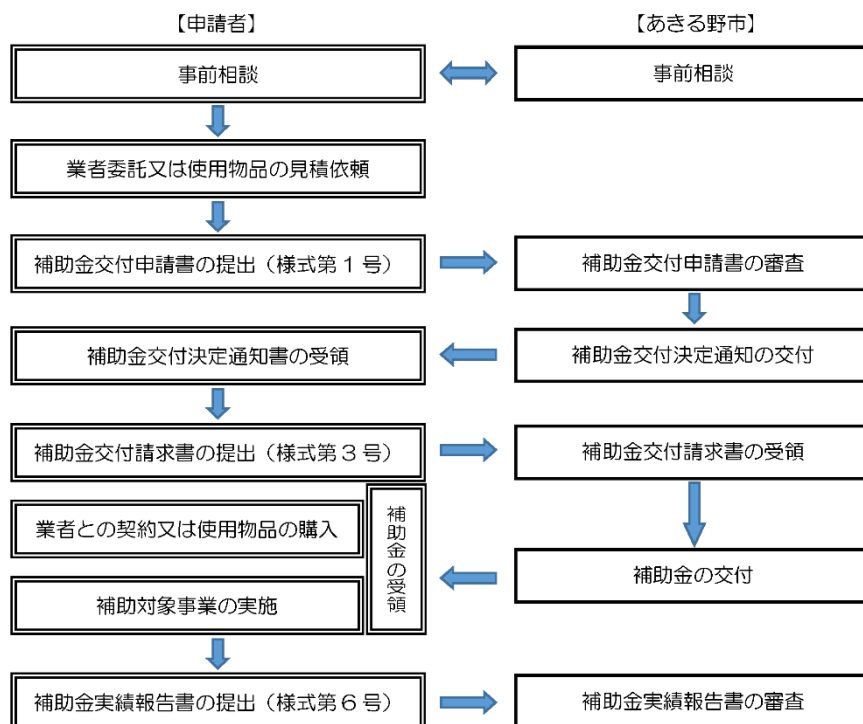
申請書等提出先

あきる野市 環境農林部 環境政策課 環境政策係

住所：あきる野市五日市4-11（五日市出張所内） ※ 8:30～17:15 土日・祝日除く

※ あきる野市役所本庁舎では受付けておりませんので、ご注意ください。

5 補助金申請から実績報告書提出までの流れ



注1 補助金の交付に関する各種様式等は、市ホームページからダウンロードできます。

注2 事前相談後、補助金交付申請書（様式第1号）と添付書類を提出してください。

注3 業者との契約又は使用物品の購入は、補助金の交付決定後に行ってください。

注4 補助金交付決定通知書を受領した後、速やかに補助金交付請求書（様式第3号）を提出してください。

注5 補助事業の内容を変更する場合は、事前に相談していただくとともに、変更等承認申請書（様式第4号）と添付書類を提出してください。

注6 補助事業完了後、速やかに補助金実績報告書（様式第6号）と添付書類を提出してください。

注7 補助対象事業は、必ず同一年度内に完了してください。

注8 補助金の交付申請、請求等に係る書類を5年間保存してください。



クビアカツヤカミキリはサクラ、ウメ、モモ、スモモ等のバラ科の樹木に寄生し、幼虫が内部を食い荒らすことで樹木を枯らす、特定外来生物に指定された外来種の昆虫です。
樹木の食害により、生態系への影響、農業への影響、倒木等による人への影響を及ぼす可能性があります。
駆除にご協力をお願いします。



問合せ先

あきる野市 五日市411（五日市出張所内）

あきる野市 環境農林部 環境政策課 環境政策係

電話：042-595-1110（直通） ※ 8:30~17:15 土日・祝日除く

参考：あきる野市 HP

クビアカツヤカミキリ対策に要する経費の一部を補助しますにアクセス
URL <https://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000015268.html>

(3) 被害発生状況の周知と市民参加による防除活動

特定外来生物の防除を行う際、風評被害やプライバシーへの配慮から、被害発生の実事の公表には慎重さが求められます。しかし近年は、積極的に情報を公開し、地域の協力を得ようとする動きが増えつつあります。

本種に関しても、一般市民や民間事業者などの関心を高め、本種の防除への協力を呼びかけるため、被害発生数や被害発生エリア等の公表をはじめとして、地元の造園会社に対する講習会の実施を行うなど、市民が情報提供や捕獲、防除活動に参加できる取組が開始されています。参考として、以下に事例を掲載します。

(4) 事例紹介

○あきる野市：特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の駆除にご協力ください

<https://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000006981.html>

○群馬県：特定外来生物クビアカツヤカミキリに注意してください

https://www.pref.gunma.jp/04/e23g_00005.html

○埼玉県環境科学国際センター：クビアカツヤカミキリ情報

<https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html>

○栃木県：クビアカツヤカミキリの被害状況等について

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/seibututayousei/kubiakatuyakamikiri.html>

○大阪府：特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」に関するお知らせ

<https://www.pref.osaka.lg.jp/midori/seibututayousei/kubiaka.html>

(参考)

都内の区市町による取組状況(2024年3月現在)

広報・チラシ等による普及啓発活動を実施している自治体数	15区 16市 1町
本種の防除活動を実施している自治体数	5区 5市

今後こうした取組を広げ、本種の対策を実施・継続していくことが重要です。

■写真提供

農林水産省横浜植物防疫所 国立研究法人 森林研究・整備機構
栃木県 茨城県 あきる野市 埼玉県生態系保護協会 草加・八潮支部
豊口信行氏

※出典および提供先の無記載写真：東京都

■参考・引用文献

- 安達辰男. 2017. 埼玉県深谷市におけるクビアカツヤカミキリ *Aromia bungii* の 2011 年以降の記録. 寄せ蛾記 167 号 (2017 年 12 月 15 日発行). 埼玉昆虫談話会
- Alerta aos produtores de madeira: focos do insecto *Aromia bungii* em Itália e Alemanha. <http://agriculturaemar.com/alerta-aos-produtores-de-madeira-focos-do-insecto-aromia-bungii-em-italia-e-alemanha/>
- 独立行政法人農林水産消費安全技術センター (FAMIC) : 農薬.
<https://www.acis.famic.go.jp/> ほか
- EPPO. 2015. *Aromia bungii*. Bulletin OEPP/EPPO Bulletin (2015) 45 (1) : 4–8.
- 原嶋守. 2018. クビアカツヤカミキリのホスト (スモモ) について. うすばしろ第 52 号. 西多摩昆虫同好会
- Jozef C. Ostojá-Starzewski (Fera). 2016. Plant Pest Factsheet Red-Necked Longhorn Beetle
Aromia bungii
<https://planthealthportal.defra.gov.uk/assets/factsheets/Aromia-bungii-Defra-PP-Factsheet-May-2017-2.pdf>
- 加賀谷悦子. 2015. 侵入害虫クビアカツヤカミキリ *Aromia bungii* とサクラの被害. 樹木医学研究第 19 巻 1 号 (2015)
- 加賀谷悦子. 2018. ついた島は宝の山ーサクラ・ウメ・モモを加害するクビアカツヤカミキリの被害と対策ー. 第 4 回さいたま生きものフォーラム「増加する外来の虫たち～現状と対策を考える」資料集
- 加賀屋悦子. 2018. クビアカツヤカミキリの最新知見. 昆虫と自然 53 (9) 2018
- 環境省中部地方環境事務所. 2018. クビアカツヤカミキリチラシ
- 環境省ホームページ : 第 10 回 特定外来生物等分類群専門家グループ会合 (昆虫類等 陸生節足動物) 議事次第. 資料 2 「特定外来生物等の選定作業が必要と考えられる外来生物に係る情報及び評価 (案)」他
<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/data/sentei/insect10/index.html>
- 環境省外来生物対策室. 2018. クビアカツヤカミキリチラシ
- 北島博. 2018. クビアカツヤカミキリ孵化幼虫の細枝による飼育. 日本森林学会大会発表データベース抄録
- クビアカツヤカミキリコンソーシアム. 2022. クビアカツヤカミキリの防除法. 森林総合研究所.
- notificada com o número C. 2018. que estabelece medidas destinadas a impedir a introdução e a propagação na União de *Aromia bungii* (Faldermann). Jornal Oficial da União Europeia 10.10.2018
- 大阪府環境農林水産部農政室. 2018. クビアカツヤカミキリの生態と防除
- レッドデータブック東京 HP. <http://tokyo-rdb.jp/index.php>
- レッドデータブックとちぎ HP. <https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/redlist.html>

- 埼玉県環境科学国際センター. 2018. サクラの外来害虫「クビアカツヤカミキリ」被害防止の手順第3版
- 森林総合研究所 河原孝行・吉丸博志・松本麻子・勝木俊雄・加賀谷悦子・長谷川絵里. 2017. サクラがもっと好きになる. 人と森をつなぐ情報誌「林野」. 2017 3 No.120. 林野庁
- 鈴木和之. 2017. 新カミキリムシハンドブック新版第1刷. 文一総合出版
- 栃木県ホームページ. 2018. 特定外来生物クビアカツヤカミキリの発生状況等について
<https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/detail.page?IMNEWS1=1142144>
- 栃木県ホームページ. 2019. クビアカツヤカミキリの発見と被害発生について.
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/seibututayousei/kubiakatuyakamikiri.html>
- 中野昭雄. 2018. 外来種クビアカツヤカミキリの徳島県内の被害状況と防除対策について. 日本農薬学会誌 43 (1)
- 安岡拓郎. 2017. クビアカツヤカミキリ *Aromia bungii*(Fidermann)幼虫に対する薬剤の防除効果. 植物防疫所調査研究報告(植防研報) 第53号

クビアカツヤカミキリについてのお問合せは
こちらまでお願いします。

東京都新宿区西新宿 2-8-1
東京都庁第 2 本庁舎 19 階中央
東京都環境局自然環境部計画課
03-5388-3506